

耕地整理組合ノ事業ハ縣營用排水幹線改良ニ對スル小用排水路ヲ適當ニ配置シテ用排水改良ノ徹底ヲ圖リ縣營排水改良區域外ノ耕地ニ對シ排水機ヲ設備シテ排水ノ完璧ヲ期スルト共ニ池沼三十五町歩ヲ開墾シ尙全區域内地積約七百六十一町歩ニ對シ區劃整理ヲ施行シタルモノナリ

四、事業ノ實績

縣營事業ノ施行ニヨリ昭和九年七月ノ縣下稀有ノ洪水ニハ各地ニ於テ甚大ナル被害アリシモ本地區ハ自然排水、機械排水區域共完全ニ排水能力ヲ發揮シ得テ毫モ損害ヲ蒙リタルモノナク本事業ノ効果偉大ナルニ郷民一同歡喜スル處ニシテ其ノ實績ヲ列記スレハ左ノ如シ

- (一) 事業施行後ハ灌溉排水共ニ遺憾ナク改善セラレ產米增收高五千四百五十九石、年々ノ純益十二萬四千二百餘圓、土地價格ノ増進二百十四萬三千五百餘圓ナリ
- (二) 旱水害ヲ一掃シ農業收益ノ增加安定ヲ見ルニ至リタルヲ以テ郷民一般更生ノ意氣ニ燃ヘ勤勉トナリ增收並生産費低減ニヨリ利益及工事は従事シテ得タル勞銀ハ是ヲ自作農轉向資金又ハ負債償還或ハ農具ノ改良等ニ充テ納稅成績モ事業施行前ニ比シ極メテ良好ナリ
- (三) 區劃整理ヲ施行セル部落ニ於テハ農會其ノ他各種指導團體ト協力シテ二毛作ノ普及、產米ノ改良等農業經營ノ合理化ニ努メ味方村ノ如キハ二毛作反別七十町歩ニ達シ其ノ成績良好ナリ
- (四) 從來肥料、收穫物ノ運搬ハ小舟ヲ使用セシモ整理後ハ主トシテ牛馬車、リヤカー等ヲ使用シテ能率ヲ増進シ牛馬耕ノ勵行、自給肥料ノ施用等ニヨリ著シク生産費ヲ節減スルニ至レリ
- (五) 池沼三十餘町歩ヲ開墾シ初年ニハ反當平均二石、次年度ハ反當平均二石六斗ノ收益ヲ得成績極メテ顯著ナリトス

其ノ二

一、事業名

旭村耕地整理組合事業

本組合ノ事業區域ハ中頸城郡旭村全村及吉川村ノ一部ニ亘ル一團地ニシテ田地積五百四十二町歩、用水源ハ殆ト溜池ナルヲ以テ水量不足ナルト各溜池ハ水利組合ヲ組織シ複雜ナル水利系統ヲ有シ灌溉ニ不便ナル爲早魃ノ際ハ一層其ノ被害ヲ大ナラシメ排水ハ赤川及鴻川ニ排出セラルルモノ多キモ局部的ニ幅狭セル部分アルト用水不足ノ爲耕地内諸所ニ假溜池ヲ設ケ各水ヲ貯溜スルニ依リ排水ニ支障ヲ來タシ加フルニ水路ノ配置不完全ニシテ排除困難ナリ農道ノ設備モ亦完カラス農耕上不便、不利少ナカラサルヲ以テ用排水ノ改良ト區劃整理ヲ施行シタルモノナリ

二、事業ノ沿革

本事業施行ノ動機ハ區域内ノ灌溉排水設備極メテ不完全ナル爲年々水利係争ノ絶ユルコトナク小作料又一定セサル爲地主對小作ノ圓滿ヲ缺キ紛争ヲ惹起スルノ虞アリシヲ以テ全村ヲ一區域トシ之ニ水利系統ノ關係上隣村ノ一部ヲ編入シテ耕地整理ヲ施行スルコトヲ計畫シ大正十五年縣ノ補助ヲ受ケ測量設計ヲ了シタルモ其ノ後幾多ノ曲折アリ漸ク昭和六年組合ヲ設立シ翌年工事は着手爾來順調ニ事業ヲ進捗シ既ニ全部ノ工事は完了シ目下換地處分準備中ノモノナリ

三、事業計畫ノ概要

本耕地整理區域ハ主トシテ二十有餘ノ溜池ニ依リ灌溉セルモ水量不足ニシテ殆ト毎年旱害ヲ蒙ルヲ以テ揚水機ヲ設置シテ水面積八十町歩ヲ有スル溜池ノ死水ヲ利用シ湛水地ノ排水路ヲ改廢新設シ農道ノ新設變更配置ヲ行ヒ併セテ區劃ノ整理ヲ施行シ土地ノ農業上ノ利用増進ヲ計ルモノナリ

四、事業ノ實績

本村ノ農業經營ハ殆ト稻作ヲ主體トスルモノナルモ整理施行前ニ於テハ灌溉排水ノ便完カラス交通運搬ヲ缺キ耕作方法ノ如キ舊套ヲ脱セス栽培品種頗ル雜駁ニシテ施肥合理的ナラス何等進歩改良ノ跡ヲ見サリシカ施行後ニ於テハ



溉排、交通、運搬ノ便全ク勞力ノ節約ニ依リ耕作地ニ不足ヲ來タシ小作ハ競フテ地主ニ耕地ノ貸付ヲ要求スルノ状態ニシテ昔日ノ如ク小作料ノ減免等爭議ヲ醸ス憂ナク農産物生産ノ合理化、副業ノ獎勵、有畜農業經營ノ普及、負債整理等農村振興上ノ實績顯著ナルモノアリ今實施後ノ成績ヲ比較表示スレハ左ノ如シ

一、耕地整理施行前後利益比較表

項目	實施前	實施後	比較		反當金額
			増	減	
土地價格騰貴	二、三九、五七〇	三、五八、四二六	三三九、一八四		四〇・三
年々ノ利益	五四、〇〇・五	六、〇五・五	三、〇三・〇		五・九
實施ニ伴フ總事業費		一六、〇〇〇・〇〇			三・六

二、同上米產高比較表

項目	實施前	實施後	比較	
			増	減
反當收量	二・一〇	二・四五	〇・三五	
米生産高	一一、七〇三・三〇	一三、六〇〇・三〇	一、八九七・〇〇	
米消費高	四、四二八・二〇	四、四二八・二〇		
米販賣高	七、二七五・一〇	九、一七二・一〇	一、八九七・〇〇	

一、農村振興上將來採ヘキ指導方針

本縣ハ地位日本海ニ面シ地形大體南北ニ細長ク縣界ハ山岳ヲ以テ六縣ニ界シ雪害、水害或ハ冷害等ノ災害ノ場合其ノ被害程度最激甚ニシテ又其ノ範圍廣ク特ニ雪害ニ於テハ積雪量又ハ雪質ノ點ニヨリ耕地關係被害ノ如何ニ深刻ナルカハ本年ノ被害狀況ヨリ見テ窺知シ得ラルナリ

本縣ノ農村ハ數年來頻發セル各種災害ノ爲自力的振興ハ全ク不可能ナル状態ニアルヲ以テ之カ積極的振興ヲ計ルニハ先ツ農業ノ基礎要素タル耕地關係施設ノ整備ヲ樹立スルハ最緊急ト信ス耕地缺潰防止、用排水設備ノ完備等如何ナル災害ニモ對應シ得ラルル技術的工作ヲ施スト共ニ其ノ施設ハ恒久的ナラサルヘカラス

爾來本縣ノ耕地事業ハ災害防止上最善ノ計畫ヲ實施セルモ尙將來ニ於テ施設不完備ナルモノニ對シテ最急速ニ其ノ整備ヲ完スルハ農村振興上重要ナル問題タルナリ

次ニ本縣ニ於ケル小作爭議ハ各種調停機關ノ努力ニモ拘ラス發生件數減少ノ傾向全ク無ク却テ其ノ發生原因ハ小作權引上、土地返還ト變リ其ノ數モ累年激増シツツアリ爲ニ爭議益深刻惡化スル情勢ニアリ之レ幾多ノ原因ニヨルト雖其ノ原因ハ一定ノ農耕地ニ無限ニ増加スル人口ヲ收容シ之ニ農耕地ヲ與ヘムトスルニアリ

斯カル土地ニ強イテ多數ノ自作農ヲ創設スルハ却テ小作爭議ヲ激増セシムル原因トモナルヘキヲ以テ之等ノ小作者ヲ未開墾地ニ移住セシメ開墾ニヨリ其ノ土地ニ自作農ヲラシムルハ小作爭議解決ノ一助トモナリ又農村人口過剩緩和上重大意義ヲ有スルモノト信ス

次ニ本縣農耕地ノ經營ヲ見ルニ平坦部ハ田多ク畑、山林ナク山間部ハ耕地少ク食糧ノ自給ヲ缺ク即チ平坦部ハ田ノ單一農業經營ニシテ生活ノ要素ハ主トシテ米ノミニヨルヲ以テ日常生活上現金支出多ク從テ累年借債増加ノ傾向ヲ有シ山間部ハ最近頻發セル災害ニヨリ彼等ノ死線タル農耕地ヲ失ヒ全ク生活ノ岐路ニ立テル状態ナリ以上ノ如ク本縣ノ農業經營ハ其ノ經營ノ基礎タル耕地ノ整備ニ大ニ缺クトコロアルヲ以テ平坦部ニ於テハ河川改良ニヨル舊敷地ノ利用並耕地間ニ介在スル地沼、水面ヲ耕地ニ利用シ山間部ニ於テハ現在未開墾地タル土地ヲ農耕地ニ利用シ而シテ合理的農



業經營ヲナサシムルハ本縣農業振興上最緊要事タルナリ

次ニ本縣山間地帯ノ田地ノ多クハ水量乏シク土質又滲透性ニ富メルタメ一旦旱害ニ會フヤ其ノ被害甚大ナルヲ以テ昨年度ヨリ床縮用ノ機械ヲ購入シ之ヲ床縮ニ使用セル結果非常ニ良好ナル成績ヲ得タリ依テ今後縣下冷害地全部ニ向テ可及的ニ床縮ヲ實行セムトス

次ニ本縣農山漁村經濟更生計畫ハ昭和七年以來昨年度ニテ其ノ計畫ノ樹立セル町村數百六十一ニ達シ之カ計畫實施シツツアル町村ニシテ其ノ成績大ニ見ルヘキモノアリト雖右計畫樹立ノ當初更生ハ可及的ニ自力自覺ノ目標ノ下ニ計畫セシメラレタルヲ以テ自ラ其ノ範圍モ限定セラレ特ニ自力的實行不可能ナル耕地計畫ハ殆ト計畫中ニ入レサリシハ當然ナリ然ルニ此ノ度經濟更生計畫實行ニ付特別助成方法ヲ樹テ其ノ助成町村ヲ指定セラルルヤ其ノ實行計畫中ニ自力實行不可能ナル耕地事業カ非常ニ多ク計畫セラレルニ至レルハ之レ更生ノ基礎タル耕地計畫ニ重點ヲ置キタル結果ナリ

農村ニ於ケル耕地關係施設ノ整備ハ恰モ都市ニ於ケル都市計畫實施ノ如シ現在農村ノ絕對的根本更生對策ハ先ツ第一ニ農村計畫工事ノ實施ニ在ルナリ此度特別助成ニヨリ自力的更生以外ニ助成ノ方針樹立セラレシ結果地方町村更生計畫ニ於テモ耕地關係事業ノ要望切ナルモノアルヲ以テ此ノ際農村土地計畫ノ根本的樹立ハ最緊急事項タルト同時ニ經濟更生計畫實行ノ完璧ヲ期スル所以ナリト信ス

### 富山縣

#### 一、農村振興上耕地事業ノ實績

本縣ニ於ケル耕地整理ハ明治四十三年九月縣令第五十一號耕地整理獎勵規程ヲ發布シ測量設計ノ補助、事務及工事ノ指導監督、補助金ノ交付等其ノ實施獎勵ニ努メ既ニ施行認可ヲ與ヘタルモノ七百六十五地區(昭和十一年三月末日現

在)二萬四千八百八十八町步、内工事完了シタルモノ二百四十九地區、五千八百九十四町步、換地處分ヲ終ヘタルモノ二百四十二地區、五千二百八十九町步、事業終了百四十二地區、二千六百八十六町步ニシテ耕地整理見込地積七萬五千四百五十七町步ニ比シ猶前途遼遠ノ恨ミアルモ其ノ農耕地ノ利用ヲ増進シ收穫増加ニ寄與セル所蓋シ鮮少ニ非ラサルヘシ然レトモ偶々農業恐慌ニ遭遇シタルタメ農村振興上特ニ顯著ナル數額ヲ現ハサスト雖之ヲ其ノ施行地ト其ノ他ニ區分檢討スルトキハ相當ノ實績ヲ認メ得ヘク猶農產物價ノ昂上ト販賣組織ノ合理化セラルル今日以後ノ成績ハ刮目ニ値スルモノアルヘシ

耕地擴張中開墾助成法ニ依ル指令地區九十、開田一千二百十六町步、開畑二百八十八町步、此ノ事業費三百八十八萬圓、内成功地積開田一千八十六町步、開畑七百七十六町步、開墾地移住獎勵規程ニ依ル建築戸數百四十一戸、其ノ補助金交付額五萬三千六百圓ニシテ擴張豫定地積一萬一千九百三十二町步並五町步以上集團セル地區三百一十一、五千九百八十二町步ニ比較セハ未タ事業半ニ達セス然レトモ其ノ土地收益増進ト一戸當耕地ノ増加ハ農村振興上其ノ根柢ヲ成スモノト謂ハサルヘカラス然シテ既往ニ於テ施行セラレタルモノノ内農產物價ノ低落ト不測ノ災害ヲ蒙リタル爲經營困難ヲ招來セルモノアルハ遺憾ナレトモ是等ニ對シテハ長期借替資金ノ供給並農產物價安定等ニ因リ次第ニ困難ヲ緩和シツツアリテ遠カラス初期ノ企圖ヲ達成シ得ルモノト信ス

暗渠排水事業ハ其ノ費用負擔比較的輕ク其ノ効果ハ施行ノ年ヨリ顯ハルルヲ以テ昭和十年度ノ如キハ補助申請地區三百七十六ノ多キニ達シタルモ助成金額ニ制限セラレ施行地積三十八町四反步ニ過キサリシモ本年ノ秋收ハ氣候ノ順調ト相俟チ著シキ增收ヲ齎ラスモノニシテ其ノ經濟ヲ發展セシムルコト大ナリト認ム

旱害被害地積大正十五年ニ於テ一萬四百十六町步、昭和四年ニ於テ六千七百町步、昭和八年ニ於テ二千三百九町步是等ニ對シ水路、溜池、井堰、揚水機、水閘、井戸等ノ改良新設等ニ依リ被害除去工作ヲ行ヒシモノ大正十五年ノ被害ニ於テ四百箇所、此ノ補助金十二萬六千九十八圓、昭和四年被害ニ對シ六百三十一箇所、其ノ補助金十萬四百八十一



圓ニシテ昭和八年被害ニ對シテハ用水路ノ改良四十九、溜池ノ新增設改良八十九、揚水機ノ設置二十一、地下水利用十五箇所ノ用水補給ヲ計畫シタルモ昭和九年七月北陸大水害ニ遭遇シ一時中止ノ止ムナキニ至リ昭和十年度未迄ニ施行シタル事業費九萬七千四百四十圓、是ニ交付シタル補助金一萬九千四百八十圓ナレトモ昭和十二年度未迄ニ助成費十萬六千二百圓ヲ計上セリ

昭和九年ノ雪害耕地復舊四十七町步、此ノ事業費二萬四千七百七十六圓、公共施設復舊受益地積七千八町步、事業費十五萬一千三百七十六圓ハ助成費十萬三千九百餘圓ヲ計上シ昭和九、十兩年度ヲ以テ事業ヲ完結シタリ

昭和九年北陸大水災ノ被害耕地復舊事業ハ復舊地積一千六十三町步、公共施設二十三萬六千六百圓、三千二百二十三箇所、其ノ關係地積二萬一千八十一町步、此ノ總事業費二百七十六萬九千九百七十九圓ニシテ外ニ縣營ヲ以テ施行スルモノ受益地積一萬二千二百四十二町步、事業費二百二十五萬圓ヲ要シ昭和九年度ヨリ同十四年度迄繼續事業トシテ實施シ昭和十年度未迄ニ縣營以外ノモノニシテ復舊シタルモノ耕地四百五十四町步、公共施設十二萬八千五百圓、一千二百五十二箇所ニシテ其ノ事業費八百七十三萬三千六百八十八圓ニ達セリ

是等各種災害ハ農家ノ收穫ヲ奪フノミナラス其ノ復舊ノ爲巨額ノ失費ヲ餘義ナカラシメ猶耕地ヲ荒廢セシメ働クニ其ノ所ヲ無カラシムル等農村ノ重壓ヲ成セルハ喋々ヲ要セス而シテ是ヲ其ノ儘放棄セハ農村衰亡ノ因ヲ成スヤ必セリ茲ヲ以テ是等災害復舊耕地事業ノ施行ハ農村振興上極メテ重大ナル意義ヲ有スルノミナラス國土保安ノ爲亦必要ノ事業タルヲ失ハス

曩ニ施行セラレタル時局匡救耕地事業ノ如キハ疲弊困憊セル農村ニ生氣ヲ與フル目的ヲ以テ施行セラレ今日農村復興ノ兆アルハ全ク同事業カ其ノ素因ヲ成セルヲ疑ハス

農村振興上用排水改良ノ實績ニ付テハ本縣ノ田地約八萬一千町步ノ内將來用排水幹線改良事業ヲ要スルモノ七十六箇所、其ノ地積六萬一千六百二十四町步、概算事業費一千九百九十二萬圓ナリ

大正十二年用排水幹線改良事業ニ對シ國庫補助ノ途ヲ講セラルルヤ地元ヨリ該事業ヲ熱望スルモノ續出シ政府當局ノ援助ニヨリ事業完了セルモノ六箇所、其ノ地積一萬一千三百八十六町步、事業費四百四十五萬七千六百五十二圓ニシテ目下着工中ノモノ七箇所、其ノ地積一萬五千九百二町步、其ノ事業費六百四萬五千圓ナリ尙昭和九年七月北陸大水害ノ爲用排水幹線改良事業ヲ以テ完成セルモノニシテ被害ヲ蒙リタルヲ以テ更ニ復舊ヲ要スルモノ二箇所、其ノ地積九千五百七十八町步、事業費七十九萬四千圓尙新ニ復舊スル爲施行セムトスルモノ三箇所、二千六百六十五町步、其ノ事業費百四十五萬六千圓ナリ

事業終了後ニ於ケル用水ノ取入極メテ良好トナリ各用水ノ取水状態ヲ適良ナラシメ尙排水事業ニアリテモ成績良好ニシテ特ニ機械排水力ハ偉大ナル効果アリテ農業水利上絶好ノ成績ヲ擧ケツツアリ

其ノ水利ノ便地質ノ改良ハ農家收益ヲ増加シ經濟ヲ豊カナラシムニ著効有リト認ム

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

斯ノ如キ實績ニ鑑ミ本縣ニ於ケル平坦部ハ緊要ナル用排水改良及土地改良事業ノ促進ト完璧ヲ計ルト共ニ雪害、旱害、水害等各種災害復舊及防止ニ努メ更ニ山間部ニ於ケル農山村ニ對シテハ食糧ノ自給自足ノ途ヲ拓キ自作農創設ノ爲耕地ノ擴張ヲ獎勵シ以テ生活ノ安足ヲ期セシムトスルモ容易ノ業ニ非サルヲ以テ將來左記各項ニ基キ事業遂行上萬遺憾ナカラシムトス

一、耕地整理

本縣耕地整理事業ハ主トシテ平坦地ニ施行セラレツツアルモ昭和七年度以降昭和九年度迄時局匡救事業實施セラレ尙昭和八年ノ旱害、昭和九年ノ水害及雪害等ノ各種災害復舊耕地事業計畫セラレシ關係上新規耕地整理事業ハ之カ爲阻止セラレシ状態ナルモ新規ノ事業ニ對シテハ測量設計補助ヲ行ヒ既設耕地整理事業ニ關シテハ調査設計並工事ノ指導監督ヲ助成シツツアルモ一層財務ノ監督ヲ特ニ工事完成セル地區ノ確定測量及完了事務ハ前述セル



各種事業ノ爲豫期通達行スル事困難ナルニ鑑ミ完了事務指導ノ徹底ヲ期スルニアラサレハ眞ニ所期ノ目的ヲ達成セサルヲ以テ相當職員ヲ増置シ一層事務ノ促進ニ努ムトス尙經營困難ニ陥リタル地區ニ對シテハ財務ノ根本的計畫ヲ樹立シ自力更生ノ實ヲ學ケシムトス

二、開墾事業及移住家屋

近時米價稍安定シ多角形農業經營セラルルヤ特種農作物ノ指導獎勵ト相俟テ開田、開墾事業益進轉セムトス殊ニ山村ニ於テハ食糧ノ自給自足ヲ拓キ自作農創設ノ爲本事業ヲ獎勵シ農村ノ生活安定ヲ最緊要ナリト認メ斯ル山村ニハ地積ニ制限無ク助成ノ途ヲ開キ尙餘裕アル開墾地積ニ對シテハ移住家屋ヲ建築シ可成縣内ノ移住者ヲ招致シ以テ農村計畫ヲ確立セムトス

三、旱害耕地整理

本事業ハ昭和八年七月ニ於ケル旱害地ノ救濟緊要ナルヲ認メ昭和九年度、同十年度ノ二箇年事業ヲ以テ終了セムトセルモ昭和九年度ニ於テ稀有ノ雪害襲來シ其ノ被害激烈ヲ極メタルヲ以テ本事業復舊ノ急務ニ迫ラレ遂ニ延期ノ止ムナキニ至リタルモ從來通灌漑設備ノ新設改良ヲ行ヒ着々トシテ事業進捗シ昭和十二年度ヲ以テ完成スル豫定ナリトス

四、雪害復舊耕地事業

昭和九年ノ雪害復舊事業ハ昭和九年度及同十年度ニ於テ漸ク竣功ヲ告ケ安堵シタルモ東ノ間ニシテ同十一年一月以來大降雪ニ遭遇シ疲弊困憊セル農村ニ於テハ國庫ノ助成ヲ俟タサレハ到底復舊困難ナル状態ナルヲ以テ直ニ之カ復舊助成ヲ稟請シタルカ幸ニ政府ニ於テモ之カ復舊ノ急務ヲ認メラレシヲ以テ政府ノ方針ト相俟テ昭和十一年度ヨリ三箇年繼續事業ヲ以テ耕地復舊事業ニ於テハ二萬八千七百七十圓、公共施設復舊事業ニ於テハ八十五萬三千八百四十八圓、總事業費八十八萬二千六百十八圓ヲ以テ復舊ノ完璧ヲ期シ農村更生ノ途ヲ拓キ將來ノ過根ヲ一掃セムトス

掃セムトス

五、水害復舊耕地事業

昭和九年七月ノ大水害ニ對シテハ一部ノ計畫變更ヲ爲シタリト雖政府ノ指導ニ基キ復舊計畫ヲ樹立シ昭和九年度ヨリ六箇年繼續事業トシ事業ノ促進ヲ計リ目下着々トシテ復舊ノ效ヲ學ケツツアルモノトス

六、用排水改良事業

本事業ハ從來ノ實績ニ鑑ミ經費一般ニ僅少ニシテ其ノ效果顯著ナルモノ不尠ヲ以テ其ノ實施ヲ要望シテ渴マサルモノ著シ依テ管内各水系別ニ五百町歩ニ制限無ク調査設計ヲ樹立シ用水及排水ノ統一ヲ計ルト共ニ各種災害ヲ防止シ水利ノ紛議ヲ除去シ農村對策上ノ恆久的施設ヲ完備シ農業ノ基礎ヲ確固タラシメ以テ農村ノ福利ヲ増進スルコトニ努ムトス

七、暗渠排水事業

昭和七年度以降時局匡救ト共ニ暗渠排水事業獎勵セラルルヤ本縣ニ於ケル平坦地ノ地元民ハ濕田地ニ於ケル暗渠排水事業ノ實益急速ニシテ顯著ナルヲ認メ著シク其ノ實施ヲ要望スル次第ナルモ其ノ内最急ヲ要シ其ノ效果顯著ナル地區ヨリ實施セシメ以テ本事業ノ普及達成ヲ期セムトス

石川縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

農村ノ振興上耕地事業ノ施行ハ不況ノ農村ヲ緩和シ農村經營及經濟ノ改善ニ極メテ有益ナル事業ナルヲ以テ本縣ハ昭和七年度ヨリ三箇年ニ亙リ政府ニ於テ獎勵セラレタル時局匡救農業土木事業ノ施行ヲ始トシ各種災害復舊並耕地整理事業及暗渠排水事業等ノ實施ヲ極力獎勵シタルニ農村振興上著シキ效果ヲ學ケタリ即チ耕地事業ハ材料購入費等ハ極



メテ僅少ニシテ七割以上ハ勞力費ナルヲ以テ本事業ノ施行ニ依リ勞働者ハ直ニ勞銀ヲ得農家ノ經濟殊ニ中産階級以下ノ經濟ヲ緩和シ生活必需品ノ購入、納税及小作料ノ納入成績良好トナリシ等其ノ影響スルトコロ大ナルノミナラス本縣ノ能登方面ハ主トシテ泥濘膝ヲ歿スルカ如キ濕田ナリシニ暗渠排水ヲ施行シタル箇所ハ美田トナリ増收ヲ期スルニ至レリ又收穫皆無ノ荒地モ開田セラレテ良田良圃トナリ畦畔傳ヒニ達セシ耕地モ農道ノ開鑿ニ依リ荷馬車ノ通行自由トナル等其ノ效果著シキモノアリ殊ニ縣内ニ於テ最疲弊セル河北潟沿岸内灘村ノ如キハ本事業ニ依リ五箇所、約十五町歩ノ小開鑿事業ヲ完成シ出稼漁業ノ外生活ノ途ナキ漁民ハ今ヤ農業ニ轉業又ハ兼業シツツアリ其ノ他耕地事業ノ施行ニ依リ農民ノ氣風ヲ一新シ自力更生ノ意氣ヲ自覺セシメ更ニ勤勞ノ精神ヲ養成シ失業者ヲ救済シテ生業ニ就カシムル等其ノ實績顯著ナルモノアリ最近五箇年間ニ於ケル本縣ノ耕地事業ノ成績左ノ如シ

一、時局匡救農業土木事業實績調

耕地事業ノ實績調

事業種類	事業費總額	助成金總額	施行實績	
			箇所數	地積
開鑿助成事業	二九一、六六三 <sup>円</sup>	一一六、六六五 <sup>円</sup>	一七	開鑿 一五三 <sup>町</sup>
小開鑿	五六一、七〇〇	二八〇、八五〇	二二〇	同 三一
小用排水改良	二七三、八九六	一三六、九四〇	一二六	受益 二、七一三
暗渠排水	五〇、四七〇	二五、二三五	八一	施行 二一二
小設	四九七、〇八六	二四八、五四三	七四四	關係 六、二二三
計	一、六七四、八一五	八〇八、二三三	一、一八八	

二、耕地整理事業實績調(最近五箇年分)

年次	事業費總額	補助金交付額	施行實績	
			地區數	地積
昭和六年	一二七、九二九 <sup>円</sup>	一三、七七〇 <sup>円</sup>	五六	二七二 <sup>町</sup>
同七年	一三六、一三〇	一一、二四〇	五八	三一三
同八年	六七、二四五	八、〇〇〇	四一	一三一
同九年	九〇、二八五	七、二〇〇	三七	一九〇
同十年	一二九、五五一	七、四九一	三九	二三九
計	五五一、一四二	四八、七〇一	二三一	一、一四五

三、暗渠排水實績調(最近四箇年間ノ分)

年次	事業費總額	補助金交付額	施行實績	
			地區數	地積
昭和七年度	一〇、八八七 <sup>円</sup>	五、一二〇 <sup>円</sup>	二四	三九・八 <sup>町</sup>
同八年度	六、四〇〇	三、二〇〇	一一	二五・七
同九年度	五、二九五	二、五六〇	一二	二〇・三
同十年度	五、九五四	二、五六〇	二六	二三・一
計	二八、五三六	一三、四四〇	七三	一〇八・九



四、開墾助成事業實績調(最近五箇年間ノ分)

年次	事業費總額	補助金交付額	施行實績	
			地區數	竣工地積
昭和六年度	六七、二三三・五七	四六、八〇四・九二	二二	五五・〇
同七年度	一四六、三二六・四五	七〇、八四四・四五	二一	四七・五
同八年度	二五四、四七三・九四	一二九、九三六・七一	一九	六五・三
同九年度	一八七、二二九・四八	八二、〇九七・五〇	二一	五六・〇
同十年度	二〇、七九〇・八七	一一、二六〇・一〇	二	六・三
計	六七六、〇五四・三一	三四一、九四三・六八	八五	二三〇・一

五、用排水改良事業實績調

用排水名	主要工事	事業費總額	負擔區分		受益地積
			國庫	縣費	
邑知海沿岸排水事業	開路門改修	三三、四四四	三三、〇〇〇	四、四四四	昭和三十四年
安原川沿岸排水事業	水路改修	一〇三、〇〇〇	三三、〇〇〇	七〇、〇〇〇	昭和三年
津幡川沿岸排水事業	堰堤改修	二四、二八四	五、一〇〇	一九、一八四	昭和四年
下福増川沿岸排水事業	揚水機設置	二四、〇六八	三、五〇〇	二〇、五六八	昭和五年
改良計	水路改修	四七、六六六	二五、五〇〇	二二、一六六	昭和三十四年

六、北陸水害耕地復舊事業實績調(自昭和九年繼續事業)

種別	事業費總額	補助金總額		竣工決算事業費	未竣工事業費	復舊總數量
		國庫	縣費			
縣管事業	一、〇八一、五〇〇	三三、六六六	八八、〇〇〇	一八七、三三三	八五、一七七	
用排水復舊事業	一、〇五九、〇〇〇	三〇、〇〇〇	八〇、〇〇〇	一、〇五九、〇〇〇	八五、三三七	
邑知湯干拓事業	三三、五〇〇	一、六六六	三、八三四	三三、五〇〇	一、〇〇〇	
補助事業	四、一五、五七七	一、五一一	三、六四六	三、〇〇〇	三、〇〇〇	
公共施設	一、一〇〇、〇〇〇	七、〇〇〇	五、〇〇〇	一、〇九三、〇〇〇	九八、六〇三	八六、七五間
耕地	三、〇六一、五〇〇	一、〇一七、三三〇	一、五、五八八	二、〇〇三、六六八	二、〇二一、五五二	五、七〇町
縣設備費	二、一七一、五〇〇	二〇、〇〇〇	三、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、〇〇〇、〇〇〇	二、三三三・九町
計	五、四六六、〇〇〇	二、〇六六、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	五、〇〇〇、〇〇〇	四、四〇〇、〇〇〇	一、五九三・二

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

積年ノ經濟界ノ不振ハ深ク農山漁村ニ浸潤シ疲弊困憊ノ極ニ達シ經營至難ノ向モ少ナカラス尙近來本縣ハ水害、雪害等交々至リ益疲弊ノ度ヲ高メタリ然ルニ近時政府ノ施設方針ニ基キ農村振興ヲ計ラムトスル聲喧傳セラルルニ至リ縣下各地ニ農村振興ヲ對照トセル耕地事業ヲ希望スルモノ續出セムトスル傾向ニアリ依テ本縣ニ於テハ左記ノ通一層努力ヲ以テ指導獎勵セムトスルモノナリ

一、耕地整理及開墾事業

(一) 經濟更生計畫及農村計畫ニ適應スル計畫ヲ樹立シ逐次計畫ノ全般ヲ遂行スル様指導獎勵セムトス



- (一) 水利統制交通整備ニ重點ヲ置キコノ方針ヲ以テ計畫ヲ樹立シ農村振興ニ資セムトス
- (二) 本縣加賀地方山間部及能登地方ハ耕地面積少ナク飯米ノ不足ヲ來タス町村少ナカラス依テ開墾ヲ獎勵シ食料ノ自給自足ヲ計ラムトス
- (三) 災害地ニ於ケル經費ノ關係上復舊不可能ナルモノアリ之等地方ニ於テハ適地ヲ求メ換ヘ地開墾ヲ獎勵シ復舊ノ實ヲ收メムトス
- (四) 本縣ノ如キ災害頻發地方ニアリテハ將來ノ災害防止ヲスル見地ヨリシテ計畫ニ當リテハ特ニ之ニ重點ヲ置キ計畫シ尙工事中モ指導監督ヲ十分ニシコノ目的ヲ達セムトス
- (五) 災害復舊事業ニ對シテ事業ノ萬全ヲ期シ將來ニ對シ災害ヲ防止スル見地ヲ以テ計畫指導シ來レルモ今後コノ方針ハ變革ナキモ尙地方恢復ヲ重視シテ指導シ復興ノ實ヲ舉ケムトス

福井縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

現下農村ノ事情ニ鑑ミ農業經營ヲ其調トスル耕地政策ハ社會各般ノ施設ト相俟テ農村更生上最喫緊ノ事業タリ方今是カ改善施設ハ斯業技術ノ進歩ニ伴ヒ駿々トシテ發達シ其ノ實績頗ル顯著ナルモノアルヲ認ム輒近政府カ非常時對策トシテ昭和七年度以來過去三箇年ニ亘リ繼續施行シタル時局匡救耕地關係農業土木事業ニ次キ災害復舊事業ニ現ニ

施設セムトスル雪害復舊事業等ノ出現ト俱ニ是等耕地全面ニ對スル積極的獎勵ヲ加ヘツツアル結果一層斯業改善ノ熱度ヲ嵩メ窮乏部落ノ財政ヲシテ均霑セシメ農山漁村ヲ問ハス一般ニ好影響ヲ齎セリ故ニ縣ハ斯ク耕地ノ擴張改良事業ニ付テハ農村振興上不斷ノ努力ヲ拂ヒ是カ事業進展ニ一層拍車ヲ掛ケツツアルヲ以テ最近著シク施行面積ノ増加ヲ來シ今ヤ一萬一千六百有餘町歩ヲ算スルニ至リ本縣耕地ノ不良ナル狀態ヨリ漸次改善ノ歩道ヲ辿レリ就中耕地改良ノ根幹タル主要用排水幹線改良事業ノ如キハ之カ實施ノ現況ニ鑑ミ其ノ效果顯著ナルモノアルヲ以テ農民ハ這種事業ノ改良ニ付テハ自ら進テ其ノ促進ヲ要望セムトシ其ノ他開墾、小用排水、小設備、暗渠排水事業等ノ施設ニ依リ農耕地ノ開發ヲ期シ灌溉排水ノ完備ト耕作上ノ利便ヲ獲得シ以テ是等土地ノ生産増加ニ伴ヒ食糧ノ自給自足ヲ圖リ一面生産費ヲ減減セシメント共ニ農村ニ對スル各種ノ獎勵施設ニ依リ農業經營ヲシテ合理的ナラシメ農村更生上ニ寄與セシ處蓋シ尠ナカラサルモノアリトス今既往ニ於ケル耕地關係各種事業實績ノ大要ヲ掲ケレハ左ノ如シ

一、用排水幹線改良事業

河川名	事業ノ目的	關係町村	實績ノ概要
兵庫川	用排水改良	坂井郡 兵庫、大石、木部村、春江村ノ一部	蜿蜒迂曲セル本川モ改良後ハ其ノ延長ヲ著シク短縮セラレ排水ヲ住良ナラシメタルト共ニ一部用水ノ取入ヲ完備シタル結果用水潤澤トナリ之カ爲水争全ク絶ヘ而モ從來ノ被害面積二千六百八十六町歩ハ過去ノ水禍ヨリ免ルルニ至リ本工事ニ依リテ得ヘキ利益ハ毎年平均増加總收益十七萬五千圓ノ六分即チ十萬五千圓ヲ下ラス特ニ本年ノ如キハ反當優ニ三斗以上ノ增收確實ニシテ此ノ增收七千五百石ニ及ヒ價格二十二萬五千圓ニ達セムトス
磯部川	排水改良	吉田郡 森田町ノ一部 坂井郡	主トシテ排水機設置ニ依リ洪水地域七百九十二町歩ノ被害ヲ一掃セムトスルモノニシテ目下附帶設備一式九分通過シ之カ完成ノ上ハ一層土地ノ生産増殖ヲ圖リ得ルコト確實ニシテ本川改良ノ結



江崎川	排水改良	磯部、春江、大石村	果八年々ノ利益四萬八千圓ヲ下ラサル見込ナリ
		足羽郡 下文殊、六條、 麻生津、木田、 社村	本川沿岸耕地一千七百七十六町歩ハ時々洪水氾濫シ逐年被害激甚ナルヲ以テ茲ニ巨大ナル排水機四臺ヲ伏設シ其ノ目的ヲ達成セムトスルモノニシテ未ダ工事中ニ屬スルヲ以テ實績ヲ詳記スル能ハスト雖引續キ河身ノ矯正其ノ他ノ施設ト相俟チ之カ完成ヲ見ムカ土地價格ノ増進ト共ニ年々ノ利益ハ優ニ十萬三千餘圓ニ達スル豫定ナリ

二、開墾事業(代表的地區)

地區名	所在地	開墾地積	竣成地積	實績ノ概要
麻生津神明	足羽郡麻生津村 今立郡神明村	開田 八六・五	八六・五	本地區ハ總面積百七十町歩ヲ有スル大地區ニシテ舊淺水川廢川地ヲ利用シ開墾事業ヲ計畫シタルニ灌溉排水ノ全キヲ期シ農道ノ完備ニ依リ農家各自ハ耕作反別四、五反宛増加シ多耕作ヲ爲ス結果村內ヲ通シ一千二百石餘ノ増收ヲ得ルニ至レリ
二日市	吉田郡河合村	開田 一九・二 開田 一・〇	二〇・二	總地積七十六町八反歩、內約二十町歩ノ開墾事業ト同時ニ地區ノ中央ヲ迂曲セシ八ヶ惡水ノ改良ニ依リ著シク耕地ノ利用ヲ増進シテ從來ノ水腐ト病蟲害ノ災厄ヲ全ク免カルヲ得反當平均價ニ四斗以上ノ増收アリテ品質ノ向上ト共ニ生産米ハ殆ト合格米ヲ得ルニ至レリ
横枕	大野郡下庄村	開田 一〇・七	一〇・七	原野荒蕪地ノ開墾ヲ爲シタルニ一躍豐穰ノ美田ト化シ舊田ニ比シ反當平均二斗以上ノ増收ヲ得ルニ至リ之カ耕地ノ増加ト土地ノ生産増殖ニ依リ眞ニ農村更生ノ實ヲ舉クルヲ得タリ

南金津	坂井郡金津町	開田 八・九	三・三	地區總地積八十八町歩中舊田整理ヲ合シ大半ノ工事ヲ施行シ目下工事通抄中ナルモ本計畫ノ結果既成田ノ作柄頗ル良好ナリシト耕作道並灌溉排水ノ設備ニ伴ヒ從來ノ小作爭議モ之カ爲一掃サレ今後ノ増收ト耕作ノ利便ヲ期待シ居レリ
經津	丹生郡宮崎村	開田 一三・四	一三・四	

三、其ノ他耕地關係各種事業 (イ) 小開墾、小用排水、小設備、暗渠排水事業實績

事業種別	事業費	箇所數	關係地積	實績ノ概要
小開墾	三三三、九八〇 <sup>円</sup>	二三八	二八〇・二	主トシテ食糧ノ不足ヲ告クル山漁村ノ耕地開發ニ努メシ結果開田百八十二町四反歩、開田九十七町八反歩ニ達シ何レモ之ニ依リ財政ヲ緩和セリ
小用排水	四〇四、五一八	三九九		
小設備	三三四、五一二	五三四		



暗渠排水	二六、七三〇 <sup>町</sup>	二一	一〇七・五 <sup>町</sup>	本施設ニ依リ排水不良ナル地域ヲ可能ナラシメタルヲ以テ何レモ反當收量二斗以上ニ達シ良果ヲ得タリ(本項中ニハ普通暗渠ヲモ含ム)
計	一、〇九九、七四〇	一、一九二		

(ロ) 災害復舊事業実績

事業種別	事業費	箇所數	復舊地積	實績ノ概要
耕地復舊	一三〇、六九五 <sup>町</sup>	一〇三	七四八・〇 <sup>町</sup>	水害ノ爲耕作不能ノ田畑七百四十八町步中五百一町步ハ既ニ復舊ヲ了シ殘餘ハ本年度中ニ復舊完成ノ見込ナリ
公共施設	二五五、二二八	五一七		
計	三八五、九二三	六二〇		各部門ニ亙ル復舊施設ニシテ五百十七箇所中三百八十二箇所ハ既ニ完成シ殘餘ハ本年度中ニ復舊ヲ了スル見込ナリ

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

農村振興上耕地事業トシテ採ルヘキ方策多々アリト雖是等諸問題ヲ綜合的ニ檢討シ解決スヘキハ贅言ヲ要セサル處ナルモ惟フニ農業ハ他ノ商工業ニ比シ自然現象ニ支配セラレ易キ土地及作物ヲ其ノ經營ノ主タル要素及目的ト爲シ其ノ努力モ現下ノ狀況ヨリシテハ自家努力ニ俟ツコト多キニ鑑ミ地方的特異性ヲ考慮シ農村振興策ノ樹立計畫ニ當ラサルヘカラス

固ヨリ農事諸般ノ施設ニ對シテ從來國家カ保護助長ヲ加ヘツツアルニ拘ハラヌ猶且時代ノ進運ニ伴ハス爲ニ農家經濟

ノ窮乏ヲ訴ヘ農村振興ヲ高調サルル所以ノモノ即チ農家一戸當耕地面積ノ狭小ナルコト、耕地ニ關スル設備ノ不完全ナルコト、農産物ノ販賣必需品ノ購入等ニ不便ナルコト等其ノ主タルモノニシテ此種原因ハ農家ノ總收入少キ上ニ出資ヲ多カラシメ加フルニ農産物ノ豐凶ハ天候ニ左右セラルルコト多ク比較的多額ノ資本ヲ要スルニ拘ラス其ノ利潤極メテ薄ク農業經營ヲシテ益窮地ニ陥ラシムルニ由ル

今本縣ニ於ケル耕地總面積ト之カ生産米ノ狀況ヲ示サハ

田	五〇、六〇一 <sup>町</sup>
畑	一一、五二八・九
計	六二、一一九・九

ニシテ農家一戸當ハ田七反三畝步、畑一反七畝步ニシテ全國平均ハ田六反二畝步、畑四反五畝步ナルヲ以テ田面積ハ稍多キモ畑面積ニツキ著シキ懸隔アリ

次ニ最近五箇年間ニ於ケル米ノ生産高並移出高ヲ表示スレハ次ノ如シ

年	度	生 産 米 高	移 出 米 高
昭 和	六 年	九二二、八八八 <sup>石</sup>	二二二、一六九 <sup>石</sup>
同	七 年	九四七、五六四	二六七、一七四
同	八 年	一、一三七、三一二	三〇四、八二五
同	九 年	九一六、九四二	二六六、七三七
同	十 年	一、〇三五、五七二	二五〇、〇六〇
平 均	均	九九二、二五六	二六四、一九三



即ち縣一般トシテ八年平均二十六萬四千餘石餘剩米ノ縣外移出ヲ見ル狀況ニ在リト雖他方自給米ニ不足ヲ告クル農村ハ縣下百七十七箇町村中、三十七箇村ニ及ヒ之等ノ中交通不便ナル地方ニ於テハ一依ニ付二圓餘ノ運賃ヲサヘ支拂ハサルヘカラサル狀態ニ在リ副タニ收入少キ農家ノ困憊ニ拍車ヲカクルノ現況ナリトス

縣ハ之等地方農民ノ生活安定ヲ計ルノ趣旨ニ於テ小規模開墾特別助成五箇年計畫ヲ樹立シ飯米並小麥、蔬菜ノ自給ヲ計ラムトスル計畫ニ屬シ極力耕地ノ擴張ニ努メツツアリト雖却テ年々減少ノ經過ヲ辿リ最近五箇年ニ於ケル年均四十七町六反歩ノ減少ヲ示セリ此ノ趨勢年ト共ニ甚シク一段ト農家ノ耕作反別ヲ縮少シ農民ヲシテ益悲境ニ導キツツアルヲ以テ縣ハ耕地整理及土地改良獎勵規程ニ依リ集團地五反歩以上ノ開墾事業ヲ勸奨シツツアルノ外耕地事業全面ニ對スル獎勵ヲ爲シ特ニ肥料、農作物ノ運搬ニ最關係深キ農道五萬三千百間ニ付キ其ノ工事費ニ對シ特別助成ノ見込ヲ以テ五箇年ニ完成セシムコトヲ畫策シ以テ主要耕作道ノ完備ヲ期スルト共ニ將來是ニ聯關シテ耕地改良ヲ誘發セシメ農業努力ノ輕減ト頻發スル小作爭議ヲ未然ニ防止セムコトヲ企圖シツツアリ

尙本縣ノ用排水改良事業ハ極メテ遅々タル狀態ニアルヲ以テ縣ハ曩ニ五箇年計畫ヲ以テ關係耕地五百町歩以上ノ幹線ニ付調査中ナルモ更ニ關係耕地面積五百町歩未滿ノ用排水ニ付テハ基本的調査ノ歩ヲ進メツツアリテ年々起ル水争ヲ一掃セムコトヲ目論見特ニ用水不足地方ニツキテハ伏流水利用ノ施設ニ依リテ用水ノ補給ヲ爲サシメ以テ之カ十全ヲ期セムトスル方針ナリ

翻テ本縣八年々積雪量極メテ多ク特ニ昭和九年並十一年ノ被害ハ最甚シク之カ復舊ニ今猶舉縣一致全力ヲ傾倒シツツアルヲ以テ此際政府ノ助成ト相俟チ之カ完璧ヲ期スヘキ方針ナリ目下農林省當局ノ立案セラレツツアリト聞ク災害共濟制度ノ制定等ハ本縣トシテハ其ノ實現ノ速カナラムコトヲ希望シテ歇マサルトコロナリ

次ニ經濟更生特別助成計畫ノ如キハ農村振興上極メテ必要ニシテ而カモ本縣ニ於テハ此カ本年度計畫事業ノ六割以上ハ耕地關係ニ屬シ如何ニ農村更生上本施設ヲ要望セラレツツアルヲ知ルニ足ル如叙現下農村ノ實情ニ鑑ミ耕地事業ノ

啓發ニ付テハ常ニ指導獎勵ヲ加ヘツツアリテ農村振興上寄與スル處頗ル多キヲ以テ將來之カ施設ニ關シテハ機ニ應シ漸ヲ遂フテ改善セムトスル方針ナリ

### 山梨縣

#### 一、農村振興上耕地事業ノ實績

##### 一、現況及趨勢

本縣ノ周圍ハ東南部ニ富士山、西北部ニ白根山及八ヶ岳等ノ高峰峻立シ地勢急峻ナル爲之ヨリ發スル桂川及富士川ハ流程比較的短距離ニシテ海ニ注キ其ノ支派線タル中小河川ハ何レモ急峻ナル山岳ヨリ流下スルヲ以テ勾配急ニシテ恰モ瀧落ノ如キ流勢ニ依リ平坦部ニ集中スル狀態ナレハ雨水ト共ニ砂礫ノ流下夥シク爲ニ降雨連續スルトキハ必ス災害ヲ免レサル地形ニシテ且富士山及八ヶ岳等ノ山麓地帯ハ火山噴出物ノ推積セル洪積層若クハ河川ノ沖積層ヨリ成ルヲ以テ水田用水量ノ大ナルコト稀ニ見ル地域ナレハ年々旱魃ノ慘害ヲ免レサル所ナリ斯ノ如ク本縣ノ地勢ハ山岳重疊セル爲平坦耕地トシテハ富士川流域ノ甲府盆地ニ一部集團セル以外ハ點々散在シ畑三萬四千七百町歩、水田地積一萬八千七百町歩中用水不足地ハ實ニ七千餘町歩ノ多キニ上リ排水不良地五千四百餘町歩ニ達シ農業水利ノ改良ヲ必要トスル水田極テ多シ

尙開墾見込面積ヲ見ルニ八ヶ岳、富士山麓地帯ニハ廣大ナル山林原野ヲ始メトシテ縣下各所ニ荒蕪地原野ノ散在スルモノ多ク之ヨリ一團地五町歩以上ノ開墾地域ヲ求ムルニ開田三千九百町歩、開畑七千七百町歩、計一萬一千町歩ニ達ス

##### 二、耕地事業ノ實績

縣ニ於テハ明治四十年頃ヨリ逐次耕地改良擴張ノ指導獎勵ヲ期シ耕地事業ノ普及發達ニ努メ水害、冷害、旱害等



ノ災害ヲ防止シ農村振興上農家經濟ノ緩和ヲ圖リ生産ヲ増加セシメタル実績顯著ナルモノアリ今各種事業ヲ概説セハ次ノ如シ

耕地擴張總地積 開田 一千五百七町步 (自明治三十三年四月一日至昭和十一年八月末日)

耕地改良施行總地積 三萬六千七百三十町步

(一) 耕地整理組合事業 (自明治三十三年四月一日至昭和十一年八月末日)

地區數	地積	費用豫算	工事完了		換地處分認可済		事業終了	
			地區數	地積	地區數	地積	地區數	地積
三五	七、三四〇町	六三、五、六四四圓	五	二、〇六一〇町	四九	一、三五四〇町	二七	八六〇町

(二) 開墾助成事業 (自大正八年四月一日至昭和十一年八月末日)

地區數	耕地擴張地積		助成事業費	大正八年以降成功地積			
	開田	開畑		開田	開畑		
八	一、〇九〇町	六〇町	一、七〇〇町	三、三九七、五三三圓	九〇町	四四〇町	一、四一〇町

(三) 開墾地移住 (自大正九年度獎勵金ヲ交付シタルモノ) 至昭和十年度獎勵金ヲ交付シタルモノ)

地區數	建物種類	戸數	建築坪數	建築費	補助金
四	住屋	二二六戸	五、九七、三二坪	三六、九四四圓	六六、九〇〇圓
二	共同建造物	二	七九〇坪	四、〇〇〇圓	一、五〇〇圓

(四) 用排水幹線改良事業

事業名	關係地積	目的	事業費	工事着手年月	支出濟額
東八代郡富士見村外二箇村農業水利改良	五、〇〇〇町	排水	二〇、〇〇〇圓	大正十三年三月	二〇、〇〇〇圓
甲府市外四箇村荒川沿岸用水幹線改良事業	一、七〇〇町	用水補給	八〇、〇〇〇圓	昭和九年二月十三日	三〇、四八八圓
中巨摩郡龍王玉幡用水幹線改良事業	一、四四〇町	用水改良	一四、〇〇〇圓	昭和七年十一月	一四、〇〇〇圓
中巨摩郡四箇村堰用水幹線改良事業	五、四〇〇町	同	一〇〇、〇〇〇圓	昭和十年三月二十日	一〇〇、〇〇〇圓
中巨摩郡龍王村外七箇村用水幹線改良事業	一、四四〇町	同	一一〇、〇〇〇圓	昭和十一年十一月五日	一〇〇、〇〇〇圓
計	五、六四六町	同	一、四四五、〇〇〇圓		七九、九四八圓

(五) 暗渠排水事業

年 度	地 區 數	地 積	積	工 事 費	補 助 金
昭和七年度	六	一九〇町	三、四、五〇〇圓	七、六八〇圓	三、八四〇圓
同 八年度	五三	五〇、一六〇町	四八、一八一圓	七、六八〇圓	三、八四〇圓
同 九年度	五三	五〇、一六〇町	五〇、一六〇圓	八、九六〇圓	四、四八〇圓
同 十年度	五三	三七、五五二町	三七、五五二圓	八、九六〇圓	四、四八〇圓
計	三〇二	一七〇、四〇一町	一七〇、四〇一圓	三三、二八〇圓	一六、六四〇圓



(六) 失業救濟事業 (昭和六年度)

種別	地區數	地積	事業費	貨付金
小開墾	三三	同	六四、五五〇	三四、〇〇〇
水害復舊	二三	同	四一、九五〇	四二、五〇〇
小設	一		五、〇〇〇	五〇〇
暗渠排水	五		一〇、二一〇	四、〇〇〇
小用排水	九		三七、二五〇	二五、九五〇
計	七一		四九四、二一五	一〇六、九五〇

(七) 時局匡救農業土木事業 (自昭和七年度至昭和九年度)

種目	昭和七年度		昭和八年度		昭和九年度		計
	簡所數	面積	簡所數	面積	簡所數	面積	
小開墾	三三	三、六〇〇	六	四、七九〇	六	四、七九〇	六九、〇〇〇
二年墾	八七	一、四〇〇	三	一、八七〇	三	一、八七〇	一、〇七五
開墾	二	九、六三九	九	三、七四五	一	一、〇〇〇	一、〇〇〇
用排水	一	一、〇〇〇	一	四、八〇〇	一	四、八〇〇	一、〇〇〇
小用排水	一〇	六、四二七	三	一、〇〇〇	五	二、三二七	二、四〇〇
暗渠排水	二五	一、六二〇	六	三、〇〇〇	一	一、五二〇	一、六〇〇

(八) 旱害地救農耕地事業 (昭和八年)

種別	地區數	施行地積	就勞延人員	工事費	附記
溜池	二〇	三七九、四二二	二四、五二三	二七、六〇〇	改新築設 一七箇所
導水路	一四	七〇九、六八二	五、〇八八	一〇、三〇〇	改新修設 一三
堰堤	一	五、三七〇	二四〇	三〇〇	堰堤改修 一
集水暗渠	二	一五、八〇一	二、四二六	三、〇〇〇	新設 二
湧水池	四	三〇〇、四〇七	一、六九一	二、八〇〇	同 一
揚水機	一	六九、〇七一		一、〇〇〇	同 一
計	四二	一、二〇九、四〇二	三三、九六八	四五、〇〇〇	

小設備		小設備工事内譯	
計	二八三	七〇一、八〇〇	一〇八、〇〇〇
農道	一、四〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	三三七
水路	一、四〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	四、九七六
溜池	一、四〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	三三三
其他	一、四〇〇	一、四〇〇、〇〇〇	二、〇〇一



(九) 旱害地應急施設耕地事業 (自昭和九年) 至昭和十一年)

種目	竣工數量	地積	事業費	昭和九年度			昭和十年度			昭和十一年度		
				數量	地積	事業費	數量	地積	事業費	數量	地積	事業費
導水路	二五、四八〇	三、七三三町	一四、六〇〇円	二、六〇〇	三三町	八、〇〇〇円	一八、五二〇	三、九九町	一三、三〇〇円	四、三二〇	五、四〇町	三〇、三〇〇円
農道	四、一五〇	五、四〇	一六、三〇〇				三、八四〇	五、四〇	一五、四〇〇	二、九〇	三〇	八、五〇
集水暗渠	八六八	五	四、一〇〇				八、八〇	五	四、一〇〇			
陸道	二九	二七	五、五〇〇				一、九	二七	五、五〇〇			
溜池	三	五八	六、六〇〇			二、一〇〇	二、七	三、四	六、六〇〇			二、一〇〇
サイフォン	一	四〇	一、〇〇〇				一	四〇	一、〇〇〇			
橋梁	一	一〇	一、〇〇〇				一	一〇	一、〇〇〇			
揚水機	一	一五	一、〇〇〇				一	一五	一、〇〇〇			
湧水池	一	一〇	一、〇〇〇				一	一〇	一、〇〇〇			
分水工	一	三	二〇〇				一	三	二〇〇			
掛種	二	七	七〇〇				二	七	七〇〇			
計	三〇、五五〇	五、〇〇八町	二九、〇一〇円	三、六〇〇	三八	一〇、一〇〇	三三、三三〇	四、〇〇〇	三九、九〇〇	四、六三〇	七、七	五〇、〇〇〇

(一〇) 凶作應急施設耕地事業 (自昭和九年) 至昭和十一年)

種目	地區數	地積	工事費	昭和九年度			昭和十年度			昭和十一年度		
				地區數	地積	工事費	地區數	地積	工事費	地區數	地積	工事費
小開墾	二〇	一、七〇町	一四、〇〇〇				一六	一、四〇町	一、九三〇	四	二、七町	二、四八〇
開畑	八	四、三	一七、八五〇				四	二、三	三、〇〇〇	三	一、六	四、八五〇
用排水改良	四	八、八〇	三、七五〇			二	二、〇	二、〇〇〇	三	三、五	一、八〇〇	
暗渠排水	三	七、三	一、一〇〇				三	七、三	一、一〇〇			
小設備	四	一、〇〇町	二、四〇〇				三	七、八	一、八〇〇	一〇	三、〇	四、六〇〇
計	一六	一、九七八	二九、〇五〇	三	四、五	三、〇〇〇	三三	一、一三〇	六、四七〇	六	七、〇	一〇、〇〇〇

(一一) 風水害應急施設耕地事業 (自昭和九年) 至昭和十一年)

種目	地區數	地積	工事費	昭和九年度			昭和十年度			昭和十一年度		
				地區數	地積	工事費	地區數	地積	工事費	地區數	地積	工事費
小開墾	二	四、〇町	四、一〇〇				二	四、〇	四、一〇〇			
開畑	六	八、〇	三、七五〇			一	〇、八	三、三〇〇	五	七、二	三、三〇〇	
用排水改良	二	三、五〇	一、七二五				一	二、九〇	一〇、五七五	九	六、七	六、七〇〇
暗渠排水	三	三、〇	六〇〇				三	三、〇	六〇〇			
小設備	二	七、九〇	二、三〇〇				二	六、四〇	一〇、六〇〇	四	六、五	一、三〇〇
計	三	一、〇九〇	六、二二五	三	二〇、八	九〇〇	四	九、七	二九、三三〇	三	一、六	八、〇〇〇



(一三) 冷害應急施設耕地事業 (自昭和九年 至昭和十一年)

種目	地區數	關係地積	工事費	昭和十年年度		昭和十一年度	
				地區數	地積	地區數	地積
中小開墾	二	二〇町	二、六一〇	二	二〇町	二、六一〇	二、六一〇
開田	二五	二七・八	一、三八〇・〇	八	一三・九	七	一三・九
開畑	四	九七・一	三、八〇〇・〇	三	六七・六	一〇	二九・五
用排水改良	四	九七・一	一、八五〇・〇	四	七四・〇	一	三〇・〇
暗渠排水	五	六・四	三、〇六五	三	七〇・〇	一〇	一、三三〇
小設備	四	一、三五・九	三、二六五	三	二七・五八〇	一〇	二、九三三
計	二五	二、五九・三	九、一三七五	八七	一、八三六	二八	五五・六

(一三) 昭和十年水害復舊耕地事業 (自昭和十年 至昭和十三年)

種別	總事業量		既支出量 (昭和十年)		未支出量 (自昭和十一年 至昭和十三年)	
	復舊數量	金額	復舊數量	金額	復舊數量	金額
耕地復舊	二四・八	三九、六九	四九・六	四、四二六	一五・二	三、一七〇
公共施設復舊	六・六	四六、一八八	九・五	六、三三六	六・二	三、八〇〇
計	三一・四	八五、八七八	五九・一	一〇、七六二	二一・四	六、九七〇

公共施設復舊數量内譯

種別	復舊數量	金額	既支出數量	金額	未支出數量	金額
道路	一七・六三	五、一五五	四、八〇〇	二、三九七	二、八三三	三、九八八
水路	四・四三	三〇、八八	五、九三	二八、七〇〇	三、四四〇	一〇、一三九
溜池	一・八	一九、八八	一・八	一九、八八	〇	一九、八八〇
井堰	二・七	四、七三	二・八	四、四三	九	四、四〇九
橋梁	一・三	三、一八	三	三、七九	〇	一九、八八〇
堤塘	二、九〇	二、四八	三	四、八三	一	一六、六五
掛樋	七	三、三五	四	二、九〇	三	二八五
暗渠	九	八、〇〇	四	六、九八	五	一、〇四四
樋門	三	八五〇	〇	〇	三	八五〇
護岸	六	六、一〇〇	〇	〇	六	六、一〇〇
防護道	一、四〇	三、七〇	〇	〇	一、四〇	三、七〇〇

今之等主ナルモノニ付テ事業別ニ其ノ実績ヲ述フヘシ

一、普通耕地整理及開墾助成事業

普通耕地整理事業ハ農業經營、經濟ノ合理化ヲ目的トシ農村經濟更生上最緊要ナルハ論ヲ俟タサル處ニシテ既往事業ノ趨勢ヲ觀ルニ大正十三、四年頃開墾事業好況時代最旺盛ナリシモ近來同助成事業不振ノ爲之亦停頓セル現況ニアリ既往ノ施行実績ヲ地方別ニ看ル時ハ甲府盆地其ノ七割ヲ占メ之ニ次クハ八ヶ岳山麓、富士山麓ノ地帯ニテ本縣ノ此ノ種事業ハ往時明治四十年、同四十三年ノ大水害ニ因ル復舊事業ニ依ル富士川流域沿岸ノ耕地復舊ニ端ヲ發シ次テ食糧不足ノ補給ヲ目的トセル開墾事業ノ發達セルモ元來本縣農家ノ耕地ハ狹小ニシテ一戸當田畑合計六反三畝



歩ニ過キサレハ食糧不足ハ到底滿タサレス毎年米、雜穀二十餘萬石ヲ移入セル状態ナルヲ以テ爾來開墾助成法發布ト共ニ斯業ノ進展發達ニ努力シ來タリシ結果開墾助成事業ニ依リ一千七百六十町歩ノ耕地擴張ヲ爲シ約四萬二千二百石ノ米穀ノ増産ヲ見タリ尙開墾移住ハ縣内移住ニシテ二男、三男ノ分家セルモノ多ク移住家屋建設ハ八ヶ岳及富士山麓地帯ノ開墾地八割ヲ占ム又既耕地ノ改良セルモノ約五千六百餘町歩ニ及ヒ區劃整理、暗渠排水、農道、用排水改良工事ヲ施行シ農村經濟更生上多大ノ貢獻ヲ爲シ將來益發展ノ途上ニ在リ

二、用排水幹線改良事業

本縣ニ於ケル農業水利ノ不良ナルハ前述ノ如ク地勢、地質上已ムヲ得サル處ナレ共縣ハ用排水幹線改良事業ヨリ其ノ基礎的解決ヲ圖ラムトスルモノニシテ曩ニ大正十三年笛吹川河川改修ニ因ル湛水地富士見村外二箇村ノ改良事業ヲ施行シ豫期以上ノ效果ヲ齎シ次テ龍王玉幡用水ノ改良工事ニ成功シ更ニ現在ハ荒川沿岸、四箇村堰及龍王村外七箇村用水改良等ニ依リ五千六百餘町歩ニ對スル旱水害防止用排水事業ヲ計畫シ目下工事遂行中ニシテ何モ順調ニ進捗中ニテ豫定以上ノ結果ヲ擧ケツツ在リ一般ニ本事業ノ效果偉大ナルヲ認識セシメ今後此種事業實施ヲ要望セルモノ甲府盆地及八ヶ岳山麓ニ於テ六地區、五千町歩、事業費百五十萬圓アリ縣ハ更ニ利水調査ヲ縣下全般ニ亘リ實施ノ上事業計畫ノ完璧ヲ期シ本事業及開墾事業ノ基本的計畫ヲ樹立スルコトトセリ

三、暗渠排水事業

暗渠排水事業施行地ハ主トシテ八ヶ岳山麓地帯小淵澤附近及甲府盆地ノ富士川支流沿岸地ニシテ豫定地積三千町歩中工事ヲ終了セルハ約一割ニ過ス曩ニ國庫補助ノ途拓カルルヤ本事業ヲ要望スルモノ頗ル多ク經濟更生計畫村ニ於テ特ニ著シキモノアリ暗渠排水カ米作ノ增收、二毛作田ノ増加ニ對シ顯著ナル效果アルハ一般ニ認識スル處ナリ

四、匡救事業及旱害、冷害、凶作、風水害對策事業

匡救事業及各種災害對策應急事業カ如何ニ困難ノ極ニアル農山村ノ經濟ヲ緩和シ生活ヲ潤シ前途ノ光明ヲ付與セル

カハ本縣ニ於テモ殊筆スヘキ事實トス

即チ本項事業ヲ以テ耕地擴張セル地積ハ

開田 三百六十八町歩

開畑 八百二十四町歩

計 一千百九十二町歩ナリ

既耕地ノ改良ハ地積二萬三千七十八町歩ニ及ヒ縣下二百三十八箇町村ニ普遍シタル爲農家八萬四千戸ノ約七割ヲ占ムル養蠶農家ノ收入激減ニ對シ當面ノ救済ヲ爲シタルノミナラス耕地改良及耕地擴張ヲナシ養蠶偏重經營ヨリ多角形經營ノ合理化ニ進出セシメ經濟更生運動ニ一機軸ヲ與ヘ窮乏状態ニ沈淪セル之等農家ヲ救済セルト共ニ恒久的生産ヲ以テ經營安定ノ礎石ヲ築キ耕地事業ノ普及並發達ニ寄與セルハ多大ナルモノアリ

五、昭和十年水害復舊事業

昭和十年九月ノ水害ハ縣下全般ニ亘リ大災害ヲ與ヘ既往明治四十年、同四十三年ノ水害ニモ劣ラサル損害ヲ惹起シ耕地關係被害總額二百四十五萬圓ノ巨額ニ達セリ被害輕微ナルモノハ自力復舊ヲ爲サシメ被害甚大ナルモノノミ國庫補助ヲ受ケ復舊スルコトトシ事業費八十三萬圓ヲ以テ昭和十年度ヨリ昭和十三年ニ亘ル四箇年繼續事業トシテ復舊計畫ヲ樹テ第一年(昭和十年度)工事ヲ終了シ耕地復舊五十九町一反歩、水路道路ノ復舊一萬一千餘間、井堰、橋梁其ノ他六十一箇所ノ工事ヲ施行シ目下引續キ施行中ニテ豫定期間内ニ全部ノ工事ヲ終了セシメ得ル見込ナリ

六、床 締 事 業

用水節約ノ目的ヲ以テ昭和九年及昭和十年試驗的ニ之ヲ實施セル結果ニ徴スルニ用水ノ節約ハ勿論勞賃ノ低廉、効力ノ偉大ニシテ生産ノ増加、耕作ノ便利等顯著ナル實績ニ徴シ本縣耕地改良事業ニハ最適切ナル事業ト認メ被ルルヲ以テ昭和十二年度ヨリ之カ實施計畫ヲ樹テ經濟更生計畫ト相俟テ之ヲ實施セムトス



一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

現時農村疲弊ノ原因ハ一般經濟界ノ變動ニ伴フ農產物價下落ニ依ルトコロ大ナリト雖其ノ大部分ハ耕地ノ過少、災害ノ頻發並耕地ノ不良ニ基クモノナリ因ヨリ耕地政策ノ遂行ノミヲ以テシテ農村ノ振興ヲ期スルコト能ハサルハ論ナキトコロナルモ彼上ノ缺點ヲ有スル耕地ニ對シ根本的治療ノ方策ヲ講スルハ農村振興上最喫緊ノ事項ナリト信ス  
爾テ吾國ノ現狀ヲ見ルニ人口ハ年々増加ノ一路ヲ辿リ耕地ハ之カ擴張改良ノ獎勵ニ日モ足ラサルノ努力ヲ拂ヒツツアルニ拘ラス漸次減少シ現存耕地面積ノ減少ヲ防止スルコトスラ困難ノ實狀ナリ更ニ小作爭議ノ原因ヲ見ルニ不作ニ原因スルモノ最多ク小作料滯納、土地賣買、自作、競落等ノ理由ニ依ル土地返還爭議之ニ次キ逐年増加ノ傾向ニアルハ誠ニ遺憾トスルトコロニシテ小作爭議發生防止ニ對シテモ亦耕地事業遂行ノ要望セララルトコロナリ  
然リト雖耕地事業ハ比較的多額ノ資ヲ必要トスルカ故ニ農家ノ自力ノミヲ以テスルハ困難ニシテ而モ一戸平均六百圓以上ノ負債ヲ有スル現時ノ農家ニ於テ尙然リトスルカ故ニ今後ハ中央、地方ヲ通シ左記各項ニ付今一段ノ努力ヲ拂ヒ之カ具體化ヲ期スヘキナリ

(甲) 中央ニ於ケル方策

一、全國劃一的ノ指導獎勵方法ヲ改メ地方的特殊事業ニ重點ヲ置キタル方策ヲ講スルコト

理由

例ヘハ耕地極メテ少クシテ天然資源ニ乏シク從テ食糧ノ自給困難ナル地方ニ對シテハ耕地擴張ニ特別ノ考慮ヲ拂ヒ經濟更生ノ實績ヲ擧ケシムル方策ヲ採リ又大縣小縣ノ別、富裕縣貧弱縣ノ別ヲモ考慮シ地方ノ特殊事情ニ重點ヲ置キタル政策ヲ採ルノ要アリ

二、中小開墾ニ對スル助成ノ途ヲ講スルコト

理由

特ニ本縣ノ如ク耕地ノ極度ニ不足セル府縣ニ於テハ比較的容易ニ實現シ得ル中小開墾獎勵ヲ急務トスルヲ以テ國庫助成ノ途ヲ講スルノ要アルモノト認ム

三、災害防止施設ヲ講スルコト

理由

近年農村ノ疲弊ハ災害ノ頻發ニ其ノ因ヲナスモノ尠ナカラス小作爭議ノ増加ノ如キモ災害ニ基因スルモノ亦多シ依テ災害ヲ未然ニ防止スルノ施設ヲ講シ速カニ之ヲ實施セラルルノ要アルモノト認ム

四、開墾地經營指導施設ヲ講スルコト

理由

開墾事業ハ終局ノ目的トスルトコロ其ノ農業經營ニアルモ現今ノ施設ヲ以テシテハ完全ナル指導ヲナスコト能ハサルヲ以テ速カニ中央ニ農業經營指導官ヲ設ケ地方ニモ亦國費ニ依ル指導費ヲ設置スルノ要アリ

五、床締工事ノ獎勵

理由

床締工事ハ一面用水ノ節約トナリテ旱害防止トナリ他面又冷害ノ防止トナルヲ以テ床締工事ヲ獎勵シ補助ノ途ヲ開クノ要アリ

六、用排水幹線改良事業ノ國庫豫算ヲ増額シ制限地積ヲ低下スルコト

七、開墾助成費ヲ復活シ且制限地積ヲ低下スルコト

八、農業水利統制調査會ヲ設置スルコト

理由

農業水利統制ノ急務ナルコトハ一般ノ認ムルトコロニシテ農業水利法制定ノ前提トシテ識者ヲ糾合シ農業水利



ノ統制調査會ヲ設置シ農業水利權慣行ノ工業水利トノ關係等ニ關スル一切ノ調査ヲ迅速ニナスノ要アリ

(乙) 地方ニ於ケル方策

- 一、國ノ施設ニ順應シテ府縣ニ於テモ相當經費ヲ計上シテ事業ノ遂行達成ヲ計ルコト
- 二、事業獎勵ニ際シテ地方ノ實情ニ則シタル計畫ヲ樹ツルニ一層ノ考慮ヲ拂フコト
- 三、徒ニ補助ノミニ頼ラサル様自力更生ノ精神ヲ養ヒ以テ獎勵事業ノ進歩發達ヲ計ルコト

長野縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

耕地事業ハ其ノ施行ニヨリ農産物ノ増殖、生産費ノ低減又ハ餘剩勞力ノ利用ニヨリ農家收入ノ増加ヲ圖ルト共ニ各種災害ヲ防除シ耕作上ノ安定ヲ得セシメ更ニ失業者ノ救済等農村更生上効果甚大ナリ各種類別事業實績ノ概要ヲ示セハ左ノ如シ

一、耕地整理施行認可並其ノ實績(最近七箇年)

年 度	認 可		同 上		内 工 事 完 了 實 績		合 計
	地區數	地 積	既 耕 地	改 良	開 田	開 畑 (地目變換ヲ含ム)	
自明治三三年至昭和三年	三三〇	三三〇町	四、〇四町	六三三町	一、六四町	一、〇四町	七、〇五町
昭和四年	一四	三〇町	五七三町	八〇町	一九二町	七	九三
同 五 年	二五	二一町	九八町	八三町	二六七町	三	一、〇一
同 六 年	四	二八七町	五〇六町	五七町	一町	七	一、〇一
同 計	三七三	三六七町	一〇、〇九町	一、〇〇一町	三、〇〇一町	一、〇六町	一、三六

(二) 耕地整理事業施行ニ依ル最近七箇年ノ平均利益

年 度	地 區 數	地 積	既 耕 地	改 良	合 計	備 考
同 七 年	四	一、四六	九六	九六	一九二	一、三六
同 八 年	四	二、五三	八二	一、〇一	三三	一、〇一
同 九 年	四	一、五〇	一、〇三	一、五五	二九	一、三三
同 十 年	一	六六	一、三三	一、四二	一六	一、八〇
同 計	一六	二、四、五八	九、九八	一、七三	二、九八	一、六八

地 目	耕 地 擴 張		既 耕 地 改 良		合 計		備 考
	反當收量	收 量	反當收量	增 收 量	收 量	單 價	
開 田	一三、〇〇反	二〇、一六、一〇〇石	八、九九〇反	二、三、五九六石	五〇、七二石	二五、〇一、六九七五	一箇年平均
開 畑	三、五〇〇反	一、〇〇〇石	一、三〇〇反	三、一五〇石	四、二二〇石	一三、〇一、二〇〇〇	
稻	一、〇〇〇反	一、〇〇〇石	一、〇〇〇反	一、〇〇〇石	二、〇〇〇石	一、〇〇〇石	一箇年平均
麥	一、〇〇〇反	一、〇〇〇石	一、〇〇〇反	一、〇〇〇石	二、〇〇〇石	一、〇〇〇石	
大豆	一、〇〇〇反	一、〇〇〇石	一、〇〇〇反	一、〇〇〇石	二、〇〇〇石	一、〇〇〇石	一箇年平均
陸稻	一、〇〇〇反	一、〇〇〇石	一、〇〇〇反	一、〇〇〇石	二、〇〇〇石	一、〇〇〇石	
計	三、五〇〇反	一、〇〇〇石	三、五〇〇反	一、〇〇〇石	三、五〇〇石	一、〇〇〇石	

(三) 用排水幹線事業及暗渠排水事業(事業完成)

區 別	受 益 地 積	生 産 利 益		備 考
		反當收量	增 收 量	
用水幹線改良事業	六、七〇〇町	〇、二五	一、六五〇石	工事中ノ事業地ヲ除ク
計			四八、二五〇	



排水幹線改良事業	暗渠排水事業	合計
1,000,000	141,000	1,141,000
0.5	0.50	1.0
250,000	70,500	320,500
1,250,000	171,500	1,421,500
4,200	17,600	21,800
工事中ノ事業地ヲ除ク	自昭和七年度一箇年平均五、八七五圓	至同十年度一箇年平均五、八七五圓

(四) 時局匡救並災害應急耕地事業 (自昭和七年度至同十年度)

區別	地積	事業費	補助金	就勞人員及其ノ勞銀		備考
				人員	勞銀	
時局匡救耕地事業	計開田 1,000 既耕地設備改良 7,900	4,311,198	1,091,500	3,150,840	2,521,484	
養蠶不況救濟耕地事業	計開田 2,000 既耕地設備改良 9,000	500,000	225,000	2,633	308,000	縣獨自ヨリ補助事業
旱害應急耕地事業	計開田 1,000 既耕地設備改良 1,000	241,000	131,000	1,500	190,000	
凶作應急耕地事業	計開田 1,000 既耕地設備改良 1,000	161,000	80,000	2,300	105,000	
冷害應急耕地事業	計開田 1,000 既耕地設備改良 1,000	330,000	93,000	1,000	140,000	

合計	開田	計開田	既耕地設備改良
5,407,200	5,000	14,000	19,900
2,633,687			
4,006,750			
3,331,750			
一箇年平均 1,009,680人 805,480人			

(五) 雪害、水害、耕地復舊事業 (自昭和九年度至同十年度)

區別	復舊數量	事業費	補助金	備考
雪害	計開田 3,000 公共施設復舊 3,000	5,800	3,700	
昭和九年ノ水害	計開田 2,000 公共施設復舊 2,000	2,500	1,300	
昭和十年ノ水害	計開田 1,000 公共施設復舊 1,000	1,300	700	
同	計開田 3,000 公共施設復舊 3,000	5,000	2,700	國庫助成ヲ伴ハサル分
計	計開田 9,000 公共施設復舊 9,000	14,600	8,400	



一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

農村振興上耕地ノ擴張改良ハ極メテ緊要ニシテ特ニ本縣ハ食糧不足(米一箇年平均生産高百四十二萬石、不足五十萬石)人口ノ激増(一箇年一萬六千人)耕地過少(耕地十七萬二千七百三十八町步、農家一戸當八反二畝步)及養蠶偏重ノ觀點ヨリ之カ施行ハ焦眉ノ急務トス

本縣農家經濟ハ蠶絲業ヲ中軸トシ其ノ生活ハ舉ケテ之ニ準據スルノ狀況ニシテ繭價ノ慘落ニヨリ農家收入ハ激減シ生活ノ不安甚シキ爲養蠶家ヲシテ多角形農業ニ轉換セシムルト共ニ食糧ノ自給ヲ講セシメ農家經濟ヲシテ弾力性アリ堅實ニシテ有利ナル農家經營ヲ目標トスル縣ノ大方針ノ下ニ昭和十年度ヨリ臨時産業振興施設ノ内へ新ニ耕地改良事業ニ對シ補助スルノ途ヲ開キ更ニ本年度ニ於テ小開墾事業ニ對スル豫算ヲ増額シ農村經濟更生計畫ニ織込マレタル適切ナル耕地事業ニシテ自力ニヨリ達成シ得サルモノニ對シ交付スルノ方針ヲ執リタル結果適切有利ナル企業ヲ見ルノ狀況ニアルヲ以テ今後ハ特ニ本縣ノ實情ニ則シタル中小開墾、用排水幹線改良、暗渠排水等ノ事業中計畫確實ニシテ適切ナル事業ヲ選擇シ從來ノ指導方針ニ基キ企業獎勵ニ努ムトス

近時災害復舊耕地事業豫算ノ外恒久的施設トシテ最效果多キ開墾助成豫算計上ナキト用排水幹線改良豫算少額ナル爲指導獎勵上支障尠ナシトセス之等各種事業ノ實施ニ付テハ本省ニ於ケル耕地計畫ノ確立ニ依ル助成施設ニ順應シテ之カ實現ニ一段ノ力ヲ注キ極度ニ窮乏セル農村ノ更生ニ資セムトス

耕地整理組合ノ財務ニ對シテハ一層周到ナル指導監督ヲ行フト共ニ特殊大組合又ハ經營不良組合ニ對シテハ時々指導員ヲ派遣シ懇切ナル指導ヲ行ヒ誤リナカラシメ斯業獎勵上遺漏ナキヲ期スルト共ニ工事完了後ニ於ケル事務指導ニ付テハ速ニ手續ヲ完結セシムル様本縣耕地協會ト連絡ヲ執リ一層適切ナル指導ヲ加ヘムトス  
尙又工事施行後ノ經營ニ關シテハ農事指導機關ト連絡ヲ執リ農事ノ改良ヲ行ヒ經營ノ確立ヲ圖リ耕地事業ノ成果ヲ擧ケムトス

岐阜縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

本縣ニ於ケル耕地事業ノ重ナルモノハ耕地整理、開墾助成、用排水幹線改良、小設備並小開墾、暗渠排水、用排水支線改良、移住家屋等ニシテ是等ハ何レモ疲弊セル農山村振興上最緊要缺クヘカラサルモノニシテ何レモ其ノ實施ノ効果顯著ニシテ地方産業振興上裨益スル處尠カラサルモノアルハ論ヲ俟タス然シテ昭和七年ニ至リ地方農山村ノ疲弊其ノ極ニ達シ之カ救済ニ關シ政府ニ於テ相當施設ヲ講セラレタルヲ以テ本縣亦是ニ順應シ同年度ヨリ三箇年ニ亘リ時局匡救耕地擴張改良事業ヲ施行シタルヲ始トシ昭和九年度以降ニ於テハ雪害、風水害、水害等ニ因リ災害復舊並應急耕地事業ノ補助施設ヲ講シ以テ永年ニ亘ル農山村ノ經濟的窮境並災害ニ基ク困憊ノ打開ニ努メ更ニ昭和十年度以降ニ於テハ縣獨自ノ計畫トシテハ小設備並小開墾事業助成ヲ開始シ現ニ實施中ニ屬スルモノナリ  
茲ニ耕地事業實施ニ因ル効果ノ最顯著ナル實例トシテ管下吉城郡上寶村大字一重ケ根ニ於ケル開墾助成事業ヲ舉クルコトヲ得ヘシ

同地ハ飛驒高原ニ屬スル山間僻陋ノ地ニシテ農家戸數四十三戸、人口二百五十八人、一戸當耕作反別田五畝步、畑二反一畝步、合計二反六畝步ニ過キス從テ副業トシテ養蠶並林業(特ニ製炭)ニ從ヒ居リシモ繭絲價並林產物ノ價格著シク暴落シ爲ニ唯一ノ金錢所得ノ途ヲ失ヒ生活甚シク困窮ニ陥リタリ地方農民ハ茲ニ大ニ自覺スルコトトナリ以先食糧自給ノ方策ニ力ヲ致シ昭和七年度ニ於テ時局匡救ニ基ク開墾助成事業トシ開田八町五反餘步、開畑四反餘步ノ實施ヲ計畫シ爾來組合員一致協力工事ノ完成ニ奮勵努力シ三箇年ノ日子ヲ以テ好ク所期ノ目的ヲ遂行シタリ  
然シテ事業費ハ一萬八千餘圓ノ處助成金及縣費補助金ノ外ハ一切努力出資ヲ以テ之ニ當リ經濟上餘裕ナキ農村ナルニ不拘負債ヲ殘サス能ク全事業ヲ完成セシメタリ此結果同大字ニ於テハ田面積十町七反步、畑九町四反步、計二十町一



反歩トナリ平均田畑一戸當ニ反歩餘ヲ增加シ四反六畝歩ニ達シ開墾ニヨル產米ノ增收實ニ二百餘石ヲ得食糧自給ノ基礎ヲ確立シ關係民ノ經濟的更生ニ著シク効績ヲ收メ得タリ  
 此ノ如キハ僅ニ一例ニ過キス耕地事業實施ノ効果カ疲弊困憊ノ極ニアル地方農山村ノ窮狀ヲ緩和シタル事例枚舉ニ追ナキ狀況ナリ

以下時局匡救耕地事業、災害復舊並應急耕地事業、小設備及小開墾事業實施ノ内容ヲ説明スヘシ  
 一、時局匡救耕地擴張改良事業

事業種目	箇所數	事業分量	事業費	附記	
				縣管施行	其他
用排水改良	三	二、一七七・〇〇〇	二三二、七一・〇		
開墾助成	四七	一〇二、二七二	四六二、八六七・五		
小用排水改良	三四六	一、九四六・〇	六七七、二五五・〇		
小開墾	六五五	三一、二二〇	七〇九、三一六・〇		
暗渠排水	三八	六六、三九二	二九、一六〇・〇		
小設備	四二四	同	六〇七、一六五・〇		
計	一、五一三	一〇、七八六、七四二・〇	二、七一八、四七四・五		

二、各種災害復舊耕地事業

災害種別	箇所數	面積	積事業費	公共施設	復舊	
					延長又ハ箇所數	面積
第一次風雪	五	畑田	一四、〇〇〇	延長 一〇、〇四四	一、〇八一・〇	一四、七三三
第二次風雪	三五	畑田	三、〇〇五	同 二八、九三三	九、二九六	四〇、七三三
北陸水害	三	畑田	一、〇〇〇	同 六、五七三	七、四〇九	二四、八八八
同第二次水害	老	畑田	三、四三三	同 二九、四九四	七、二〇七	二四、八八八
同第一次水害	一、九	畑田	一、四、一六九	同 一三、四六四	七、二〇七	二四、八八八
計	六〇	畑田	九〇、〇二二	同 一七、二五九	三、七九〇・五	三、三七一・六

三、風水害應急耕地事業

事業種目	箇所數	事業分量	事業費	附記
小開墾	五	開田	四、〇〇〇	
用排水改良	二四	開田 關係地積	三六、一〇〇	縣管ニ非ス
暗渠排水	三	同	三、〇〇〇	
小設備	二二	同	三四、七六〇	
計	五四		七七、八六〇	



四、小設備並小開墾事業

種 目	昭和十年度分		昭和十一年度分	
	箇所數	事業費	箇所數	事業費
溜池	七四	二二二、〇〇〇 <small>円</small>	三七	九七、一〇〇 <small>円</small>
水路	一五四	三二二、八〇〇	一一〇	二四二、四〇〇
堰	一八	四二、六〇〇	一〇	二四、五〇〇
農道	四	一〇、七〇〇	六	一三、〇〇〇
樋	九	二一、九〇〇	六	二三、〇〇〇
小計	二五九	六〇〇、〇〇〇	二二九	五〇〇、〇〇〇
開墾			(六七町) 五〇	一〇〇、〇〇〇
			二二九	五〇〇、〇〇〇

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

惟ニ疲弊セル農山村ノ振興ヲ圖リ以テ農民生活ノ安定ヲ策スルノ途種々在リテ存スヘシト雖農業經營ノ根幹ヲ爲ス耕地面積ノ増加、用排水施設ノ確立、交通運搬設備ノ整理統一等ノ如キ所謂耕地問題ノ解決ノ如キハ眞ニ必要缺クヘカラスル重要案件ニシテ一日ノ苟安ヲ許ササルモノト信スルヲ以テ是カ指導獎勵上今後採ルヘキ方策トシテ大要次ノ各項ニ據ラムトスル方針ナリ

一、小設備並小開墾助成事業ハ農山村ノ要望ニ合致シ最好適ノモノト認メラルルヲ以テ明年度以降ニ於テモ出來得ル限り多額ニ計上シ繼續施行セムトスル豫定ナリ

二、用排水幹線改良事業ニ關シテハ速ニ計畫ヲ樹立シ縣營ヲ以テ實施ヲ圖ルコト

三、町村經濟更生計畫ニ於テ樹立サレタル耕地事業ニ對シテハ十分ナル調査檢討ヲ加ヘ以テ其ノ實績ヲ擧ケシムルコト

靜岡縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

耕地整理

- 一、地 區 名 井伊谷耕地整理組合
- 二、位 置 引佐郡井伊谷村大字井伊谷
- 三、面 積 八十六町四反二畝七步
- 四、組合設立 昭和四年十一月二十六日
- 五、工事着手 昭和四年十二月十五日
- 六、工事竣功 昭和九年三月三十一日
- 七、事業費 八萬八百圓

内 譯

工 事 費 七二、九〇〇圓  
 事 務 費 七、七四一圓  
 創 業 費 一五九圓

八、整理前地區ノ現状

地區内田地ノ大部分ハ用水常ニ不足勝ニシテ加フルニ水路不完全ナル爲配水ノ自由ヲ缺キ之カ爲ニ少シク旱魃ニ



際會セムカ直ニ用水ノ缺乏ヲ來シ旱害ヲ蒙ルノ状態ナリ之ニ反シ排水ノ施設ナキカ故ニ田地ノ多クハ濕地ニシテ二毛作行ハレス殊ニ全地區ヲ通シテ區劃ノ不整ト通水ノ施設全タカラサルトニ依リ農耕上ノ不便極リナキ實況ナリキ

九、工事施行ノ目的

本地區ノ現況ニ關シテハ前段記述シタル如クニシテ用水ノ補給並水利交通完全セサルノミナラス區劃形狀等不整ニシテ耕耘上不便少カラサルカ故ニ之ヲ改善シ以テ土地ノ利用ヲ増進セムトスルニアリ

一〇、計畫ノ大要

イ 用水源

用水ノ不足ハ前陳ノ如クナルモ他ニ適當ノ方法ナキニ依リ各水源ハ共ニ整理前ノ儘トシ之ニ適當ノ改良ヲ加フルコトトシ不足用水ニ對シテハ在來ノ溜池ノ改修並地下水ヲ利用シ揚水機ノ据附ニ依リ補充スルコトトセリ

ロ 排水

排水ハ地區ノ幹線トモ云フヘキ井伊谷川、神宮寺川アルモ之カ改修ハ費用ノ關係上利益伴ハサルニ依リ之ニ改修ヲ加ヘス耕地排水トシテ適當ノ位置ニ排水幹線ヲ設ケ兩河川ニ連絡セシムルコトトセリ

ハ 道路

道路ハ部落ト部落トヲ連絡ノ必要上幅員十二尺ノ路線四線ヲ設ケ之ニ架設セル四大橋梁ハ鐵筋コンクリート式ニ依リ架設スルコトトシ尙主要道路トシテ幅員八尺乃至九尺ノ路線四線ヲ更ニ步道トシテ幅員四尺乃至六尺ノ路線三十二線ヲ新設スルコトトセリ

ニ 地區

地區ハ用水系統其ノ他種々ノ事情ヲ異ニスル關係上四區ニ區分スルコトトセリ

ホ 用水路

用水路ハ各區ニ一線ノ幹線ヲ設ケ支線トシテ縱三十間毎ニ横スル各道路ニ沿ヒテ導水路ヲ設ケ灌漑排水ニ便スルコトトセリ然シテ水路ノ大部分ハ用排兼用トスルヲ主眼トセリ

ヘ 區劃

耕地區劃ハ事情ニ依リ多少ノ相違アルモ原則トシテ長邊三十間、短邊十間トス

一一、事業ノ經過並現況

耕地整理ノ施行ニ關シテハ本村多年ノ計畫タリシモ一部地主ノ不理解ニ依リ實施ノ機運ニ到達セサリシモ昭和四年一月漸ク施行ノ議熟シ直ニ縣ノ助成ヲ得テ設計調査ニ着手シ同年十一月組合設立ノ手續ヲ了シ同十二月中旬工事ニ着手スルニ至レリ爾來工ヲ進メ翌昭和五年四月迄ニ田地ノ全面積ニ互リ重要工事タル道路及水路、地均並地割工事等ノ大體ヲ完了セシメ以テ其ノ年ニ於ケル稻作ニ支障ナキ迄ニ工事ヲ進捗セシメ更ニ同年十月迄ニ畑地ニ於ケル整理ヲ行ヒ爾後漸ク追テ橋梁ノ架設、水揚工事ノ施設、井堰並溜池ノ改修等ヲ行ヒ今日ニ至レリ工事ハ總テ村内ニ於テ其ノ需用ヲ充スノ方針ニ出テ工費用材タルセメント、鐵材、レール及其ノ附屬品等ヲ除クノ外全部組合員及本村内ニ於テ供給シタリ現在ニ於テハ唯僅ニ道路ノ小工事ヲ剩スノミトナリタルモ是亦遠カラズ竣工シ全部ノ完成ヲ見ルモ近キニアリ尙事務方面ニ於テハ昨年來精算事務ニ從事シ遅クモ昭和十一年度迄ニハ完結セシムル豫定ナリ

一二、借入金、助成金、補助金

事業資金トシテ昭和五年三月日本勸業銀行ヨリ低利資金四萬八千六百圓ノ融通ヲ受ケタリ  
補助金トシテハ本縣ヨリ六回ニ互リ總額二萬二百九十六圓ノ交付ノ受ケタリ  
橋梁架設ニ對スル助成金トシテ本村費其ノ他ヨリ一千三百五十圓ノ交付ヲ受ケ今後尙七百圓ヲ本村ヨリ交付アル



豫定ナリ

其ノ他借入金トシテ農村及中小商工業關係元利支拂資金トシテ昭和七、八兩年ニ四千二百圓ノ借入ヲ爲シタリ

一三、成績

用水源ニ關シテハ前段記載ノ如ク水量潤澤ナラサリシモ導水路ノ改修、溜池ノ改築、地下水引揚ノ施設ニ依リ地  
區全體ニ互リ如何ナル旱魃ニ際シテモ絶對不足ヲ來ササルコトナレリ而シテ耕地整理施行前田ノ總面積六十二  
町餘步中二毛作可能面積僅ニ十二町步即チ其ノ二割ニ過キサリシモ施行ノ結果之ト反比例ニ其ノ八割ニ當ル五十  
町步ヲ完全ナル二毛作地ト化セシメ土地ノ利用ヲ高メ現ニ成果ヲ收メツツアリ

之ヲ要スルニ耕地整理ノ完成ニ依リ其ノ收メタル成績ヲ擧クテハ道路ノ完成ニ依リ一般ノ交通ヲ利便スルト共ニ  
農作物ノ運搬ニ便シ、用水ノ不足ヲシテ絶對的ニ充實セシメ、濕田ヲシテ乾田ト化セシメ以テ作物ノ增收ト農耕  
上ノ能率ヲ増進シ得ルニ至リタルハ其ノ成果蓋シ莫大ナリトス尤モ之カ事業遂行ニ關シテハ多大ノ經費ヲ伴フア  
ルモ費用ノ償還ハ漸ヲ追ヒ年次の償却ニ係ルモノニシテ之レニ要スル資源ハ自然土地ノ利用價值ト努力低減トヨ  
リ生シテ尙剩アルモノト思考ス

用排水幹線改良事業

其ノ一

一、地區名 引佐郡 中川村 都田川第一耕地整理組合  
氣賀町 都田川第二耕地整理組合

二、事業ノ種類 用排水幹線改良事業

三、關係面積又ハ受益面積 九百七十七町八反步

四、事業費 六十六萬三千五百圓

負擔內譯

國庫 三三一、七五〇圓

地方 一六五、八七五圓

地費 一六五、八七五圓

五、事業着手及終了ノ時期

昭和二年四月着手、昭和十年三月竣功

六、災害ヲ免レタリト認メラル事情

都田川ハ引佐郡ノ北部愛知縣界附近ニ源ヲ發シ鎮玉、井伊谷、都田中川、氣賀等諸村ノ耕田ヲ潤シ其ノ灌溉用水  
タルト共ニ排水幹線ヲ爲スモノナルモ屈曲甚ク且斷面狹小ニシテ排水量ニ對シ排水能力ハ約三分ノ一ニ過キス  
爲ニ一朝豪雨ニ際會セムカ惡水氾濫シ農作物ノ損傷、流失、耕地ノ荒廢、堤防ノ缺壞、家屋ノ浸水等被害尠カラ  
ス殊ニ下流河口附近ニ至リテハ殆ト堤防スラ無ク常ニ低濕ニシテ海水ハ浸水シ出水ニ當リテハ耕地全面濁水ノ奔  
流ニ委セ慘憺タル情景ヲ呈シタリ

然ルニ之ニ改修工事ヲ施シ河積ヲ擴張シ出水時ニ於ケル水位ヲ低メ各支流ハ洪水ノ逆水ヲ來ササル程度ニ延長シ  
都田川本流ニ合流セシメ或ハ逆水門ノ布設、潮除堤防ノ構築ヲ爲ス等夫々工作ヲ進メシ結果工事未タ完成セサル  
昭和六年十月七日ノ大洪水(工事着手以後ノ最大洪水、出水量二萬個、計畫最大洪水量ノ三分ノ二ニ當ル)ニ於  
テ既ニ効果ヲ顯シ上流未改修部カ溢流水深上尺餘ニ及ヒ堤防ノ缺潰ニ瀕セルモノ五、六箇所ヲ算セシニ對シ工事  
施行部ハ完全ニ洪水ヲ收容シ減水時ニ於テハ短時間ヲ以テ平水ニ復スルヲ得テ殆ト被害ヲ見ス而シテ全工程完成  
ノ後ニ於テハ宿年ノ慘害全ク一掃セラレ沿岸耕地ノ增收一、三割ニ及ヒ住民業ニ安シ生産ノ基礎ヲ確立スルニ至  
レリ

其ノ二



- 一、地區名 駿東郡金岡村、大岡村
- 二、事業ノ種類 用排水幹線改良事業
- 三、關係面積又ハ受益面積 五百五十町步
- 四、事業費 二十七萬五百四十圓

負擔內譯

國庫	一三五、二七〇圓
地方費	六七、六三五圓
地元	六七、六三五圓

五、事業着手及終了ノ時期

昭和三年九月着手、昭和八年三月竣功

六、災害ヲ免レタリト認メラルル事情

金岡村ト大岡村トノ境界ニ在ル水面積九町步ノ門池ノ浚渫並堰堤一部ノ嵩上ヲ行ヒ貯水量ノ増加ヲ圖ルト共ニ東方ヲ流下スル牧堰用水路ヨリ門池ニ至ル延長二百三十三間ノ導水路ヲ新設シ門池補水ノ目的ヲ達成セシメムトスルモノニシテ昭和八年三月竣功セリ

元來門池ハ黃瀬川ヨリ引水スル牧堰用水路ノ灌漑區域五百五十町步ノ補水ヲ爲ス目的ヲ以テ去ルコト約二百九十年前即チ正保年間ニ築造セラレタルモノナルカ灌漑區域ハ愛鷹山麓ノ火山灰土ニシテ浸透性ニ富ミ多量ノ用水量ヲ必要トスルニ不拘爾來集水區域ニ開墾事業行ハレ降雨毎ニ土砂流入推積シ貯水量僅ニ三千八百八十四立坪即チ築造當時ノ約五分ノ一ニ減少シ補給水ノ目的ヲ達スルコト能ハス從テ灌漑區域ノ耕地ハ普通ノ年ニ於テモ旱害ヲ蒙ルノミナラス少シク旱天持續スル年ニ在リテハ著シク旱害ヲ蒙リ屢植付不能ノ場所ヲ見ルコトアリシカ

本工程施行ニ依リ新ニ六萬八千立坪ノ貯水量ヲ増加スルニ至リシヲ以テ昭和十年六、七月ノ大旱魃ニ遭遇セシモ用水ニ不足ヲ來タサス關係農民ノ喜ヒ一方ナラス農村經濟更生ハ本事業ニヨリ達成セララルト謂フモ過言ニ非ス

開墾事業

濱名郡三方原村大谷區ノ六十二戸ハ所謂特種部落ニシテ耕地ノ所有ハ僅ニ一戸一反餘步ニ過キス農ヲ專業ト爲ス能ハス日常糞細工、履物製造、日傭稼等ノ賤業ヲ營ミ其ノ日ノ生計ニ事缺ク如キコトアリ從テ思想バ不滿偏頗ニ陥リ全ク同情ニ堪ヘス茲ニ於テ之カ救済ニハ前述ノ賤業ヲ捨テ農ヲ專業タラシムルニ外ナシトシ縣有地三十町步餘ノ拂下ヲ受ケ各戸ニ分配開墾助成ノ恩典ニ浴セシメ既ニ全部ノ工事ヲ終了シ陸稻、甘藷、西瓜、大根、白菜、大麥、小麥等ヲ栽培シ其ノ成績頗ル良好ニシテ各戸ノ生計一變シ優良ナル新農村ヲ創成シタルハ如何ニ本事業ノ効果ノ絶大ナルカニ一驚スルモノナリ

暗渠排水事業

- 一、地區名 周智郡飯田町大字飯田字アララ
- 二、事業ノ種類 暗渠排水事業
- 三、關係面積又ハ受益面積 六反六畝步
- 四、事業費 一千三百六十四圓

負擔內譯

國庫	三四一圓
地方費	三四一圓
地元	六八二圓

五、事業着手及終了ノ時期

靜岡縣



昭和八年一月着手、同年二月竣功

六、災害ヲ免レタリト認メラル事情

本地區ハ鷹田、園田兩村ノ主要耕地三百餘町歩ニ亙ル水田ノ中央ニ位シテ全面湧水夥シク底知レヌ沼地ヲ爲シ水稻ハ固ヨリ生育セス僅ニ葦、水草ノ繁茂スルノミニシテ一大危險地域ヲ形成スルト共ニ冷水ハ流レテ周圍ノ水田ニ及ヒ水稻ノ成育ヲ害シ、病害ヲ發生セシメ、豪雨ノ場合ニ於テハ屢氾濫ヲ來シテ四隣稻田ノ冠水、倒伏ヲ見ル等被害尠カラズ

然ルニ此ニ暗渠排水法ヲ施シ中央ニ幹線土管暗渠(内徑六寸)ヲ布設シ之ト直角ニ支線粗梁暗渠ヲ埋設シ幹線ニ連絡セル末端ニハ水溜水閘十箇所ヲ設置シ水分ノ調節ヲ計ル等合理的手段ヲ講シタル結果不毛ノ溜池ヲ化シテ耕田ト爲シ施業ノ翌年既ニ反當一石ノ收穫ヲ擧ゲ得タルノミナラス附近一帶ノ水田ヲシテ面目ヲ一新セシメ湧水ニ因ル冷害、病害ヲ防止シ、氾濫冠水ノ被害ヲ一掃スルヲ得タリ

旱害應急對策事業

一、地區名 田方郡菰山村

二、事業ノ種類 用排水幹線改良事業

三、關係面積又ハ受益面積 五百二十町歩

四、事業費 十萬五百圓

負擔内譯

國庫	四九、六七八・六一圓
地方費	二五、六九六・三九圓
地元	二五、一二五・〇〇圓

五、事業着手及終了ノ時期

昭和八年二月八日着手、昭和十年三月三十一日竣功

六、災害ヲ免レタリト認メラル事情

菰山用水幹線水路ハ總延長約一千二百二十五間ニシテ昭和七年度ヨリ三箇年度ノ工事期間ニシテ昭和十年三月竣功セリ本計畫ハ狩野川ノ流水ヲ導水シ之ヲ揚水機ニヨリ揚水シ幹線水路ニ依リ導水灌漑スル計畫ナリ

而シテ本工程ノ進捗ト相俟テ昭和七年度ヨリ下流部ノ水路ノ擴張、改良及新設水路ノ工事ヲ施行シタル結果昭和十年六、七月ノ候旱天連續シ縣下一般ニ用水ノ不足ヲ來タシ稻ノ植付ニ困難ヲ來タシタルヲ以テ菰山用水幹線水路ノ工事完了セサレハ從來ノ實狀ニ鑑ミ當然植付不能ノ地積相當範圍ニ亙リ各所ニ用水ノ紛争ヲ惹起スルコト明カナリシカ本工程施行ニ依リ稻ノ植付及其ノ後ノ灌漑ニ何等支障ヲ來タスコトナクシテ珍ラシク用水關係ノ紛争ヲ見サリシハ效果顯著ナリ

小用排水事業

一、地區名 田方郡菰山村大字山木、多田、長崎

二、事業ノ種類 小用排水改良事業

三、關係面積又ハ受益面積 百二町歩

四、事業費 二萬七千五百圓

負擔内譯

國庫	一三、七五〇圓
地方費	一
地元	一三、七五〇圓



五、事業着手及終了ノ時期

昭和九年十二月着手、昭和十年三月終了

六、災害ヲ免レタリト認メラルル事情

本地方ハ毎年六月二十日前後ヲ以テ挿秧ノ時期トスレトモ從來用水乏シク降雨ノ分配如何ニヨリ其ノ時期ヲ支配サレ七月以降ニ植付ヲ行フ地積約四割(事業施行前四箇年平均)ニ達シ收穫モ年々一般平年作ニ對シ二割(事業施行前十箇年平均)ノ減收ヲ見タリ然ルニ事業施行後未タ日淺ク十分ナル效果ヲ知リ難キモ用水潤澤トナリシヲ以テ各種作業ハ夫々季節中ニ行ハレ收穫モ又事業施行前平年作タル反當二石六斗ニ對シ約一割五分ノ增收即チ三石内外ヲ收ムルニ至レリ

災害復舊事業

一、地區名 富士郡田子浦村字新濱

二、事業ノ種類 小設備新設事業

三、受益面積 八十町歩

四、事業費 三萬一千五百圓

負擔内譯

國庫

一五、七五〇圓

地方費

一

地費

一五、七五〇圓

五、事業着手及終了ノ時期

昭和十年十一月着手、昭和十一年四月竣功

六、災害ヲ免レタリト認メラルル事情

本地區ハ東海道線富士驛ノ南方十八町田子浦村ノ西南入道川口ノ附近一帯ノ水田約八十町歩ノ潮害除ニ聯鐵筋混凝土構造暗渠門扉工事ニシテ從來降雨時又ハ夏期波浪時ニ於テハ潮位ノ上昇ニ依リ事毎ニ海水田面ニ浸入シテ水稻ノ生育ヲ害シ甚シキハ枯死ニ至ラシムル等收穫モ年々平年作ニ比シ二割乃至五割ノ減收ヲ見タリ(事業施行前十五箇年)然ルニ前記事業施行後未タ日淺キ爲十分ナル效果ヲ知リ難キモ高潮時ニ於テ海水ノ浸入ヲ完全ニ防止シ内外水位ノ差三尺一六尺ヲ生スル現狀ヲ見ルニ至リ從テ收量モ亦事業施行前平年作タル反當二石二斗ニ對シ約一割七分ノ增收即チ二百九十九石内外ノ收穫ヲ確信シ得ルニ至レリ

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ方針

農村振興ノ方策一ニシテ足ラスト雖農耕ノ基礎タル土地ノ改良擴張ヲ爲シ農業ノ經營ヲ改善シ合理化スルコトカ根本問題ナルコトハ既往ニ於ケル各種耕地事業ノ施行カ農村ノ振興ニ寄與シタル偉大ナル實績ニ徴シ瞭ナルトコロナリ就中曩ニ施行セラレタル時局匡救農業土木事業ト輓近頻發シタル各種災害ニ對スル復舊事業トハ其ノ效果極メテ顯著ニシテ益耕地事業ノ緊要ナルヲ認識スル處トナリ其ノ要望愈々熾ニシテ殊ニ近時農產物價ノ稍好調ハ之ニ拍車ヲ掛クルノ趨勢ニアリ

此ノ秋ニ當リ政府ハ農林國策ヲ樹立セラレ恒久的耕地政策ノ確立ヲ期セムトスルヤニ仄聞ス斯ノ如キハ眞ニ農村振興ノ要諦ニシテ期待シテ止マサルトコロナリ

而シテ本縣ニ於ケル農家數ハ十四萬一千餘戸、其ノ耕地面積十三萬二千六百町歩、農家一戸當作付反別ハ八反三畝歩ニ過キス尙又縣内産米ハ人口百九十三萬ノ需要ヲ滿タスニ足ラス年々四、五十萬石ノ移入ヲ仰クニ加ヘ近時工業ノ勃興ハ耕地ノ潰廢著シキモノアリ既往六箇年間ニ於ケル其ノ擴張トノ減差ハ實ニ四千町歩ニ達スルノ狀態ナルヲ以テ必然食糧ノ自給自足策ハ縣是トモ稱スヘク將來ノ指導方針ハ之ヲ自途トシ國策ニ順應シ左記各項ノ計畫ヲ樹立シ之カ完



成ヲ期シ以テ農村ノ振興ニ寄與セムトス

一、用排水幹線改良事業

本縣用排水幹線未改良地區ハ尙十三地區、關係面積一萬三千町步ニ及ヒ之カ改良費七百七十萬圓ニ達ス依テ縣財政ヲ按配シ十箇年計畫ヲ樹立シ國庫ノ助成ヲ受ケ事業ノ完成ヲ期セムトス而シテ其ノ内濱名用排水幹線並辨財天川排水ノ兩事業ハ明昭和十二年度ヨリ七箇年計畫ヲ以テ事業ニ着手ノ豫定ナリ

二、開墾事業

縣内開墾適地中一萬町步ヲ選ヒ内開畑九千町步、開田一千町步、總工費六十五萬圓ヲ二十五箇年計畫ヲ以テ國庫ノ助成ヲ受ケ之カ完成ヲ期セムトス

三、農道、小用排水改良事業

農道改良ノ主要ナル路線延長ハ六十萬間、總工費三百六十萬圓、小用排水ノ緊要ナルモノ九百五十箇所、總工費三百四十萬圓ニ達ス農耕ノ便宜ト災害防止ノ爲之カ助成ノ要望ハ熾烈ナルモノアルヲ以テ之亦十年計畫ヲ樹立シ國庫ノ助成ヲ受ケ其ノ完成ヲ期セムトス

四、暗渠排水事業

暗渠排水工事施行ノ緊要ナル地積六千五百町步、總工費百六十萬圓ニ達ス之亦十年計畫ヲ樹立シ國庫ノ助成ヲ受ケ完成ヲ期セムトス

五、田地床締工事

床締ノ緊急施行ヲ要スルモノ一千五百町步ニ對シテハ既ニ四箇年計畫ヲ樹立シ目下施行中ナルモ其ノ施行カ田地休閑期ニ限ラルル爲豫期ノ成績ヲ擧クルコト能ハサルヲ以テ將來機械ヲ増設シ他面裏作ノ相互休止ノ方法ヲ講シ其ノ完成ヲ期スルト共ニ尙床締施行豫定地一千五百町步ニ對シテハ引續キ計畫ヲ樹立セムトス

六、普通耕地整理事業

耕地整理ヲ要スヘキ田地尙一萬五千町步、此ノ所要事業費九百萬圓ニ達スルモ縣財政ヲ按配シ工事費ニ對シ三分ノ一ノ補助ヲ爲シ二十五箇年計畫ヲ以テ完成ヲ期セムトス依テ政府ハ土地改良費ニ對シ補助ヲ復活シ増額交付セラレムコトヲ望ム

愛知縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

從來疲弊セル農村ハ昭和六年ニ至リ疲弊ノ最底ニ呻吟セルモ各種匡救事業ノ施行ニヨリ漸ク更生ノ光明ニ輝ケリ今愛知縣ノ耕地事業ノ實績ヲ一般耕地事業ト匡救耕地事業トニ分類シテ示セハ次ノ如シ

(昭和十一年三月末日現在)

種別	事業名	地區數	地積	事業費
普通	耕地整理組合	四二七	三九、七〇七・八三二	四〇、九四七、六三五・三五
同	開墾助成	九七	八、一一六・六二二	五、九九〇、〇〇八・二三
同	用排水幹線改良	二九	受益 五八、三〇五・〇〇〇	一〇、五九〇、六〇四・〇〇
同	小開墾	一	一八四・九〇〇〇	五四、〇〇〇・〇〇
同	暗渠排水	三七	四九・二四〇〇	一九、二〇〇・〇〇
同	小開墾計	五九〇	一〇六、三六三・五九二四	五七、六〇一、四四七・五八
匡救	小開墾	九二五	五、一八一・二〇二五	一、四一二、七五九・八六



匡救	小排水	四五八	受益	一四、六〇五・八〇〇二	六七六、四〇六・四四
同	暗渠排水	四三	關係	一一・七四一二	四八、五九六・〇〇
同	小設備	四六七	關係	一四、二八三・五四〇四	五五一、四一〇・五〇
同	小計	一、八九三	關係	三四、一九二・二九一三	二、六八九、一七二・八〇
合計	合計	二、四八三	內受益關係	一四〇、五五五・八九〇七 一七二、九一〇・八〇〇二 一四、二八三・五四〇〇四	六〇、二九〇、六二〇・三八

今各種事業ノ實施ノ實績ヲ視ルニ舊田普通整理ニヨリ反當四斗、開墾田ニ於テ二石、用排水幹線改良事業ニ於テ二斗、暗渠排水ニ於テ六斗、小用排水、小設備改良ニ於テ二斗ノ增收ヲ得其ノ結果三十八萬五千石ノ增收ヲ得タリ一石二十五圓トスレハ九百六十二萬五千圓トナル畑ニ於テハ古畑整理ニヨリ反當四圓、開墾畑ニ於テ十四圓ノ純利益ヲ得タリ依テ畑ニ於テ七十九萬六千六百圓トナル乃チ田畑合計一千四十二萬一千六百圓ノ利益ヲ得タリ又道水路ノ完成ニヨリ肥料、收穫物等ノ運搬極メテ便利トナリ農業經營合理的トナレリスノ如ク耕地事業ハ農村振興上寄與スル事甚大ナルモノナリ

### 一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ方針

本縣ニ於ケル開墾見込面積三萬四千餘町步、用排水幹線改良事業施行豫定面積五萬七千六百町步、農用公共施設ヲ要スル面積三萬四千五百餘町步、農村道路改善ヲ要スルモノ二百七箇町村ニシテ之等實行ニ要スル事業費總額ハ七千九百四十五萬圓餘ヲ要ス

我國ニ於テ農村救済ノ要ヲ叫ハルル所以ハ耕地ノ設備不完全ナル爲不測ノ損失ヲ來タスト耕作面積過少ナル爲合理的ノ經營ヲ爲シ得サルニ歸因スルモノナリ

依リテ毎年受クル災害ヲ防止スルト共ニ生産ノ増加ト生産費ノ節約ヲ計ル爲用排水設備及交通路等農用公共設備ヲ改良シ水利交通ノ改善ヲ計ルヲ第一トシ、次ニ大ニ開墾事業ヲ獎勵シ耕作面積ノ増加ヲ圖ル爲開墾助成法ヲ活用スルト共ニ小面積ノ開墾ヲ助成シ更ニ進テ大規模ノ開墾ハ國營又ハ縣營ニテ施行シ國內移民ヲ爲シ以テ農家耕作面積ノ増加ヲ計ルト共ニ自作農創設ヲ爲スヲ第二トス、此ノ施設ニ要スル費用並之ニ伴ヒ經營ニ要スル設備ニ對シ國ニ於テ相當多額ニ助成スルヲ要ス

以上述ヘシ事業ヲ遂行スルトキハ水利交通ノ改善、耕作面積ノ増加ニヨリ支出ヲ減少シ收入ヲ増加シ得テ農家經濟ヲ豊カナラシム之農村振興ノ根本方策ニシテ耕地事業ノ將來採ル可キ方針ナリ

## 三 重 縣

### 一、農村振興上耕地事業ノ實績

#### 一志郡高茶屋村

#### 一、位置及現況

高茶屋村ハ一志郡ノ東北端ニ位シ東ハ伊勢海ニ北ハ津市ニ西ハ一帶ノ丘陵地ヲ以テ同郡久居町ニ連ナル久居町ニハ歩兵第三十旅團司令部、歩兵第三十三聯隊及津衛成病院アリ南ハ雲出用水ヲ隔テテ同郡桃園村、雲出村一帶ノ沃野ヲ構成ス

國道伊勢街道ハ村内ヲ南北ニ縱貫シ府縣道久居、高茶屋停車場線及高茶屋、香良洲線アリ東西ニ貫通シ省線及伊勢電鐵ハ國道ニ並行シテ村内ヲ南北ニ貫通シ省線高茶屋停車場及伊勢電鐵雲出停留場ヲ有ス

村ノ中央ニ三重縣種畜場アリ

以上ノ狀況ナルヲ以テ交通運輸上極メテ至便ノ状態ニアリ本村ニアリテハ明治四十一年頃ヨリ數箇所ニ互リ部分的

#### 三 重 縣



ノ耕地整理並開墾事業ヲ遂行シアリシカ大々的全村ニ互ル耕地整理ノ必要ヲ認メ高茶屋村耕地整理組合(主トシテ東部ノ田ノ整理)ハ大正九年組合ヲ結成シ結成ト同時ニ工事ニ着手シ昭和四年中工事ヲ完成シ目下換地ノ途ニアリ高茶屋村西部耕地整理組合ハ丘陵地一帯ノ整理ヲナスモノニシテ大正十一年組合ヲ結成シ昭和五年工事ニ着手シ目下大體ノ工事ヲ竣ヘ殘部ハ一兩年中ニ完成ノ豫定ナリ

二、職業別戸數及人口ノ動勢

職業別	大正九年		昭和十一年	
	戸數	人口	戸數	人口
農業	二二二戸	一、二二一人	二三〇戸	一、二五六人
商業	二五	一三五	三〇	一四五
工業	二	二七	一六	九三
交通	二	一一	四	二一
公務	五	二七	一五	七九
其他ノ有業者	二七	一三七	二六	一一四
計	二八六	一、五六八	三二一	一、七〇八

以上ノ結果ニ依リ漸次他町村ヨリ開墾地ニ移住シ來リ農家經營ヲナシツツアリ

三、農村勞力狀況

一面ニ於テ農耕地増大セルモ他方ニ於テ農業經營容易トナリシ結果却テ餘剩勞力ヲ生シ目下養蠶、養鶏、蔬菜栽培等副業ノ生産額著シク増加ヲ來シ將來尙畜産方面ニ迄伸張スル狀況ニアリ

四、交通運輸ノ狀況

交通運輸ノ現況ハ上述セルカ如シ然シテ耕地整理施行地區ニ於テハ「トラック」ノ出入自在ナルヲ以テ生産物ノ運搬至便トナル

五、灌溉排水ノ狀況

雲出用水ニ依ル灌溉ハ從來比較的容易ナリシモ排水ハ甚タ不良ノ狀況ニアリ水稻腐蝕セルコト往々ニシテ裏作ハ田面ノ約三分ノ二ニ過キサリシモ整理後ニ於テハ田面全部裏作ヲナシ得ルニ至リ灌溉排水共ニ良好トナレリ

西部耕地整理組合地域中田約三十町歩ハ不完全ナル溜池一個ヲ有セシモ昨年來組合事業トシテ改築ヲ施行セシ結果從來ノ水量ニ比シ約四倍ノ水量ヲ貯溜スルヲ得之亦灌溉ニ非常ナル利便ヲ得タリ

六、農村經濟ニ及ホセル影響(負債狀況、納稅成績其ノ他)

耕地整理ニ要スル勞力ハ其ノ八割ハ村民ナリ農繁期ニ於テハ出勞人員二、三十名ニ過キサルモ農閑期ニ於テハ百二、三十名ニ達ス之等ノ勞役者ハ毎年冬期ニ於テ少クモ百圓ノ勞銀ヲ得家計上非常ニ餘裕ヲ見納稅成績至テ佳良ナリ又當村ニ於テハ農工銀行等ヨリ巨額ノ負債ヲナシ其ノ償還ニ困難セルモノ極メテ稀ナリ爲ニ負債整理ノ必要ナシ

七、思想方面ニ及ホセル影響

田ニ於テハ整理施行ノ結果農耕上非常ニ便利トナリ一戸當ノ耕作反別増大スルヲ得爲ニ競ヒテ小作權ヲ賣買スルノ狀況ニアリ故ニ小作問題惹起ノ憂ナシ

畑ニ於テモ同様從來ハ道路ラシキ道路ヲ有セス爲ニ僻陬ノ地ニ在ル畑ハ多ク荒廢ニ屬セシモ整理後ニアリテハ偉然タル道路隅ナク開設セラレ到ル處開墾畑ノ小作ヲ希望スルノ狀態ニアリ爲ニ之亦小作問題惹起ノ憂ナシ

大正九年ヨリ今日ニ至ル迄十數年間繼續シテ人夫ヲ使役シ其ノ人夫ハ星ヲ戴イテ出テ星ヲ戴イテ歸ル有様ナルヲ以テ青年ニ對シ勤勞精神ヲ鼓吹スルコト偉大ナリ



耕地整理組合ハ村農會及村產業組合ト協力シ地積四町步餘ノ開墾地ヲ維持管理シ諸種ノ作物ヲ試作スルノ外農産物ノ統制ヲ圖リ面積百五十坪餘ノ共同作業場ヲ建設シ澤庵ノ共同漬込其ノ他馬鈴薯、甘藷ノ共同販賣等農作物統制處理ノ上ニ於テ最利便ヲ得ツツアリ其ノ結果漸次村民ノ共同精神ヲ涵養振作スル狀況ニアリ

八、結論

之ヲ要スルニ農ハ國ノ基ニシテ農ノ基ハ土地ニ在リ土地ヲ改良スルコトハ即チ國本ヲ培養スル唯一ノ手段ナリト信シ當村ニアリテハ幾多ノ反對者續出セルニ拘ラス斷々乎トシテ十數年ニ亘ル工事ヲ繼續シタルヲ以テ今ヤ村民モ大イニ覺醒シ全ク不平ヲ絶チ却テ工事ノ促進ヲ希望スルニ至レリ全村ニ亘ル耕地整理ヲ斷行シ今ヤ一兩年ニシテ此ノ工事ヲ完了セムトス村民ハ田ニ於ケル工事費七萬五千圓ヲ既ニ完納シ畑ニ對スル工事費十二萬餘圓ヲ六、七年ニシテ償還スルノ意氣ニ燃エツツアリ

一旦此ノ負債償還セラレルヲ得ハ子孫長ク其ノ惠福ヲ受クルヲ得樂土高茶屋村ノ建設疑ヒナシト信ス

鈴鹿郡國府村

一、位置及現況

イ、位置 鈴鹿郡ノ東部ニ位シ關西線龜山驛ヲ去ル東南一里餘ニ在リ  
ロ、現況 本村ハ其ノ面積約一方里ニシテ畑三百五十八町七反步、田三百七十二町四反步、山林三百十九町步アリ農業ヲ以テ生計トスル純農村ナリ

村内ニ耕地整理施行地區數十二箇所ヲ有シ其ノ面積二百三十七町步餘ニシテ大正二年以來工事ニ着手シ現今殆ト完成シ百三十七町步餘ノ開墾地ハ農耕地トシテ利用セラレ主要作物トシテ米、麥、茶種、桑、甘藷、里芋、西瓜等ヲ栽培シ其ノ成績見ルヘキモノアリ  
農家戸數ハ五百六十戸ニシテ平均耕作反別田六反四畝步、畑六反七畝步ニシテ農業經營トシテ適當ナル面積ナリ

トス

今耕地整理施行地區ヲ示セハ次ノ如シ

地區名	従前地積	豫定又ハ確定地番	工事着手	工事完了	費用
平野組合	田 101.67反	田 110.09反	大正二.七.二	昭和五.三.一	四,017
國村(共同)	山 288.35	畑 3,000	一五.三.10	五.九.五	三,110
平野開墾	山 230.44	畑 3,000	昭和三.八.一	五.五.九	110,741
國村新田	山 526.90	畑 3,000	三.七.10	八.三.四	110,000
平野石丸	山 237.50	畑 1,414	三.八.一	五.五.九	110,000
平野三小澤	畑 226.27	畑 3,000	五.七.一	現在全部完成	四,600
高畦	山 250.55	畑 1,000	六.10.18	同	11,291
平野北山	山 261.76	畑 1,000	六.五.11	同	四,800
國府新田第二	山 261.76	畑 1,000	八.二.10	同	四,000
國府新田第三	山 261.76	畑 1,000	八.九.13	同	四,000
西野	山 261.76	畑 1,000	八.九.13	同	四,000
平野第二	田 338.76	畑 3,000	大正二.二.20	昭和五.三.一	九,637
計	山 1,683.3	畑 3,000			14,064

二、職業別戸數及人口ノ動勢







小計	一〇一、六三二
合計	三六六、八八五

而シテ農家年内ノ勞働日數二百日トシテ男女人數一千九百七十八名ノ延人數ハ三十九萬五千六百人ニシテ差引二萬八千八百餘人ノ餘剩勞力アリ

四、交通運搬ノ狀況

本村内東ヨリ西ニ縦貫スル幅員四米以上ノ府縣道ハ東ハ牧田村ヲ經テ神戸町ニ達シ、西ハ井田川村ヲ經國道第一號線ヲ經テ龜山町及四日市市ニ至ル、南北ニ縦貫スルモノハ北ハ庄野村ヲ經國道第一號線ニ至リ、南ハ河藝郡合川村ニ達ス何レモ路面良好ニシテ車馬交通ニ便ナリ  
耕作道路トシテハ溪谷地ヲ除ク外ハ耕地ニ至ルニ比較的便利ナルモ未タ完全ナリト云ヒ難シ  
今交通用及農耕用車輛數ヲ示セハ

荷物自動車	一臺
人力車	一
自轉車	六一七
リヤカー	三二〇
荷馬車	一〇
荷車	四一五

五、灌溉排水ノ狀況

本村北部ノ比較的低位ノ耕地ハ鈴鹿川ヨリ引水シ其ノ支配區域百二十町步、其ノ他二百三十町步ハ二十數個ノ溜池

ニヨリ灌溉セラルル何レモ平年ニ於テハ用水十分ニシテ耕地整理地區ニ於テモ同様ナリ

排水ハ地勢上北部耕地ハ直接鈴鹿川ニ排除セラレ南部耕地ハ數條ノ排水路ニヨリ鈴鹿川ニ排除セラレ其ノ狀況良好ナリトス

六、農村經濟ニ及ホセル影響

耕地事業施行ノ結果前記ノ如ク百三十町步餘山林ヲ開墾セルト舊田整理等ニヨリ農産物ノ增收勞力ノ節約ト其ノ適當ナル分配ニヨリ農村經濟ニ及ホセル影響多大ニシテ農業ノ經營ヲ圓滑ナラシメ爲ニ昭和八年度ニ於テ個人債五十三萬餘圓アリシモ現今四十二萬八千五百圓トナリ僅々二箇年ニ十萬餘圓ノ償還ヲ見タルハ本事業ニヨル結果大ナリトス

且村内ニ於ケル納稅成績モ漸次良好トナリ昭和六年度ニ於テ二百十六圓ノ滯納アリタルモ同九年度ニ至リ七十五圓ニ減シ愈々好成績トナル狀況ニアリ

七、思想ノ方面ニ及ホセル影響

勞力ノ適當ナル分配及農産物ノ增收ハ個人的經濟ニ重大ナル影響ヲ來シ前記ノ如ク債務關係ニ於テモ好成績ヲ擧ケ又納稅成績等モ良好トナリタルハ一面思想方面ヨリ見ルモ義務ノ精神ニ及ホセシモノトシ又個人經濟ノ安全ハ自ラ思想ヲ堅實ナラシムルモノニシテ小作爭議ノ如キ全ク其ノ跡ヲ絶チ農民ハ營々本格ニ向テ勉勵シツツアリ且開墾等共同ノ事業ニヨリ養ハレタル精神ハ各方面ニ發露シ愈々農村經營ハ物質的、精神上ヨリ其ノ基礎ヲ強固ナラシメタリ

八、結論

農村ノ疲弊ハ其ノ原因種々アリト雖生産物ニ對スル收支相償ハサルト、勞力ノ分配ノ如何ニヨルコト又重大ナル基因ト云フヘシ本村ハ大面積ノ開墾等ニヨリ從來ヨリ餘剩勞力ヲコレニ充テ以テ生産物ノ増加ヲ計リ農業經營ヲ圓滑ナラシメ其ノ基礎ヲ強固ニシタルハ一面耕地事業施行ノ結果ニシテ近時稍農産物ノ價格好調ニ際シ益農耕ニ力ヲ



傾注シ得ルノ機ヲ得農村ノ更生ニ向テ邁進シツツアリ

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

本縣ノ現状ニ鑑ミ恒久的施設トナシ農村振興上是等開發方策トシテ別記十年計畫ヲ樹立シ漸次實行ニ移ラムトスルモノニシテ左記事項ニ留意シ事業ノ堅實ナル發展ヲ期セムトス

- 一、調査設計工事監督ヲ嚴密ニシ事業計畫ニ遺漏ナカラシムルコト
- 二、山村部落ノ食糧自給上開墾事業ノ獎勵ニ一段ノ努力ヲ拂フコト
- 三、開墾地移住獎勵ニ努ムルコト
- 四、縣耕地協會ヲ督勵シ事業ノ發展ト殘務整理ノ進捗ニ努ムルコト

尙左記各事項ニ付中央ニ於テモ御考慮アラムコトヲ望ム

一、事業資金ヲ潤澤ニ供給セラレタキコト

二、事業ニ對シ國庫補助ヲ十分ニ交付セラレタキコト

三、國庫支辨ノ専門技術官ヲ配置セラレタキコト

耕地事業十年計畫所要經費調

事業種別	施行地積箇所	費用單價	費用總額	國庫補助見込金額	一箇年計畫(平均)		備考
					費用高	國庫補助見込高	
一、開墾	五、〇〇〇町一町歩	五〇〇	二、五〇〇、〇〇〇	一、〇〇〇、〇〇〇	一、二〇〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇	補助率四割
二、暗渠排水	二、〇〇〇	一〇	二〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	二〇、〇〇〇	一〇、〇〇〇	同 三割
三、床締工	一、〇〇〇	〇	〇	四〇、〇〇〇	八、〇〇〇	四、〇〇〇	同 五割

滋賀縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

一、耕地整理事業

本縣ノ耕地整理事業ハ本縣カ米作本位ノ農業經營狀態ナルニ鑑ミ其ノ基調ト爲ルヘキ耕地ノ擴張改良ハ最喫緊ノ事項ト認メ從來政府獎勵ノ方針ニ順應シ常ニ其ノ企畫獎勵ヲ怠ラス先ツ明治三十九年度ヨリ明治四十三年度ニ至ル五箇年間縣下主要河川又ハ井堰等ノ灌漑區域等ヲ一地區トシテ用水幹線、主要農道ノ配置及灌漑排水ニ關スル設備其ノ他一般ノ計畫基礎ト爲スヘキ目的ヲ以テ耕地整理基本調査ヲ行ヒ本事業企畫ノ指針トナシ爾來其ノ施行ニハ毎年相當ノ補助金ヲ交付シテ其ノ實現ヲ督勵セシ結果ト一面昭和七年以來時局匡救事業ヲ機トシ全縣的ニ耕地事業ノ普及發達ヲ見昭和十一年八月末日現在ニテ耕地整理施行箇所數三百六十四、其ノ施行面積一萬八千四百八十七町一反四畝十五歩、事業費一千四百二十萬二千二百五十六圓ヲ算セリ

然リト雖縣下耕地面積七萬八千五百三十二町八反歩(昭和十一年一月一日現在、内田六萬八千六十二町六反歩、畑一萬四千七十町二反歩)ニ比スレハ耕地整理施行面積ハ約二割三分五厘ニ過キス又最近調査ニ依レハ尙未タ縣下ニ於テ用水不足地一萬六千二百町歩、排水不良地一萬四百町歩、合計二萬六千六百町歩ヲ殘存シ本事業施行ハ前途甚タ遼遠ナリト謂フヘシ

四、災害防止 五、耕地改良 (五百町歩以上)	箇所	面積	費用總額	國庫補助見込金額	費用高	國庫補助見込高	備考



二、開墾事業

本縣ハ四圍山嶽ヲ以テ圍繞セラレ中央ニ大湖ヲ擁スル關係上從來ヨリ耕地ノ狹隘ヲ以テ知ラレ農家（昭和十年末現在八萬七千五百九十五戸）一戸當耕作反別ハ約八反九畝歩ニシテ内田七反七畝歩、畑一反二畝歩ニ過キス爲ニ其ノ耕地ハ古來頗ル集約的ニ利用セラレ價格ノ高キコトモ全國稀ニ見ル處ナリ從テ開墾、埋立等ニ依ル耕地擴張ノ意氣ハ誠ニ熾烈ナルモアリテ大正八年開墾助成法發布以來既指令地區四十三、其ノ開墾面積二千九百四十四町歩（内開田二千九百二十五町歩、畑十九町歩）ヲ算シ尙目下助成出願中ノモノ四地區、其ノ開墾面積二十四町歩（内開田二十一町歩、開畑三町歩）アリ

然リト雖近時工場敷地或ハ鐵道、道路敷トシテ潰廢セラレユクモノ一箇年平均二百町歩アリテ開墾等ノ擴張面積ヲ差引シテ毎年平均約百町歩ハ耕地減少ノ趨勢ニアリ依テ縣ハ最近縣下ノ耕地擴張見込面積ヲ調査シタルニ開田シ得ルモノ一千九百三十一町歩（内施行容易ナルモノ九百五十三町歩、施行稍々困難ナルモノ九百七十八町歩）開畑シ得ルモノ一千八百二十五町歩（内施行容易ナルモノ九百二十五町歩、施行稍困難ナルモノ九百町歩）合計三千七百五十六町歩ヲ存シ尙外ニ琵琶湖沿岸ノ中ノ湖、松原内湖、磯田湖其ノ他官有湖沼干拓埋立見込地三千七百十町歩及湖岸民有地ノ埋立開拓見込地二百九十町歩ヲ存セリ之等ヲ合シ實ニ七千七百五十六町歩ヲ有シ尙未タ開墾、埋立、干拓等ノ耕地擴張事業ハ多分ノ餘地ヲ存スルモノト謂フヲ得ヘシ

三、用排水幹線改良事業

本縣ノ耕地ハ概ネ琵琶湖ニ注ク各河川ニ支配セラレ古來用水不足ヲ告クルトコロ多ク爲ニ其ノ引水ニ付テハ複雜嚴格ナル慣習アリテ常ニ水利論爭絶ヘルコトナシ又排水不良ニ惱メル箇所モ相當存スルモ之等用排水改良事業ノ企畫ニ付テハ從來積極的計畫ヲ爲スコトナク舊態、陋習依然タルモノアリテ僅ニ 自昭和四年度 野洲郡童子川沿岸用水改良事業（主要工事）五百四十町歩、其ノ事業費六萬六千四百圓 自昭和八年度 栗太郡葉山村外一箇村用水改良事業（揚水機設置） 自昭和九年度

（主要工事、頭首工）五百五十町歩、其ノ事業費三萬六千五百圓 自昭和七年度 犬上川沿岸用水改良事業（主要工事、堰堤改良及水路改修）一千四百町歩、其ノ事業費百三十九萬六千二百六十圓及 自昭和十年度 野洲郡新川沿岸用排水改良事業（主要工事、堰堤改修）九百四十九町五反歩、其ノ事業費二十四萬圓ノ四箇所、合計三千九百四十四町五反歩、其ノ事業費百七十三萬九千六百六十圓ノ施行ヲ見タルノミニシテ目下野洲川沿岸用水改良事業（主要工事）三千九百六十町四反歩、其ノ事業費二百十萬圓カ政府ト協議中ノ外瀬田町外二箇村用水改良事業（主要工事）九百六十町歩其ノ事業費三十六萬圓及愛知川沿岸用水改良事業（主要工事、堰堤及頭首工）二千五百町歩、其ノ事業費三百三十萬圓ハ調査ヲ完了シ本年姉川流域、其ノ受益地域一千三百町歩及高時川流域一千三百町歩ノ農業水利調査ヲ行ヒツツアリト雖尙未タ其ノ見込地ハ左記ノ如ク十八箇所、其ノ關係面積一萬六千二百五十町歩アリテ之等ノ調査ニ付テハ急速ニ完了方要望切ナルモノアリ又最近琵琶湖築堤問題ノ提唱セラルルヤ舉縣之ニ反對ノ意見ヲ有シ其ノ代案トシテ主要河川ニ堰堤築造ヲ叫ブ聲有力ニシテ從來他府縣ニ比シ本事業ノ積極的進展ヲ見サリシ本縣モ近時頓ニ積極的ニ其ノ實施要望ノ熱意ヲ加ヘツツアリ

記

地區名	目的	的受益地積	地區名	目的	的受益地積
栗太郡葉山村外二箇村	用水	七〇町	愛知郡豐國村外六箇村	排水	一、〇〇〇町
蒲生郡市原村外二箇村	同	五〇〇	犬上郡芹川沿岸	用水	一、〇〇〇町
同 佐久良川沿岸	同	八〇〇	同 龜山村外三箇村	排水	八〇〇
同 尻無川沿岸	排水	八五〇	東淺井郡田川沿岸	同	六〇〇



蒲生郡岡山村外二箇村	用	水	九〇〇町	東淺井郡草野川沿岸	用	水	一、二〇〇町
同 日野川沿岸	同	水	一、四〇〇	伊香郡余呉川沿岸	排	水	一、六〇〇
同 安土村外三箇村	同	水	六〇〇	同 高時川沿岸	用	水	一、三〇〇
愛知郡宇曾川沿岸	同	水	八〇〇	高島郡安曇川沿岸	同	水	一、〇〇〇
同 稻付外三箇村	同	水	七〇〇	同 鴨川沿岸	同	水	五〇〇

四、暗渠排水事業

本縣ノ耕地ハ地勢ノ關係上隨所ニ埴土アリテ暗渠排水ヲ必要トスルモノ頗ル多ク其ノ施行見込地ハ一千三百町歩アリ田總面積ノ約二%ニ當レリ縣ハ昭和七年度以來政府ノ助成ニ順應シ之カ獎勵ニ當リシ結果其ノ實施箇所ハ經常及時局匡救施行ヲ合シ昭和十一年度ニ至ル五箇年間ニ於テ百四十四箇所、其ノ面積百六十町六反八畝歩ニ及ヘリ然レトモ未タ施行見込地ノ約一割ニ過キサル状態ニシテ實施地ノ效果顯著ナルニ激セラレ競ツテ本工事施行ヲ爲サムトスル機運旺盛ナルモノアリ本工事ハ今後益進展ヲ爲サムトスルノ趨勢ニアリ

五、時局匡救農業土木事業

昭和七年度ヨリ昭和九年度ニ至ル三箇年間ノ時局匡救耕地關係農業土木事業ハ全縣下ニ亘リ其ノ施行ヲ見其ノ箇所數一千五百三十二、其ノ關係面積二萬三千七百九十四町九反歩、其ノ事業費實ニ百七十萬八千八百七十九圓ニ達セリ爲ニ從來耕地事業ノ普及ヲ見サリシ地方ニ於テモ本事業施行ニ依リ其ノ效果ヲ讚ヘ膨湃トシテ企業ヲ見ルニ至リ今ヤ耕地事業ハ縣下普遍的企畫ノ趨勢ヲ示シツツアリ其ノ種類別實施狀況左記ノ如シ

自昭和七年度 至昭和九年度 時局匡救耕地關係農業土木事業實施狀況

事業種別	箇所數	開		畑		計	事業費
		田	保	面	積		
二年量開墾	一二	九三・五町		四・六町		九八・一町	二一一、九二五
用排水幹線改良事業	三	二、一〇五・〇				二、一〇五・〇	四五七、五〇〇
小 開 墾	二二	六七・二		一六・六		八三・八	一一一、〇三四
小 用 排 水	六七	一、六二五・〇				一、六二五・〇	五六七、〇六二
暗 渠 排 水	六三	五六・〇				五六・〇	三五、二四〇
小 設 備	五六	八、八二七・〇				八、八二七・〇	三一六、一一八
計	一、五三二	二二、七七三・七		二一・二		二二、七七三・七	一、六九八、八七九

六、各種災害對策事業

本縣ノ耕地關係災害トシテハ大正十一年ヨリ大正十三年ニ亘ル三年連續シテ甲賀郡、蒲生郡地方ニ蒙リタル旱害ニ對シ開墾助成金ノ交付ヲ受ケ旱害荒地ヲ復舊セル外近年相次ク各種災害ニ對シ毎回政府ノ助成ヲ受ケ縣亦之ニ順應シ夫々被害地ノ復舊並應急事業ヲ補助施行セシメタル結果何レモ其ノ恩典ニ感泣シツツ實績ヲ擧ケツツアリ今之等ノ各種災害別實績ヲ示セハ左ノ如シ

災害種別	耕地關係被害面積又ハ被害金額	復舊事業		應急事業		計	附記
		箇所數	補助金額	箇所數	補助金額		
自大正十一年 至大正十三年 旱害	二、五八、四三五	三	五五、六〇九	一	四	三	箇所ハ組合數補助金ハ開墾助成金トス



昭和九年風水害	二八、三〇六	一三	一四	二六、四二四	二二	一四〇、五三
昭和十年旱害	六八、一四	一	一	五八、八三	三	五八、八三
昭和十年水害 (第一次、第二次)	二八、四一五	九	一	二八、六八	九	三三、六八
昭和十年水害 (第三次)	六四、六〇〇	九	一	三、八九	九	二、八九
昭和十年雪害	二〇、〇四〇	一	一	一九、〇五	一	一九、〇五
計	三、三三、三三五 五九、三、九七	一、三九、八三	三、三三	三、三三	一、三九、八三	一、三九、八三

全額縣費、公共施設ノ  
ミニシテ三割補助

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

- 一、本縣ノ湖北地方及山村ハ特ニ疲弊甚シク耕地擴張改良事業亦從來主トシテ負擔關係ニ因リ其ノ施行頗ル僅少ニシテ爲ニ農耕收益モ少ク比年疲弊ノ度ヲ累加シツツアルノ現状ナリ依テ今後之等地方ニハ特ニ雪害豫防或ハ保溫早植ノ爲ニ用排水施設ヲ完備シ進テ小開墾施行ヲ獎勵シ以テ其ノ疲弊ヲ救済セムトス
- 二、本縣ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ從來積極的改良ニ對シテハ藩政時代ノ慣習ヲ固執シテ他府縣ニ比シ頗ル遜色アリテ常ニ水利論争ヲ繰返シツツアリ最近大上川沿岸用水改良事業ノ漸次進捗スルニ從ヒ一般ニ積極的改良ニ邁進セムトスルノ氣運ニアリ依テ縣下ニ於ケル其ノ施工見込地十數箇所ノ水利調査ヲ可及的速ニ遂行シ重要ナル箇所ヨリ順次本事業ヲ實施セムトス
- 三、本縣ニ於テハ灌溉揚水機多ケレ共從來之カ設備及原動力料等ニ付テハ統制ヲ缺キ延テハ其ノ設備及維持管理ニ多額ノ費用ヲ負擔スルノ結果ヲ招致セリ依テ前項用排水改良事業ノ完壁施行ニ依リ負擔ノ輕減ヲ圖リ一面揚水機及原動力ニ關スル知識普及ノ爲特ニ其ノ指導職員ヲ設置セムトス
- 四、本縣下ニ於ケル經濟更生指定百八箇町村ノ更生計畫中八〇%ハ耕地事業ヲ含ミ尙昭和十一年度特別助成指定八箇村中七箇村ハ耕地事業ヲ主體トセル状態ニ鑑ミ之カ施工ニ當リテハ特ニ專任技術員ヲ置キ指導監督スルト共ニ其ノ實施工費ニ對シテハ相當ノ補助ヲ爲サムトス
- 五、縣下ニ於ケル耕地ハ未タ用水不足、排水不良ノ箇所多ク尙開墾、暗渠排水等ノ施行餘地甚タ多シ特ニ時局匡救事業施行ニ依リ小用排水改良、小設備工事ノ未完成又ハ追加施工必要箇所頗ル多數ニ上レリ依テ今後耕地關係縣職員ノ増員、耕地整理補助金ノ増額及時局匡救耕地事業善後處置補助等ヲ行ヒ以テ耕地事業ノ普遍的獎勵ヲ爲シ農村振興ニ資セムトス

京 都 府

一、農村振興上耕地事業ノ実績

本府耕地地積八年々減少ノ傾向ヲ示シ大正十三年末現在六萬四千七百七十九町歩ノモノ十年後ノ昭和九年末ニ於テハ五萬九千八百七十二町歩トナリ此ノ間四千三百七十七町歩即チ六分七厘ノ減少ヲ示セリ之レ一方ニ於テ開墾等ニ依ル擴張アリト雖他方宅地、道路、河川等ノ敷地或ハ荒地等ニ依ル潰廢アルカ爲ニシテ農家一戸當耕作反別モ僅ニ七反五畝歩ニ過キスシカモ其ノ耕作地積別農家戸數ハ五反歩未滿ヲ耕作スルモノ三割八分六厘ヲ占メ一町歩以下ノモノ實ニ八割一分五厘ニ達ス

而モ此ノ耕地タルヤ約其ノ半數ハ一毛作地ニシテ其ノ改良ヲ要スルモノ甚タ多シ此ニ於テカ府下農村中其ノ町村内ニ於テ生産スル食糧米ニテ自給自足ヲ爲シ得サルモノ相當數ニ上レリ凡ソ食糧ノ生産者タル農村ニ於テ食糧ヲ他ヨリ購入スルカ如キハ農村疲弊ノ原因ヲナスモノナルカ故ニ經濟更生上不良耕地ノ改善及過小農ノ經營地積補助ノ爲ニスル開墾等耕地事業ハ農村振興上最必要ナルコト論ヲ俟タス  
今其ノ実績ニ徴スルニ



府下山城地方ハ木津、宇治、桂、三川ノ流下スルアリ而モ地盤極メテ低キ平坦部ニシテ一朝豪雨ニ遭遇セムカ耕地ノ排水不能ニ陥リ巨椋池ヲ中心トシ京都市及乙訓郡ノ南部、綴喜郡ノ西部ニ於テ數千町歩ニ亘リテ惡水停滯シ稻ノ收穫皆無ニ陥ルモノ甚タ多カリシカ大正十二年用排水幹線改良事業ニ對シ國庫ノ助成ヲ受クルニ至リ該地方四箇所ニ亘リ排水改良事業ヲ施行セル結果今日ニ於テハ全ク其ノ被害ヲ除去スルコトヲ得タリ殊ニ昭和十年ノ大出水ニ際シテハ昭和九年ニ据附テ了シタル巨椋池干拓用排水機ノ威力ニ依リ約一萬石ヲ水腐ノ害ヨリ免カレシメタルノミナラス滋賀縣琵琶湖ノ排水ヲ容易ナラシメタリ

又府下丹波地方ハ數千町歩ニ亘リ旱魃地帯ニシテ水利紛争ヲ繰返ス地方ナルカ大正十五年國庫ノ助成ヲ受ケ南桑田郡曾我部村一町一村外ニ灌溉スル大貯水池築造ニ依リ旱魃ノ被害ヲ除去シ水利費ノ低減ヲ來シ府下一等ノ良質米ヲ產出スル状態トナレリ

又丹波ノ北部地方タル船井郡一帶ハ水田ニ乏シク食糧米ノ不足ヲ來ス地方ナルカ大正八年以來二十數地區ニ亘リ開墾助成法ノ恩典ニ浴シ特ニ船井郡下和知村ハ大正五年ニハ食糧米ノ不足一千五百石ナリシカ村是トシテ耕地ノ擴張ヲ爲シ自給自足ノ域ニ達セシムル目的ヲ以テ百三十町歩餘ノ開田ヲナシタル結果昭和八年度ヨリ餘剩米六百石ヲ他ニ移出スルニ至レリ

又丹後地方一帶ハ山城地方ト氣象状態異リ水害、雪害、被害續發セル状態ナルカ其ノ都度災害復舊事業ヲ施行スルト同時ニ耕地整理組合ヲ設立シテ小用排水、小設備ノ改良並暗渠排水ノ施行ニ依リ災害防止ニ努メ小開墾ニヨリテ耕作地ノ轉換ヲ計リ農村振興ニ相當ノ效果ヲ納メツツアリ

其ノ他昭和七年乃至同九年ニ亘リテ行ハレタル時局匡救耕地事業施行ニ依リ何レモ全般的ニ相當ノ成績ヲ擧ケ又昭和九年及同十年ノ災害復舊耕地事業ノ如キ農村振興上相當ノ利益ヲ擧ケツツアリ

以上ノ如ク耕地事業カ農村振興上最重要ナル事項タルコトハ言ヲ俟タサル處ナルモ本事業ハ多額ノ費用ヲ要シ農民ノ

自力ヲ以テシテハ其ノ遂行不可能ナルカ故ニ政府ハ本事業ノ爲十分多額ノ經費ヲ計上セラレ以テ積極的ニ本事業ノ遂行ヲ助長セラレムコトヲ希望ス

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

由來本府ハ耕地面積狭小ニシテ農家一戸當平均耕作反別ハ僅ニ七反五畝歩ニ過キス且水田ノ約半數ハ一毛作地ニシテ耕地擴張改良事業ハ農業經營上最必要ナル事項ニ屬ス然ルニ政府ハ二、三箇年連續シテ米ノ豐作ヲ見レハ耕地事業ノ如キ増産計畫ニ對シテハ殆ト豫算ヲ計上セス甚シキハ減反ヲ唱フルカ如キハ誠ニ遺憾トスル處ナリ米ノ豐年ナリト稱スル年ニ於テモ各農村個々ニツキ詳細ニ調査スル時ハ本府農村二百三十二箇町村中其ノ町村内ニ於テ生産スル米ト消費量トヲ比較シ一箇年五百石以上ヲ不足スルモノ七十三箇町村ニシテ其ノ不足米實ニ十九萬九千石ニ達ス凡ソ食糧ノ生産者タル農村ニ於テ食糧ヲ他ヨリ購入スルカ如キハ農村疲弊ノ原因ヲ爲スモノナルカ故ニ耕地ノ擴張改良事業ハ農村振興上最重要ナル事業ニシテ府下農村經濟更生計畫ヲ見ルモ何レモ相當範圍ノ耕地事業ヲ計畫セリ本府農村疲弊ノ一因ハ耕地不足ニ起因セルコト明カナルカ故ニ今後ハ施行面積ノ大小ニ拘ラス耕地ノ擴張改良事業ニツキテハ特ニ指導助長セサルヘカラス

近時頻發スル各種災害ハ主トシテ山間部ニ多ク本府災害ノ實例ニ徴シテモ昭和九年ノ風水害、同十年ノ水害、本年ノ雪害ノ如キ耕地關係ノ被害ハ其ノ多クハ山間部ニシテ平坦部ノ被害ハ大部分小河川沼ニ限ラレタリ内務省關係ノ河川改修、農林省關係ノ用排水幹線改良事業ノ如キ何レモ主トシテ平坦部ノ改良事業ニシテ山間部ニ於ケル改良施設ヲ度外視シ其ノ指導方針ヲ誤リタルカ如キ感ナキニアラス故ニ今後ハ農村振興上農用公共施設ノ改良、水源地ニ於ケル砂防工等ニ意ヲ用ヒ災害防止ニ勉メサルヘカラス

耕地ノ擴張改良事業、各種災害防止事業等ノカ實行ニ際シテハ何レモ多額ノ費用ヲ要シ農村ノ自力ヲ以テシテハ其ノ實行不可能ナルヲ以テ政府ノ絶大ナル援助ヲ仰カサルヘカラス依テ政府ハ是等耕地事業ニ對シテハ恒久策ヲ確立シ毎



年多額ノ豫算ヲ計上シテ窮迫セル農村ヲ救済セラレムコトヲ望ムモノナリ本府ニ於テハ府下農村ノ實情ニ鑑ミ左記  
耕地事業十年計畫案ヲ樹立シ必要ナル國庫補助ヲ計上シ政府ノ援助ニ依リ耕地事業ヲ指導助長セムトス

一 過小農ノ經營面積補給ノ爲ニスル開墾事業

本府ノ農家戸數ハ毎年減少シツツアリ其ノ原因種々アルヘント雖耕地ノ不足カ其ノ一因ヲ爲スコト明カナリ即チ  
農家一戸當平均耕作反別ハ七反五畝歩ニシテシカモ農家戸數ノ三割七分ハ五反歩未滿ノ耕作者ニシテ一町歩未滿  
ノ耕作者ニ至リテハ實ニ八割二分ニ達ス如斯耕作面積ノ過小ハ農家經濟ヲ困難ナラシムル所以ニシテ小農ヲ救済  
スル爲耕地ノ増加ヲ計ルハ最必要ナル事項ナリトス殊ニ本府ハ京都市ナル大都市ヲ有シ市ノ發展ニ伴ヒ耕地ノ減  
少著シク最近十箇年ノ平均ニ依レハ毎年百八十一町歩ヲ減少ス從テ十年後ニハ一千八百十町歩ノ耕地ヲ減少スル  
計算ナリ從テ現在ノ農家戸數ヲ維持シ且一戸平均五畝歩ヲ増加シ八反歩ノ耕地ヲ耕作セシムルトキハ今後十箇年  
間ニ五千七百七十町歩ヲ開墾セサルヘカラス之ニ要スル費用總額一千五百萬圓(一箇年平均百五十萬圓)補助金總  
額六百萬圓(一箇年平均六十萬圓)ヲ要ス

二 各種災害防止耕地事業

近時各種災害頻發シ本府ハ昭和九年ニ風水害、同十年ニ水害、同十一年ニ雪害並寒冷害ヲ蒙リ地方農民ノ窮乏其ノ  
極ニ達セリ如斯災害ハ事前ニ於テ費用公共施設ノ不完全ナルモノヲ改良シテ災害ヲ未然ニ防止スルコトヲ得ルヲ  
以テ溜池、井堰、水路、堤塘、樋門、樋管、暗渠排水、床締、客土、揚水機ノ改良、修築、新設等ヲ行ヒ水害、  
雪害、旱害、寒冷害等ヲ防止セムトス其ノ關係面積約五萬町歩アルヲ以テ毎年五千町歩宛十箇年計畫ヲ以テ改良  
ヲ行ヒ以テ各種災害ヲ未然ニ防止セムトス右ニ要スル費用水雪害防止七百五十九萬九千圓、旱害防止六百七十二  
萬五千圓、寒冷害五十八萬五千圓、風潮害九萬一千圓、計一千五百萬圓(一箇年平均百五十萬圓)補助金總額七百  
五十萬圓(一箇年平均七十五萬圓)ヲ要ス

三 用排水改良事業

用水不足又ハ排水不良ニシテ旱害又ハ水害ヲ蒙リ農業經營上不安ナル耕地ニシテ五百町歩以上ノ集團ヲ爲セルモ  
ノ府下ヲ通シテ約六千町歩アリ右ニツキ毎年六百町歩宛十箇年計畫ヲ以テ改良ヲ行ヒ農村ノ經濟ヲ更生セムトス  
右ニ要スル費用總額百八十萬圓(一箇年平均十八萬圓)補助金總額九十萬圓(一箇年平均九萬圓)ヲ要ス

大阪府

一、農村振興上耕地事業ノ實績

大阪府下ニ於ケル耕地事業ハ昭和七年度ヨリ實施ノ時局匡救事業ヲ轉機トシ長足ノ進歩ヲ見ルニ至リ更ニ昭和九年九  
月ノ風水害復舊並緊急施設、昭和十年六月及八月ノ水害復舊事業ノ實施ニ依リ今ヤ管下市町村中殆ト耕地事業ノ施行  
ヲ見サルモノ無キニ至リ農村振興上資シタル處極メテ大ナルモノアリ之カ事業ノ施行概況左ノ如シ

耕地事業施行成績

事業別	地區數	事業費	助成金總額	備考
耕地整理事業	三〇一	一一、七五四、三九二・〇〇	六五三、一一三・六五	關係地積一四〇、四五三反
土地改良事業	二六	二四〇、二〇七・〇〇	三一、二七四・八一	
時局匡救事業	一、二六六	一、六二六、七八七・五六	九七四、五七七・三九	府管ヲ含ム
府管排水改良事業	九	三、二〇七、七三〇・七一	一	
風水害復舊事業	五〇六	一、八四四、三六七・〇〇	七三八、六八六・〇〇	府管ヲ含ム
風水害應急事業	九七	二八一、六八二・〇〇	四九、五〇一・〇〇	



水害復舊事業	一、三〇七	三、〇八八、〇〇四 <sup>四</sup>	一、二七二、二七八 <sup>四</sup>
暗渠排水事業	一一	二一、七六〇・〇〇	九、八五五・八五
果園道路	三七	三二、〇〇〇・〇〇	一五、九四五・一三
計	三、五六〇	二二、〇九六、九三〇・二七	三、七四五、二三一・八三

如上耕地事業ノ施行ニ依リ農民ニ勞銀ヲ得セシメ農家經濟ノ打開ニ資シ灌溉排水設備ノ改善ニ依リ生産費ノ輕減並收量ノ増加、品質ノ向上ヲ計リ開墾事業ニ依リテハ農家一戸當ノ耕作反別ノ増加ヲナシ農道ノ改修ハ新ニ農産物市場ノ開拓ヲ爲シ得タル等農村更生ニ資シタル處顯著ナルモノアリ次ニ本事業ハ災害ノ防止並之カ被害ノ輕減ヲ計リ得ルハ既ニ完了セル府營恩智川竝楠根川沿岸兩用排水改良事業ノ例ニ見ル處ニシテ之等兩區域ハ從來甚大ナル洪水被害ニ依リ農業經營ハ著シク不安ナルモノアリシ處最近之カ完了ヲ見タル結果客年六月及八月ノ未曾有ノ水害ニ會シテモ些ノ被害無キヲ得タル等農村振興上及ホシタル實績極メテ大ナルモノアリ

次ニ災害防止効果アリシ耕地事業ノ例ヲ左ニ記シ參考ニ資セムトス

- 大阪府營用排水改良事業中災害防止上効果アリシ例
- 一、大阪府中河内郡楠根川沿岸用排水改良事業施行ノ效果

(一) 事業ノ概要

本計畫地域ハ中河内郡ノ西北部ニ位スル楠根町外六箇町村ノ耕地八百三十餘町歩トス楠根川ハ其ノ中央低部ヲ貫流スル本區域内唯一ノ用排水ノ幹線タルモ屈曲甚シク加フルニ排水斷面亦狭小ナル爲灌溉期間中一朝豪雨至レハ沿岸耕地ハ忽チ洪水ノ害ヲ蒙リ其ノ面積最大八百三十町歩ニ達シ甚シキ年ハ所ニ依リ二回乃至三回ノ挿秧ヲ行フ状態ナルヲ以テ勢ヒ收量ニ多大ノ影響ヲ及ホスヲ常トセリ仍テ昭和七年度ヨリ同十年度ニ至ル四箇年繼續事業ト

シ事業費三十四萬圓ヲ以テ國庫助成ヲ仰キ之カ改修並附帶工事ヲ施行シ浸水被害ヲ除クト共ニ揚水機ノ改造ヲ行ヒ用水引用ニ遺憾ナカラシメ生産費ノ節約ト收量ノ増加ヲ圖リ以テ農業上ノ土地利用増進ヲ計レリ

(二) 事業施行ニ依リ受ケタル利益

本區域ハ前項記述ノ如ク楠根川ノ排水不良ニ依リ常ニ洪水ノ被害ヲ蒙リ之カ被害狀況別表ノ如クニシテ大正十一年ニ於テ最甚シク被害地積八百三十三町歩ニ及ヒタリ然ルニ客年六月及八月ニ於ケル豪雨ハ本府ニ於テハ未曾有ノ雨量ヲ示シ管下各河川ノ缺潰、溢水相踵キ爲ニ被レル被害甚ニ慘狀ヲ極メタリ本區域ニ於テモ從來ノ例ニ徴スレハ一千町歩以上ノ洪水ヲ見農作物ノ被害ハ元ヨリ耕地並之ニ關スル諸設備、人畜、家屋ニ及ホス慘害ハ莫大ニシテ思ヒラ此處ニ致ス時ハ寔ニ慄然タルモノアルモ幸ヒ本事業ノ完成ヲ見タル時機ナリシ爲遂ニ終日ノ洪水ヲ見タル田區ハ皆無ニシテ一筆ノ免租地ハ勿論些ノ被害モ無キヲ得關係農民何レモ事業ノ施行ヲ喜ヒ稀ニ見ル工事ノ成果ヲ收メタリ惟フニ本事業ノ如キハ平時ニ於ケル耕地ノ用排水改良ニ資スル處大ナルハ元ヨリ非常水害ノ場合ニ於テハ著シキ其ノ効果ヲ顯シ災害防止上有効適切ナル好適例トス

被害調査(工事施行前)

年次	被害地積	年次	被害地積
大正十年	七五七 <sup>町</sup>	大正十四年	五八三 <sup>町</sup>
同十一年	八三三	同十五年	五四八
同十二年	七四〇	昭和二年	六九五
同十三年	四七〇	同三年	六五九



昭和四年	六四〇 <small>町</small>	平均	六七三 <small>町</small> ・二
同五年	八〇七		

備考 ◎印ハ最大被害ヲ示ス

二、大阪府中河内郡恩智川排水改良事業施行ノ効果

(一) 事業ノ概要

本計畫地域ハ中河内郡ノ東部ヲ南北ニ貫流スル恩智川沿岸ノ高安村外七箇村ニ跨リ其ノ受益地積六百七十六町歩ニ達ス地域内耕地ノ悪水ハ排水幹線タル恩智川ニ排除シツツアリシ處輒近該川ハ山間部ヨリ流出スル土砂ノ爲著シク河底埋没シ中洲ヲ生シ蘆荻ノ繁茂ニ任シ排水極メテ困難ニ陥リタリ爲ニ年々數回ノ浸水ヲ見其ノ被害地積最大六百七十六町歩ニ及ヘリ仍テ昭和五年度ヨリ昭和八年度ニ至ル三箇年事業費二十萬四百十九圓ヲ以テ恩智川ノ浚渫補修並附帶工事ヲ施行シ之カ被害ノ排除ヲ計リタリ

(二) 事業施行ニ依リ受ケタル利益

本區域ハ被上ノ如ク恩智川ノ荒廢ノ爲排水不良ニシテ年々被レル被害甚大ナルモノアリ之カ狀況別表ノ如ク大正十二年ニ於テ最甚シク被害地積六百七十六町歩ニ達シタリ殊ニ區域内三野郷、繩手兩村ノ如キハ浸水被害ノ甚シキ區域ニシテ年々五十餘町歩ハ免租ノ恩恵ニ浴シタル狀況ナリ然ルニ客年六月及八月ノ豪雨ニ際シテハ本河川ノ支線タル數條ノ溪川ヨリノ奔流ハ恩智川ニ流下シ刻々水位ノ上昇ヲ來シタルモ幸改修ニ依リ排水ノ快疏ヲ見遂ニ堤塘ノ破損、缺潰等ニ依ル被害ヲ免カルルヲ得タルハ元ヨリ湛水ノ爲被ル農作物ノ被害皆無ナルヲ得タリ若シ夫レ本事業ノ施行無クハ堤防ノ溢水、缺潰ニ依ル被害ヲ始メ數百町歩ノ收穫皆無地ヲ見タルモノト推察サルルニ幸何等ノ被害モナキヲ得關係農家ハ何レモ事業ノ大成ヲ喜ビ之カ恩澤ニ與リ農村更生上著シキ成果ヲ收メ是亦用

排水幹線改良事業ノ災害防止ニ著シキ効果ヲ發揮シタル適例ナリ

被害調査 (工事施行前)

年次	被害地積	年次	被害地積
大正六年	五六三 <small>町</small>	大正十二年	六七六 <small>町</small> ◎
同七年	六一八	同十三年	一五〇
同八年	六一七	同十四年	五一二
同九年	五七一	同十五年	四六〇
同十年	六三九	平均	五一三・四
同十一年	六三〇		

備考 ◎印ハ最大被害ヲ示ス

免租地調査

所在	地積	備考
繩手村	三五〇 <small>町</small>	浸水ニ依ル收穫皆無ノタメ最近ノ例ニ徴スレハ昭和三年來工 事着手ノ同六年迄年々依リ多少ノ差アルモ年々免租トナリシ 區域
三野郷	二二・二三	
計	五七・二三	

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針



大阪府ハ昭和七年度ヨリ實施ノ時局匡救事業ヲ轉機トシテ長足ノ進歩ヲ見農村ノ更生上最重要ナル事業トナレリ  
 更ニ昭和九年九月ノ風水害復舊並應急施設ノ施行ニ次テ翌十年ノ水害復舊事業ト相俟テ府全般殆ト實施ヲ見サルモノ  
 ナキニ至リ今ヤ罹災農村ハ一齊ニ復舊復興ノ途上ニ在リト雖疲弊困憊ノ極ニ在ル農村ハ未タ終局ノ成果ヲ收メ得ルニ  
 至ラサルハ寔ニ遺憾トスル處ナリ

抑モ耕地事業タルヤ農村ニ自力更生ノ資ヲ得セシメ、農家經濟ヲ潤澤ナラシムルト共ニ灌溉排水設備ノ改善ハ生産費  
 ノ輕減ト相俟テ生産物ノ増産、品質ノ向上ヲ促シ、災害防除ノ素因ト成リ又開墾ニ依ル耕作反別ノ増加ハ農家生活ノ安  
 定ヲ圖リ農道ノ改修ハ搬出ノ利便ヲ増進シテ市場取引ヲ有利ナラシムル等農村更生上資スル處極メテ大ナルモノアル  
 ハ言ヲ俟タス試ニ一例ヲ舉ケレハ府營恩智川沿岸並楠根川沿岸兩用排水改良事業區域ノ如キハ從來連年湛水ノ害甚大  
 ナルモノアリシモ客年未曾有ノ水害ニ會シ些ノ被害ナカリシハ一ニ本事業ノ災害防除ニ効アリシ適例ナリト云フヘシ  
 思フニ農村疲弊困憊ノ聲既ニ久シキニ亘リ方今我邦經濟界ノ痛腫ト云フモ過言ニアラサルヘク從テ之カ根本的救濟ハ  
 實ニ刻下ノ重要ナル問題タリ

仄聞スルニ政府ハ農地制度、農林土木事業、災害共濟制度等所謂國策ヲ樹立セラレ國民生活ノ安定ヲ期セラレムトス  
 ルハ寔ニ機宜ヲ得タルモノト云フヘク農村振興上採ルヘキ指導方針トシテハ一ニ以テ之カ實現ヲ期セラルルニアリ

### 兵庫縣

#### 一、農村振興上耕地事業ノ實績

##### 一 實績

本縣土地總地積ハ六十一萬六千八百四十八町步、内田地積十一萬三千四百二十一町步、畑地積二萬五千八百四十  
 八町步、合計十三萬九千二百六十九町步(昭和九年未現在)ニシテ耕地整理法施行以來本年七月末迄ノ事業成績ヲ

示セハ

認可總數	七四六箇所	二四、二七〇町步
工事完了	三六二箇所	九、九五一町步
換地處分認可	二三九箇所	七、〇〇九町步
事業終了	一一〇箇所	六、二二四町步
尙本縣ニ於ケル耕地擴張改良事業ハ開墾見込地二萬五千八百八十三町步、内開田適地一萬六千五百二十一町六反 步、開畑適地九千三百六十一町四反步ニシテ其ノ開墾容易ニシテ有望ナルモノヨリ順次之ヲ施行セシメツツアリ 而シテ開墾助成法施行以來本年七月末迄ノ成績次ノ如シ		

開墾助成出願地區數	一八七地區	
同 開田地積	一一、一四二・四町步	
同 開畑地積	一、一八六・六町步	
同 合計地積	三、三二九・〇町步	
時局匡救事業箇所數	一、四六一箇所	
同 開田地積	一〇五・〇町步	
同 開畑地積	一、〇五四・〇町步	
同 合計地積	一、一五九・〇町步	
應急施設事業箇所數	一九箇所	
同 開田地積	一一・六町步	
同 開畑地積	四・五町步	

兵庫縣



應急施設事業合計地積

七・二町步

總 合 計 地 積

四、四九五・一町步

内 開 田 地 積

二、二五〇・〇町步

開 畑 地 積

二、二四五・二町步

更ニ用排水改良事業ニ於テハ昭和三年度初メテ縣營事業ヲ開始シ爾來繼續的ニ施行シツツアリ其ノ成績ハ

施行箇所數	三箇所
受益地積	三、五〇五町步
事業費	一、〇八六、〇〇〇圓

二 指導方針

(一)、本縣ハ其ノ地勢南北ニ長ク南ハ瀬戸内海ニ臨ミ北ハ日本海ニ面ス而シテ南部ハ氣候概シテ温暖ナルモ雨量少ク河水潤澤ナラサルヲ以テ用水不足シ比年旱害アリ灌水ヲ補フニ大小幾多ノ溜池ヲ以テスルモ尙且水田面積ノ約六割餘ハ常ニ用水ノ不足ヲ告グルノ現況ナリ即チ之カ對策トシテハ

イ 溜池ノ増設並改築

ロ 井堰、水路ノ改良

右ハ農村振興上喫緊ノ事項ニ屬ス

(二)、北部但馬地方ハ風水害頻々トシテ起リ時ニ或ハ雪害ヲ蒙リ其ノ被害極メテ甚大ナルモノアリ災害對策トシテハ國及縣ニ於テ相當ノ助成ヲナシ其ノ都度之カ復舊ニ努メツツアリト雖如斯ハ單ニ消極方策ニ止マルヲ以テ更ニ進テ之カ恒久對策ヲ講スルノ要アリ即チ

イ 中小河川ノ改修

ロ 砂防施設

右ハ根本策ナルモ耕地關係ニアリテハ

ハ 其ノ堰、水路等ノ改良又ハ補強ヲ行フノ要ヲ見ル

(三)、耕地ノ擴張

本縣農家一戸當耕作反別ハ田五反八畝步、畑一反二畝步、合計七反步ニ過キス又一面耕地ノ潰廢ヲ見ルニ最近十箇年ノ平均ハ田三百十町步、畑三百十八町步、合計六百二十八町步ナルニ對シ一方耕地ノ擴張ニ在リテハ大正八年開墾助成法發布以來十八年間ノ平均ハ田百二十五町步、畑百十町步、合計二百三十五町步ナルヲ以テ本縣ノ耕地面積ハ逐年漸減ノ現象ニアリ更ニ近時米作經營ハ農家ノ經濟ヲ維持スルニ足ラス之ヲ補フニ果樹園藝又ハ特用作物ノ栽培ヲ以テスルノ傾向アリ町村ノ經濟更生計畫ニ見ルモ小開墾事業ヲ織込ミタルモノ極メテ多シ

以上ノ現況ニ鑑ミ本縣ニ於テ從來執リツツアル方針ハ

一、縣下ニ四出張所ヲ設置シテ耕地事業ノ指導獎勵並監督ヲ周密ナラシム

二、工事費ニ對スル補助ノ途ヲ啓キ灌溉排水ノ主要工事ニ補助ヲナス

三、災害防止ノ目的ヲ以テ危險性溜池ノ調査ヲ行ヒ補強工事ニ對シテハ特ニ四割ノ補助金ヲ交付ス

四、災害復舊ニ對シテハ但馬地方ニ出張所ヲ置キ之カ指導、監督ニ從事セシム

五、開墾地ノ經營ヲ合理的ナラシムル爲移住家屋ノ建築費ニ對シ補助金ヲ交付ス

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

從來執リツツアル方針ヲ繼續スル外左ノ事項ニ努メムトス

一、溜池ノ危險防止ヲ一層徹底セムカ爲其ノ改築費ニ對シ助成スルト共ニ危險ト認ムルモノニ對シテハ之カ維持管理



- ノ規程ヲ設ケシメ縣ヨリ之カ管理方法ヲ指示シテ其ノ實行ヲ期セムトス
- 二、灌溉用水ノ節約ヲ圖ルタメ從來ノ實績ニ照シ「トラクター」ニ依リ漏水多キ地方ノ床締工事ヲ獎勵セムトス
- 三、治水並利水ノ併行、用水ノ過不足調節及水利統制ヲ目的トスル大規模溜池ノ調査、計畫ヲ行ヒ之カ實現ヲ期セムトス
- 四、小開墾事業ハ縣下ニ於テ其ノ必要ヲ感スル地方多シ然レトモ之カ助成ニ付テハ縣經濟ノ關係上直ニ實行不可能ナルヲ以テ差當リ自力ヲ以テスル小開墾ヲ獎勵シ設計、監督、指導ニ努メムトス
- 五、經濟更生指定町村ノ計畫中耕地ニ關スル事業ニ付テハ可及的之カ指導ヲナサムトス

### 奈良縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績  
 疲弊困憊ノ極ニアル地方農山村ノ振興上耕地事業ハ喫緊ノモノニシテ之カ更生ノ根幹ヲナスモノナリ既往數箇年間本縣ニ於ケル其ノ實績ヲ徵スルニ昭和七年度以降三箇年間ニ亘リ繼續施行セル時局匡救耕地擴張改良事業ヲ始トシ風水害應急施設耕地事業、水害復舊耕地事業等ニ依リ財界ノ不況、各種災害ノ頻發ノ爲極度ニ打撃ヲ蒙リタル農村ノ窮狀ヲ緩和セシメ別ニ施設ノ經濟更生ト相俟テ耕地事業ノ農村振興ニ裨益スル處甚大ナルモノアリ特ニ本縣山間部中林業主要地ニ於テハ打撃ク財界不況ノ爲勞働收入減少シ生活困難ノ狀態ニ立至リタルニ開墾事業ヲ施行シテ就勞者ヲシテ賃銀ヲ得當面ノ生活費ニ充テシムルト共ニ恒久的就勞ノ機ヲ與ヘ且食糧ヲ自給シ以テ生活ノ安定ヲ確保シ山間部中農業主要地及階段部ハ濕田多キ爲二毛作行ハレサリシニ暗渠排水及小設備事業等ノ施行ニ依リ既耕地ノ改良ヲナシテ生産費ノ節約ト生産物ノ増加ヲ圖ルト共ニ開墾ニ依リ耕地地積ヲ増加シ而シテ主要食糧ノ栽培ニヨリ自給自足ノ途ヲ講スルノ外果樹等ノ栽培ヲナシ京、阪、神、三都ノ大市場ヲ供給地トシテ既ニ出荷ヲナスニ至リタルモノ尠カラス

平坦部ハ小設備、小川排水等ノ新設改良工事ヲ施行シテ既耕地設備ノ完備ヲナシ農業經營ノ集約化ヲ計リ以テ農山村經濟ヲ更生セシメタル實績顯著ナルモノアリ今之等ニ付實例ヲ示セハ次ノ如シ

#### 事業實施成績調査書 其ノ一

- 一、地區名 生駒郡北倭村大字南田原 喜里池耕地整理組合
- 二、事業ノ種類 溜池ノ新設
- 三、受益地積 田 四十八町二反歩
- 四、事業費及負擔內譯

(一) 事業費(決算)	一〇、七八四・六〇
(二) 負擔內譯	
國庫補助金	—
地方費	一、一〇六・四三
地元負擔金	九、六七八・一七

五、事業着手及終了ノ時期

事業着手 昭和九年三月十七日  
 事業終了 昭和十年十月二十五日

六、事業計畫ノ説明

從來本地區ハ上位部ニ在ル喜里池ヲ唯一ノ水源トセルモ殆ト年々用水ニ不足ヲ告ケ之カ水量四千五百九十七立坪餘ニ達シツツアリタルヲ以テ西山溜池ノ新設ニ依リ之ヲ補給スルモノナリ今新設西山溜池ノ計畫ヲ示セハ次ノ如シ

水面積 四・七一〇



貯水量 三八八五立坪  
 水深 最大 三〇尺 平均 一六・四五尺  
 堤塘 馬踏幅 一三尺 馬踏長 二八間 最大直高 四〇尺 内法 二割二分  
 外法 二割  
 伏 樋 延長 三二間 内徑一五吋  
 斜 樋 延長 五四尺 内徑一〇吋  
 放水 路 延長 四九・二五間 幅 三〇—二〇尺 深 一・五—一・三尺

七、施行後ノ効果及利益

(一) 一時的利益

(イ) 失業勞力緩和ノ利益

事業費ノ大部分ハ勞銀ナルヲ以テ關係者農閑期ヲ利用シ工事ノ施行ヲナシタル爲工事期間ニ箇年ニ亙リタルモ此ノ間全ク現金收入ナキ冬期ニ於テ農家ニ相當現金ヲ得セシメタル等多大ノ利益ヲ齎セリ

(ロ) 土地價額上昇ニ依ル利益

溜池新設ノ結果用水潤澤トナリ生産費ヲ節減シ且早魃ニ依ル産米ノ減收ヲ一掃シタル結果著シク土地價格ノ昇騰ヲ來シ最近ニ於ケル賣買交渉ノ一例ヨリ之ヲ推定スルモ反當平均百圓以上ノ上昇ヲ來セルモノノ如シ

受益地積	施行前反當價額	施行後反當價額	差引利益	總利益
四八・二〇〇〇	五〇〇	六〇〇	一〇〇	四八・二〇〇

(二) 永久的利益

從來本地區附近ニ於テ最用水潤澤ナル大池掛リ、匹田池掛リ等ハ本年ノ如キ、早魃時ニ於テ用水ニ不足ヲ告ケ被害ヲ蒙リタルヲ以テ若シ西山溜池ノ完成ナカリセハ右ニ徴シ一割餘ノ減收ハ來セルコト確實ナリ然ルニ用水潤澤トナリタルタメ除草・中耕等ニ便宜ヲ得タルノミナラス引水勞力ノ節約ヲナシタル等生産費減少ヲ來シ本年ノ如キ早魃時ニ於テモ少ナカラサル增收アルコト確實ナリ

今左ニ反當利益計算ヲ示セハ次ノ如シ

收			支			出		差引
種別	作物	收量	單價	金額	肥料	勞力	同上	其ノ他
田	稻	二・三石	三〇・〇円	六九・〇円	八・〇円	三・〇人	三・〇円	六・〇円
								損農具
								二・〇円
								種子
								一・〇円
								計
								五〇・〇円
								利益
								三・〇円

施行後見込収益

收			支			出		差引
種別	作物	收量	單價	金額	肥料	勞力	同上	其ノ他
田	稻	二・六石	三〇・〇円	七八・〇円	八・〇円	二・〇人	二・〇円	六・〇円
								損農具
								二・〇円
								種子
								一・〇円
								計
								三七・〇円
								利益
								四一・〇円

施行前後ノ差引利益



施行前反當利益	施行後反當利益	差引反當利益	受益地積	總利益額
三一・〇〇 <sup>円</sup>	四四・〇〇 <sup>円</sup>	一三・〇〇 <sup>円</sup>	四八・二〇〇〇	六、二六六・〇〇 <sup>円</sup>

右工事施行ノ結果毎年六千二百六十六圓ノ利益ヲ増加スルコトナリ其ノ効果甚大ナルモノアリ

(三) 農村經營ノ合理化ニ資シタル實例

工事竣功後本年始テ其ノ溜池ノ水ヲ灌溉シテ耕作シタルニ前項ノ如キ甚大ナル收益増加スルモ斯ノ如ク用水潤澤トナリタルヲ一般耕作者ニ認識セシメタルヲ以テ耕地擴張ノ餘地全ク無ク限ラレタル耕地ニ於テ集約的ニ生産増加ヲ計ラムトスル本地區ニ於テハ旱害ノ憂ヲ一掃セラレタルニ依リ更ニ入念ノ耕耘、肥培ヲ行ヒ多收穫ヲ得テ著シク收入増加ヲ來スコト容易ナルノミナラス節約セル引水努力ハ之ヲ副業等ニ致シ收入ノ増加ヲ圖ル等農業經營ノ合理化ニ資シタルコト大ナリ

八、農村ニ及ホセル影響

(一) 精神の方面

由來本大字ハ用水系統毎ニ對立シ灌溉時期ノミナラス絶ヘス兎角圓滿ヲ缺キ村ノ平和ヲ害シツツアリ殊ニ年々用水ノ分配ヲ協議スル集會ハ最弊害ヲ助長セシメツツアリシモ本年ハ用水潤澤ノタメ水利ノ紛擾ヲ見ス村内和氣漲ルニ至レリ亦溜池工事ニ依リ勤勞精神ヲ徹底セシメ且工事中總テ縣ノ監督ヲ受ケタル爲過去ニ於ケル共同作業ノ怠惰振ヲ一變スルニ至レリ

(二) 納稅其ノ他支拂方面

ナシ

(三) 其ノ他

ナシ

事業ノ實施成績調査書 其ノ二

- 一、地區名 吉野郡小川村 小栗栖耕地整理組合
- 二、事業ノ種類 開墾
- 三、施行面積 三十八町八畝二十四歩
- 四、事業費 七萬九千四百圓

内 譯

國庫	三一、七〇〇圓
地方費	七、四四三圓
地元負擔	四〇、二五七圓

五、事業着手 昭和五年二月十日

竣 功 昭和十一年十二月末日ノ豫定

六、事業計畫ノ説明

本大字ハ從來戸數七十五戸、人口約四百人ヲ有セル部落ナルニ畑地僅ニ十九町餘歩ナルヲ以テ一戸當ニ反五畝歩ニ過キス殆ト林業又ハ山稼等ヲ生業トナシ來リシモ大正八、九年以後木材價額ノ暴落ニ因リ賃銀低下且需要ノ關係上從業日數ヲ減少セシメタル等其ノ地方ノ大部分ヲ占ムル林業勞働者ヲシテ全ク生活ノ安定ヲ失ハシムルニ至リ林業專業地ト雖耕地ヲ離レテ生活ノ安定ヲ期シ難キヲ痛感シ幸ヒ開墾適地三十八町餘歩ノ杉檜林伐採樹齡期ニ達シタルヲ以テ之ヲ三十四人ニテ開墾シ栗樹ノ栽培ニ依リ前記收入減ヲ補ハムトス



七、施行後ノ効果及利益

(一) 一時的利益

イ、失業勞力緩和ノ利益

本地方ノ大部分ハ山稼ヲ以テ生計トナシ來リシカ事業開始後年々失業者ニ就勞セシメタリ其ノ延員約一萬百五十餘人ヲ救済ナシ得相當現金收入セシメタル等多大ノ利益アリタリ

ロ、土地價格ノ上昇ノ利益

前述ノ如ク從前反當價格五十圓位ナリシモ工事施行ノ結果割合良畑ヲ得タルニ依リ反當百五十圓ノ昇騰ヲ見タルニ依リ三十八町步ニ對シテハ五萬七千圓ノ一時的利益アリ

(二) 永久的利益

開墾地ハ從來杉柀ヲ植付ケ約五十年ニ一回皆伐ヲナシツツアリシヲ以テ反當三百圓位ノ收入トナリ年平均ニ換算セハ僅ニ六圓ニ達セシノミナリ

然ルニ開畑地ニ栗樹栽培ノ結果相當ノ收益ヲ得ツツアルノ状態ニテ今植付後五、六年ヲ經過セルモノニ付利益計算ヲセハ次ノ如シ

收 入		支 出				計	差 引
收 果 單 價 金 額	1.0石 35.00	肥料代	6.00	除 人 夫 賃 草	6.00	採 收 貨 運 荷 造 及 貨 雜 費	110.00
							15.00

即チ反當十五圓ノ利益アルヲ以テ三十八町步ニ對シテハ五千七百圓ノ利益アリ而シテ尙三、四年經過シ成木トナルニ至レハ反當五十圓ノ利益ハ確實ナリ

(三) 農村經營ノ合理化

本地方ハ大體山稼ノミヲ以テ生計ヲ營ミ居タルヲ以テ林閉期ハ忽チ失業シ勞力ノ分配圓滑ナラサリシカ栗樹栽培ニ依リ經營ヲ多角化セシムルノ外家族ニ就勞ノ途ヲ講シタリ

八、精神の方面

本事業施行ニ依リ共同一致ノ精神ヲ涵養シ村内益和合シツツアリ

九、納税方面

從來納税成績ハ納期ニ一割餘ノ未納アリタルニ本事業施行ニヨリ收入ヲ増シタル結果最近完納スルノ状態ナリ

事業ノ實施成績調査書 其ノ三

一、地 區 名 山邊郡福住村 山田第二耕地整理組合

二、事業ノ種類 暗渠排水

三、施行面積 二町四反三畝十五步

四、事業費及負擔内譯

事 業 費(決算)	一、一七二圓
負 擔 内 譯	
國 庫 補 助 金	五八六圓
地 方 費	—
地 元 負 擔 金	五八六圓

五、事業着手及終了ノ時期

着 手 昭和十一年二月二日



終了 昭和十一年三月三十一日

六、事業計畫ノ説明

本地區中暗渠排水ヲ施行セル部分ハ低濕地ニシテ惡水地表ニ停滯シ稻ノ生育十分ナラス殊ニ病蟲ノ被害多キ爲反當收量ヲ減シ且米質亦粗惡ニシテ過濕ナル爲作業困難ニシテ耕作ニ多大ノ勞力ヲ要スルヲ以テ之カ改良ヲ計ル爲前記ノ通低濕集團地積二町四反三畝十五歩ニ幹線四百六間四分(内四寸土管八十七間七分、三寸土管三百十七間七分)支線九百七十一間五分ヲ埋設シ暗渠排水ヲ施行シ土地ノ生産力ノ向上ヲ期セムトス

七、施行後ノ效果及利益

(一) 一時的利益

イ、失業勞力緩和ノ利益

從來本地方ノ日稼者ハ冬期凍豆腐製造人夫トシテ從業セシモ近年機械力ニヨリ凍豆腐ヲ製造スルニ至リ人夫ノ需要激減シ失業者多カリシ折柄本事業ノ施行ニ依リ之等失業者ヲ人夫トシテ使用セル爲失業勞力緩和ニ資スル所洵ニ大ナルモノアリ

ロ、土地價額上昇ノ利益

受益面積	二・四三・一五	施行前反當價格	二八〇	施行後反當價格	四〇〇	差引利益	一二〇	總利益	二、九二二
------	---------	---------	-----	---------	-----	------	-----	-----	-------

(二) 永久的利益

イ、施行前收益

收		入		支		出		差引		總利益							
種別	作物	收量	單價	金額	收其ノ他	計	肥料	勞力	同上	貨銀	其ノ他	課農具	種子	計	利益	面積	總利益
田	稻	二・三石	三〇〇	六六〇	二〇	六八〇	八〇	三三	三三	三三〇	六〇	二〇	一〇	四〇〇	二八〇	二・四三・一五	六八・一八

ロ、施行後見込收益

收		入		支		出		差引		總利益							
種別	作物	收量	單價	金額	收其ノ他	計	肥料	勞力	同上	貨銀	其ノ他	課農具	種子	計	利益	面積	總利益
田	稻	二・八石	三〇〇	八六八	三〇	九〇八	八〇	二八	二八	一八〇	六〇	二〇	一〇	三三〇	五〇八	二・四三・一五	三三〇・三六

ハ、整理施行前後ノ差引利益

施行前ノ利益	六八一・八〇	施行後利益	一、三三四・三八	差引利益	六五二・五八	記	反當	二六・八〇
--------	--------	-------	----------	------	--------	---	----	-------

右工事施行ノ結果本年度ヨリ毎年反當二十六圓八十錢ノ過濕ニ基ク災害ヲ防止シ得ルコトナリテ其ノ效果甚大ナリ

(三) 農村經營ノ合理化ニ資シタル實例

右工事施行ノ結果前記ノ如ク勞力ニ於テ反當五人ノ節減ヲ見ルニ至リタルヲ以テ之ヲ開畑地ノ耕耘、肥培ニ一段ノ力ヲ致セルニ其ノ後開墾地ノ面目一新シ本地方ニ於ケル模範茶園トシテ將來有望視サルルニ至リ從テ其ノ



收量ニ於テモ本年度ノ如キ特殊ノ冷害ヲ蒙ラサル限リ著シク増加ノ見込確實ナリ  
八、農村ニ及ホセル影響

- (一) 精神の方面 特記スヘキ事項ナシ
- (二) 納税其ノ他支拂方面

本事業ハ前記ノ如ク主トシテ本地方ニ於ケル失業者ヲ就勞セシメ之ニ勞銀ヲ與ヘタルヲ以テ被傭者ハ家計概シテ良好トナリ從來滞納セル諸稅ヲ一掃スルヲ得タル外支拂關係ニ於テモ同年度末ノ如キハ從來ニ見ルヲ得サル好成績ヲ收メ得タリ

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

本縣ニ於テハ現下農村窮乏ノ實情並今後ノ推移ヲ考察シ農村ノ恒久的對策トシテ地勢上之ヲ左記三地帯ニ分チ縣政耕地事業計畫案ヲ樹立セリ而シテ方針左ノ如シ

一、平坦地帯

平坦地帯ハ所謂大和平野ノ地ニシテ四周ノ山地ヨリ流積セル平夷地ニシテ大和農業地ノ主體ヲナシ耕地概ネ田ニシテ土地沃穰ナルモ農家一戸當耕作面積僅少ニシテ而モ毎年減少セリ然レトモ本地帯ハ文化夙ニ開ケ最早耕地開發ノ餘地存セサルヲ以テ現下農村ノ窮乏ヨリシテハ其ノ更生上一ニ既耕地ノ積極的改良ニ依リ經營ヲ一層集約的ナラシメ一八年々蒙ル多額ノ旱害ヲ防除シ土地ノ生産力ノ増進並生産費ノ節減ニ努ムルノ外ナク而シテ耕地改良事業ノ根幹ヲ爲スモノハ實ニ用水改良關係ノ事業ニシテ本事業ノ成否ハ本縣農業ノ死命ヲ制スト謂フモ敢テ過言ニ非ラス而シテ本地帯ニ集團セル田地積ハ二萬二千七百町歩ヲ算シ本縣田地積ノ六割八分ヲ占メ所謂大和川流域ニ當リ水源淺狭ニシテ加之雨量少ナク偶々降雨アレハ二時的ニ奔流シ田畑ヲ害フト雖常水極メテ少ナク從テ用水ノ補給ハ實ニ地方ノ重要問題タリ次ニ現存溜池ノ多數ハ百五十年前ノ築造ニシテ殆ト其ノ機能ヲ失ヘル狀態ニ在リ又井堰ハ其ノ構

造原始的ニシテ杭木或ハ土依ヲ以テセルモノ多ク毎年多大ノ維持費ヲ費スト雖尙引水十分ナラス其ノ他耕地間ヲ通スル道路及水路ハ何レモ不備ノモノ多キヲ以テ本地帯ニ於テハ農村ノ恒久的對策トシ積極的ニ前記集團の用水改良事業及其ノ他ノ改良事業ヲ實施セシメタル上近年頻發スル各種災害ヲ防止シ以テ農村生活ノ安定ヲ期セムトス

二、階段地帯

階段地帯ハ大和平野ヲ圍繞セル山麓地帯ニシテ農耕地概ネ階段狀ヲナシ耕地面積僅少ナルニ剩ヘ毎年減少スルノミナラス農家戸數漸増ノ狀態ナリ而シテ本地帯ノ農家ハ殆ト山稼又ハ養蠶ヲ副業トシテ漸ク生計シ來リシモ近時之等副業ノ不振ニヨリ忽チ其ノ經營ニ頓挫ヲ來シタルヲ以テ地形、地味、氣候等ノ制約ヲ受クルト雖既耕地ノ改良ヲ行ヒ災害ヲ防止スル外生産費ノ節約及增收ヲ圖リ林地ノ開墾ニ依リ耕地ヲ増成シ自作農ノ創設ニ努ムルト共ニ園藝並特用作物等増殖ノ途ヲ講シ一面失業勞力ヲ緩和シ農業經營ノ基礎ヲ鞏固ナラシメ將來ニ於ケル農村生活ノ安定ヲ期セムトス

三、山間地帯

山間地帯ハ大和平野東部山間部ヨリ吉野山間ニ及ヒ耕地ハ小盆地ノ外河川流域沿岸ノ平夷地、小丘陵又ハ山腹ノ傾斜地或ハ溪谷ニ位置シ耕地面積ハ前記二地帯ニ比シ更ニ僅少ニシテ且濕田多キ爲ニ毛作行ハレス住民ハ殆ト林業、山稼ヲ以テ生活ヲ支ヘ來リシモ最近ニ於ケル木材界ノ不況ハ林業專業地ト雖耕地ヲ離レテ生活ノ安定ヲ期シ難キ現狀ニ在ルヲ以テ林地ノ開墾ニ依リ耕地ヲ擴張シ自作農ノ創設並食糧ノ自給ヲ計ルト共ニ陸稻、果樹、蔬菜、花卉栽培等ヲ獎勵シ尙既耕地ノ改良ニ在リテハ暗渠排水ヲ主トシテ溜池、道水路ノ新設並改修ヲ行ヒ災害ノ防止及生産費ノ節約並生産物ノ増加ヲ計リ從前ニ比シ更ニ農業經營ヲ加味シ耕地ノ利用ニヨリ經營ノ合理化ヲ計リ現下ノ窮迫セル山林ノ更生ヲ完成セムトス

而シテ今前記三地帯ニ於ケル事業計畫ノ概要ヲ示セハ左ノ如シ



耕地事業費總額並補給金額

事業種別	事業量	關係地積	費用總額	補給金額	一箇年當耕地事業	
					事業量	補給金額
(一) 用水改良事業	13	11,500.00	7,000.50	3,951.50	1,150.00	7,000.50
倉橋池	1	1,450.00	90,000			
東里池	1	1,580.00	1,010,500			
横川池	1	1,240.00	88,000			
小夫池	1	510.00	3,700,000			
和森池	1	1,000.00	7,700,000			
栢堂池	1	510.00	3,000,000			
瓦庄池	1	510.00	3,000,000			
新屋池	1	510.00	3,000,000			
關崎池	1	500.00	3,000,000			
寺崎池	1	950.00	6,500,000			
栢谷池	1	800.00	5,000,000			
大和田池	1	800.00	5,000,000			
(二) 開墾	7,491.44	7,491.44	5,998,533	2,999,266	799.81	5,998,533
(三) 道	551.55	11,031.11	1,577,655	788,827	5,555.55	1,577,655

(四) 水路	1,640.33	2,680.00	4,151,000	2,076,000	1,384.00	41,510	2,076,000
(五) 溜池	1,000.00	10,000.00	2,100,000	1,000,000	1,000.00	21,000	1,000,000
(六) 溜池改良	4,360.00	4,360.00	2,170,000	1,085,000	4,360.00	21,700	1,085,000
(七) 普通整理地目變換	2,390.90	2,390.90	6,897,000	3,448,500	2,390.90	68,970	3,448,500
(八) 井堰	2,440.00	4,880.00	1,500,000	970,000	2,440.00	19,500	970,000
(九) 樋門其他	60.00	100.00	100,000	60,000	60.00	100.00	60,000
計	55,153.54	3,149,050	10,550,557	5,114,940	55,153.54	1,055,740	5,114,940

備考 開墾事業ノ内助成事業ハ二分ノ一、三千七百四十九町七畝歩ニシテ他ハ小開墾事業トス

和歌山縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十九年ヨリ施行シ爾來普及發達ニ力メ認可セル地區數三百三十六、地積五千八百六十町歩、事業費三百七十五萬一千圓ニ達シ又小面積ノ土地改良事業ハ昭和七年ヨリ施行シ施行箇所數二百九、事業費十一萬四千五百圓ニ及フ

工事ハ主トシテ柑橋栽培ノ山林ノ開畑、用水補給ノ溜池、井堰、水路等ノ新設、改修及耕作道ノ新設、改修、暗渠排水等ナリ又昭和七年度ヨリ三箇年間ニ亘リ時局匡救國庫助成金七十二萬四千圓ノ交付ヲ受ケ各種事業ヲ施行セシメ耕地ノ擴張、既耕地ノ改良ニ依リ利用ヲ増進シ疲弊セル農村ノ更生ヲ誘起シ農村ノ振興ヲ助長シタル事多大ニシテ事業ハ何レモ農閑期ヲ利用シ自己勞力ニ依リ施行、事業ノ實績及財務ノ狀態頗ル良好ナリ工種別ニ實績ヲ示セハ左ノ如シ



工種別実績

工種	耕地整理及 開墾助成		時局匡救		小面積土地改良		計	附記
	面積	地積	面積	地積	面積	地積		
開墾	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
用水補給	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	
農道改修	同	同	同	同	同	同	同	
暗渠排水	同	同	同	同	同	同	同	
計	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	田畑、水路、井堰、樋管等ノ改良新設

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

農村振興ノ實ヲ舉クルニハ各種事業ノ不斷ノ努力ニ俟ハ勿論ナルモ耕地面積ノ狭小ナル本縣ニ於テハ特ニ耕地事業ハ最農村振興ノ根幹ヲナスモノナルヲ以テ過小農救済ノ爲ニスル開墾事業トシテ小作農一萬七千三百八十戸（開墾不可能地ノ小作農二千四百七十戸ヲ除ク）ニ對シ平均二反歩ノ新農耕地（開畑地ニハ特用作物栽培）ヲ得セシムル爲ニ三千四百七十町歩、工事費五百二十一萬六千四百圓ノ開墾事業ノ施行ヲ極力指導シ尙最近頻發スル各種災害ノ慘禍ヲ防止スル爲百五十箇町村ニ對シ水害防止施設トシテ溜池、井堰、水路、橋梁、樋管、堤塘、樋管、法留工等ニ於テ關係地積一萬九千四百八十町歩、事業費二百三十七萬二千四百圓、旱害防止トシテ溜池、井堰、水路、橋梁、堤塘、開墾等四百八等一千五百町歩、三十六萬三千百圓、風潮害其ノ他ノ災害防止トシテ溜池、水路、道路、橋梁、堤塘、開墾等四百八十町歩、十五萬七千九百圓ノ耕地事業ノ施行ヲ指導スルト共ニ耕作道施設ノ改良ヲ要スル町村中差當百箇町村ニ對シ工事費二百萬圓ヲ以テ平坦地方ハ幅員ノ擴大、路線ノ整備ニ力メ、丘陵地乃至山地ノ柑橘畑ニハ山腹車道ヲ開發シ物

資ノ運搬ヲ便ナラシムトス

尙集團地ノ用水改良事業施行豫定地三地區、地積三千八十町歩、事業費三十九萬圓ノ内差當リ新六ヶ井農業水利改良事業ヲ事業費二十萬二千圓ヲ以テ三箇年計畫トシテ昭和十二年度ヨリ施行セムトス  
次ニ近時農山漁村經濟更生計畫ノ高唱セララルヤ其ノ大半ハ計畫ヲ耕地事業ニ重點ヲ置キ之ニ依リ更生ヲ計ラムトスルノ状態ニアルヲ以テ之カ計畫ニ付テハ細密ナル審査ト指導ヲナシ以テ事業ノ適確ヲ期シ耕地事業ト兩々相俟テ工事並事務ノ綜合的指導監督ニ力メ一層農村振興ノ實ヲ舉ケシムトス

鳥取縣

一、農村振興上耕地事業ノ実績

実績事例

一、野坂川、湖山池沿岸排水改良事業

(一) 經過

本縣營ヲ以テ現在事業施行中ニ屬スル野坂川、湖山池沿岸排水事業ハ縣下ニ於テ最水害甚シキ箇所ニシテ一朝洪水ニ際會スレハ野坂川兩岸ノ堤防ハ忽チ缺潰シ沿岸耕地ハ一面積ト化シ殆ト原形ヲ留メス又其ノ溢流水及千代川ノ氾濫並逆流水ヲ加ヘ湖山池沿岸耕地ハ洪水二十日間以上ニ亘リ耕地家屋ノ被害甚大ニシテ沿岸住民ハ塗炭ノ苦ヲ嘗メタルコト枚舉ニ遑アラス今既往大正元年ヨリ同十五年迄ノ間ニ於ケル年平均被害高ヲ示セハ約二十四萬六千圓ニ及フ其ノ内譯左ノ如シ



年次	耕地被害面積	農作物減收高	耕地其ノ他ノ復舊費	計
大正元年風水害	一、七一九町	四四四、九七九町	八三四、四三一町	一、二七九、四一〇町
同七年風水害	一、六〇六町	四一五、二二七町	一、一〇二、五五七町	一、五一七、七八四町
同十二年風水害	一、六七四町	四三三、三三七町	四五四、七五一町	一、五一七、七八四町
一回出水平均		四三一、一八一町	七九七、二四七町	一、二二八、四二八町
一箇年ノ平均		八六、二三六町	一五九、四四九町	二四五、六八五町

(二) 事業計畫ノ概要

右關係地域ニ於ケル排水不良ノ原因ハ野坂川ノ河積狹小並堤防脆弱、湖山川ノ河積狹小、千代川流水ノ氾濫並逆流ノ三トス而シテ内務省千代川改修工事ノ施行ニ依リ同川ノ氾濫ハ防止シ一部ノ被害ハ免ルルト雖大部分ノ被害ハ尙依然トシテ甚大ナルヲ以テ本事業計畫ニ於テハ總事業費七十萬圓ヲ以テ排水幹線野坂川並湖山川ヲ改修シ一面湖山川ニ逆流扉門ヲ設置シ以テ氾濫、逆流ヲ完全ニ防止シ關係地域ノ耕地一千八十餘町歩ノ排水ノ完全ヲ期シ農産物ノ増殖ヲ圖ルヲ以テ目的トス

(三) 事業完成ノ效果

事業ノ大半完成後ニ於テ再昭和九年ニ於テ稀有ノ大風水災襲來シ左記ノ被害ヲ受ケタリ

昭和九年	耕地被害面積	農作物減收高	耕地其ノ他ノ復舊費	計
	八八三町	二一九、九一五町	四四七、三六九町	六六七、二八四町

之ヲ既往三回ノ災害ト比較スレハ左ノ如シ

種別	大正元年		昭和九年		差	額	減損率
	面積	減收高	面積	減收高			
耕地被害面積	一、七一九町	四四四、九七九町	八八三町	二二五、〇六四町	八三六町	四八%	四八%
農作物減收高	八三四、四三一町	二一九、九一五町	四四七、三六九町	三八七、〇六二町	六二二町	五一%	五四%
耕地其ノ他復舊費	一、二七九、四一〇町	六六七、二八四町	六六七、二八四町	六二二、一二六町	六五七、一五八町	四八%	四八%
計							

種別	大正七年		昭和九年		差	額	減損率
	面積	減收高	面積	減收高			
耕地被害面積	一、六〇六町	四一五、二二七町	八八三町	二一九、九一五町	七二三町	四五%	四五%
農作物減收高	一、一〇二、五五七町	四四七、三六九町	四四七、三六九町	六五五、一八八町	六五五、一八八町	四七%	四七%
耕地其ノ他復舊費	一、五一七、七八四町	六六七、二八四町	六六七、二八四町	八五〇、五〇〇町	八五〇、五〇〇町	五九%	五九%
計							

種別	大正十二年		昭和九年		差	額	減損率
	面積	減收高	面積	減收高			
耕地被害面積	一、六七四町	八八三町	八八三町	七九一町	四七%	四七%	



農作物減收高	四三三、三七四	二一九、九一五 <sup>四</sup>	二一三、四二二 <sup>四</sup>	四九%
耕地其ノ他復舊費	四五四、七五一	四四七、三六九	七、三八二	二
計	八八八、〇八八	六六七、二八四	二二〇、八〇四	二五

即チ右ノ比較對照表ニ依ルモ野坂川、湖山池改修ノ結果昭和九年度ノ被害ハ大正元年ノ約四十八%、大正七年ノ約五十六%、大正十二年ノ約二十五%ニ過キス而モ昭和九年度ノ被害タルヤ前古未曾有ノモノニシテ縣下ノ被害總額カ大正元年ノ約四倍、大正十二年ノ約十四倍ニ達スルモノナルコトヲ考慮スルトキ此度ノ被害カ如何ニ僅少ニシテ本事業ノ效果カ如何ニ大ナリシカハ茲ニ明白ニ證明セラレタルモノト云フヘシ實ニ從來ハ一朝洪水ニ際會スレハ野坂川兩岸ノ堤防ハ忽チ缺潰シ又湖山池沿岸耕地ハ洪水二十日間以上ニ亙リ被害甚大ナリシモ昭和九年ノ災害ニハ僅カ五日間ニテ平水位ニ復シ又本事業ハ當時約八割以上竣功セルヲ以テ工事中ニ屬スル護岸工ノ一小部分ニ小被害ヲ受ケタルノミニテ堤防ノ缺潰モナク爲ニ沿岸耕地ノ農作物等ノ被害僅少ニ止マリタルモノナリ

茲ニ於テ本事業完成ノ曉ハ連年蒙リタル洪水ノ被害ハ根絶スルニ至リ當地方ノ農業ハ基礎安定シ地方ノ産業ハ彌々興隆シ民福ヲ増進スルト同時ニ延テハ國家經濟ニ裨益スル處蓋シ甚大ナルモノト認ム

二、神田農場

(一) 沿革

大山原野八千町歩ハ多年軍馬補充部トシテ産業方面ノ開發ヲ封鎖シレタルモ大正九年同補充部ノ朝鮮移管ト共ニ漸ク之ヲ民間ニ開放セラレ爾來之ヲ開墾シテ農業上ノ利用増進ヲ畫スルモノ續々ト表ハレタリ中ニモ本地區神田農場ノ如キハ其ノ中最特色アルモノニシテ移住者ノ前身カ吳海軍工廠ノ職工ニシテ農業トシテ何等ノ經驗ナク而モ敢然トシテ内地移住ヲ決行シ此ノ大山原野ノ一部ノ拂下ケヲ受ケ開墾助成法ノ恩典ニ依リ開墾事業ヲ行ヒ專ラ

如經營ノ下ニ新農村ノ建設ニ努力シ幾多ノ困難ヲ見事ニ突破シ着々トシテ成功シツツアルモノニシテ此ノ好適ナル神田農場ノ一例ハ爾來附近原野ノ開墾熱ヲ著シク刺戟シ當ニ十餘地區、二百町歩餘ニ亙リテ開墾計畫セラレ着々成功シツツアル状態ナリ

(二) 地區ノ概況

本地區ハ西伯郡名和村ノ西端ニ位シ大山原野ノ一部ニシテ山陰本線御來屋驛ヨリ約二里ノ所ニアリ南ニ國立公園大山ヲ仰キ北ニ日本海ヲ俯瞰ス廣袤南北二十町、東西四十五町ノ距形狀ニシテ土地ノ勾配ハ約三十分ノ一ヲ以テ南北ニ傾斜シ西半部ニ深キ二條ノ溪アリ土質ハ第三紀層火山噴出物ヨリナリ地下水位ハ相當深ク水利ノ便比較的惡ク用水源ニハ乏シ

地表ハ原野状態ニシテ四―五十年生ノ松樹僅ニ點在スルノミ

氣候又高燥ニシテ雨量少ク風力比較的強キ嫌アリ

(三) 計畫概要

地區内全面積三百十町歩ニシテ内開畑面積七十町歩、田四町歩、山林九十六町歩、造林地百町歩、道路其ノ他三十町歩ナリ開畑面積七十町歩ノ内三十八町歩ハ農林省ヨリ貸與ヲ受ケタル機械ヲ以テ開墾スルモノナリ道路ハ地區外トシテ地區ヨリ御來屋驛ニ至ル主要道路及名和村ニ通スル主要道路ヲ改修シ地區内ニ於テハ約二十町歩ヲ一集團トシテ計畫セリ

移住戸數四十戸ニシテ一戸當平均畑二町歩、山林一町八反歩、採草地一町八反歩、田一反歩、宅地一反歩、計五町八反歩ナリ移住家屋ハ一戸當二千圓ヲ以テ建築シ其ノ外公共建造物トシテ分教場、公會堂、共同作業場ノ建築ヲ計畫シ尙家屋及開畑豫定地ノ周圍ニハ防風林ヲ設置スルモノナリ

(四) 工事進捗狀況(昭和十年度末現在)



開畑面積 五十五町歩  
 道 地區外主要道路及地區内主要道路ハ大半完成ス  
 移住家屋 三十一戶建築完了其ノ外分教場(公會堂併置)共同作業場完成ス  
 防風林 六町九反歩ノ造林ヲ終ヘタリ

(五) 農業經營狀況

昭和六年夏移住シ指令前工事開始ノ認可ヲ得テ直ニ工事ヲ開始シ當初ハ準備工作ト農事經營ニ全ク未熟ナリシタ  
 メ一時困窮ニ陥リ殊ニ翌昭和七年ノ如キハ作物ノ不作ニ依リ全ク挫折セムトセルモ良ク關係當局ノ指導ト移住者  
 ノ固キ決意ニ依リ其ノ後着々實績ヲ擧ケ昭和八、九年度ノ如キハ以外ノ豐作ニ惠マレ爾來成績次第ニ良好ニシテ  
 移住者ノ意氣更ニ熾ナルモノアリ

而シテ現在ノ移住民ハ三十四家族、百二名ニシテ分教場ハ教師一名、兒童十五名ナリ  
 尙昭和十一年度ノ作付狀況左ノ如シ

陸	稻	三〇・〇〇	甘	薯	二・三〇
小	麥	〇・五〇	里	芋	二・二〇
大	豆	二・七〇	馬	鈴	〇・三〇
小	豆	一・四〇	大	根	一・〇〇
蕎	麥	三・三六	甘	栗、南瓜	一・〇〇
粟		二・五〇	甘	藍	〇・三〇
西	瓜	七・〇〇	計		五四・五六

而シテ本地區ハ風強ク所謂大山嵐ノ被害大ナリト雖地味肥沃ニシテ收量ハ平年作ニ於テモ陸稻反當一石二斗、西

瓜六百貫、甘藷五百貫、大根一千二百貫ヲ下ラス之ヨリ見ルモ甘藷、大根等ニハ特ニ良好ナルカ如シ防風林完備  
 ノ曉ハ暴風ノ被害モ著シク削減セラレ收量モヨリ以上増加スルモノトシテ非常ニ期待セララル有様ナリ

果樹ハ強風地帯ナルタメ専ラ栗ニ限ラレ養蠶ハ高燥ニシテ氣候良好ナルヲ以テ最良ノ成績ヲ擧ケツツアリ其ノ他  
 畜産ハ近時益盛ニ飼育セラレ其ノ成績モ良好ニシテ目下牛十七頭、馬二頭、兎十五頭、山羊一頭、鶏百羽程飼育  
 セル有様ナリ

副業ハ未タ見ルヘキモノナク僅ニ自家用ノ薬細工ニ過キサレ程度ナリ而シテ農産物ノ販賣、物資ノ購入ハ農事實  
 行組合又ハ村農會ノ斡旋ニ依リ共同購入、共同販賣ヲ行ヒ其ノ成績モ亦著シキモノアリ

(六) 結論

過去四箇年ノ成績ニ徴スルモ作柄ハ殆ト固定シ移住民ノ意志モ亦強固ナルヲ以テ所期ノ目的ヲ達スルハ遠カラサ  
 ルナリ只本地區ハ風強ク所調大山嵐ノ被害大ニシテ未タ十分ナル成績ヲ擧クルニ至ラサルモ防風林ノ完成ニ依リ  
 風害ヲ除去シ一方農業經營ノ熟練ト相俟テ益好成績ヲ擧クルニ至ルヘシ而シテ本地區ノ現在ノ成功ハ大山原野八  
 千町歩開墾ノ有望ナル事ヲ裏書シタルモノニシテ爾來開墾事業績々ト計畫セラレ着々成功セルモノアリ其ノ農村  
 振興上貢獻セルモノ偉大ナルモノト云フヘシ

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

一、經濟更生特別助成ト併行シテ別途助成(開墾助成、小用排水、暗渠排水、農用公共施設等)ノタメ新ニ豫算ヲ  
 増額スルコト  
 農村振興上耕地事業ノ進展カ如何ニ根本的ニシテ重且大ナルカハ本縣經濟更生指定町村中、特別助成町村七箇村  
 ノ經濟更生計畫ニ織リ込マレタル耕地事業ニ徴スルニ左表ノ如ク小開墾事業田一町歩、畑十六町歩、其ノ事業費  
 六千八百五十圓、小用排水事業關係面積三百六十四町五反歩、其ノ事業費三萬三千五百九十一圓、暗渠排水事業



關係面積三十六町步、其ノ事業費一萬二千五百十八圓、農道一萬二千七百七十五圓、其ノ事業費三萬七千二百三十五圓、溜池二箇所、五百八十二圓、合計九萬七百七十七圓ニ達シ其ノ助成金三萬五千八百九十一圓ニシテ全補助事業ノ四割五分ニ相當スルヲ見ルモ明ナリ

然レ共之ヲ當初計畫セル耕地事業ノ總量ニ比スルトキハ極テ僅少ニシテ小開墾ニ於テハ其ノ一割、小用排水ニ於テ五割、暗渠排水ニ於テ一割五分、溜池ニ於テ二割ニモ達セス殊ニ井堰、橋梁等ニ於テハ全然着手スル能ハサル狀態ナリ是綜合的經濟更生ノ主旨ニ依リ他課關係事項トノ關聯上豫算僅少ノタメ止ムヲ得サルトスルモ何等カノ別途助成ノ途ヲ講スルニ非サレハ根本的更生ノ實ヲ擧ケ得サルハ明ニシテ九叙ノ功ヲ一篋ニ欠クノ恐ナシトセス茲ニ經濟更生特別助成ト併行シテ別途助成事業トシテ開墾助成、小用排水、暗渠排水、農用公共施設事業等ノ豫算ヲ新ニ計上シ以テ根本的經濟更生ノ充實ヲ圖ラムトス

種別	耕地事業ノ總量	特別助成ニ採擇セラレタル數量	同上事業費	備考
小開墾	一八四・七	一六・〇	六、八五〇	
小用排水	七四四・〇	三六四・五	三三、五九一	
暗渠排水	二八一・〇	三六・〇	(一一、五一八)	別途助成
農道	二七、六八〇	一二、七七五	三七、二三五	
井堰	一二			
溜池	一〇	二	五八三	
橋梁	四		九〇、七七七	
計				

二、耕地指導員ヲ新ニ設置シ耕地事業ノ圓滑ナル發達ヲ圖ルコト

曩ニ時局匡救農業土木事業施行セラレ今又農山漁村經濟更生特別助成ノ途開カレ茲ニ耕地事業カ農村振興上最モ必要ニシテ且其ノ根底ヲナスコト廣ク確認セラレタリ殊ニ經濟更生特別助成ニ於テハ豫算少額ナリト雖他課關係事項ト關聯シテ複雑多岐ノ下ニアリテ農村ノ根底ヲナス本事業ノ成功、不成功ハ實ニ全町村ノ經濟更生ノ成功不成功ニ直接影響ヲ及ホスモノトシテ事業ノ配置選擇ニ付テ十分慎重ヲ要スルニ至リタリ

然ルニ從來稍モスレハ耕地事業カ一個人或ハ一局部の事業ニ止リテ一部落或ハ一町村全體ノ利益ト相背馳スル傾ノモノナキニ非リキ是レ即チ從來一部落或ハ一町村全體トシテノ耕地事業ニ關スル總ニ基本的調査ヲ行フ機關存在セサリシニ依ルモノナリ依テ茲ニ新ニ耕地指導員ヲ設置シ以テ一部落或ハ一町村ヲ一集團トシテ現在並將來ノ耕地過不足ノ狀況、用排水過不足ノ狀況、區劃形質ノ狀況、未開墾地ノ狀況、其ノ他農村計畫事項等耕地事業ヲ中心トスル全般的事項ノ調査研究ニ當ラシメ刻々ニ複雑化スル農村ノ經濟機構ノ下ニアリテ其ノ根底ヲナス土地ニ對シテ最有効適切ナル土地對策ヲ樹立セシメ而シテ各耕地事業ノ取捨選擇ニ誤リナク一局部の事業ナリト雖町村全體ノ利害ヲ基調トシ計畫セシメ以テ綜合的農村振興ノ完璧ヲ期セムトスルモノナリ

三、災害防止ノタメ用排水幹線改良事業ノ豫算ヲ増額シ其ノ關係面積ヲ低下シ新ニ災害防止農用公共施設事業ノ豫算ヲ計上シ併セテ災害防止施設調査機關ヲ新設スルコト

大正元年以降本縣ヲ襲ヒタル各種災害ハ殆ト毎年相當額アリテ其ノ被害總額一億七百萬圓ニ達シ其ノ内百萬圓以上ノモノノミニテモ八回、其ノ被害額平均一千二百九十七萬圓トナリ三年ニ一回ハ襲來スルト云フ有様ナリ而シテ一方明治以降ノ颱風進路ノ方向ヲ調査セルニ颱風ハ本縣ノ南東近クヲ通過シ其ノ都度本縣ハ豪雨ノ中心トナル位置ニ位シ加之地勢急峻ニ土質亦比較的崩壊性ニ富ミ從テ被害ハ常ニ倍加セラレ中ニモ大正元年、大正七年、大正十二年、昭和九年ノ大風水害、昭和四年ノ風害、昭和八年ノ旱害、昭和十年ノ雪害等其ノ最顯著ナルモノナリ



之等ニ對シテ從來徹底的災害防止計畫行ハレス復舊計畫スラ單ニ原形復舊ノ程度ニ過キス而モ其ノ補助金タルヤ極メテ低率ニシテタメニ農民ノ負擔甚ク過重ニシテ本縣農民窮乏ノ最大原因ヲナスニ至リタリ而モ各種災害ハ將來再三、再四繰返サルルハ過去ノ記錄ニ依ルモ明ニシテ茲ニ速ニ災害防止ノ對策ヲ樹立スルニ非サレハ吾鳥取縣ハ勿論山陰地方一圓ハ遂ニ災害ノタメニ潰滅ニ歸スルニ至ルヘシ是ニ對シテ大正七年ノ大風水害ノ結果用排水幹線改良事業トシテ施行セラレタル野坂川、湖山池農業水利事業ノ實績ニ見ルニ去ル昭和九年ノ大風水害ヲ完全ニ防止シ其ノ効果ノ顯著ナルニ徴シテ之等事業ニ對スル地方ノ要望多クアリト雖本事業ノ豫算少額ナル上ニ關係面積五百町歩以上ナル制限ハ耕地ノ集團地比較的少ナキ吾山陰地方ノ事業進展ニ對スル一大障害ナリ依テ向後益本事業ノ豫算ヲ増額シ、關係面積ヲ低下シ併セテ新ニ災害防止農用公共施設ノ豫算ヲ計上シ、溜池、井堰、橋梁等ノ單獨工事ノ改修ヲ行ヒ尙進テ災害防止施設調査機關ヲ設定シ以テ各種災害ニ對シテ徹底的ニ其ノ原因、被害ノ狀況、防止對策等ノ調査研究ヲ行ヒ最有効適切ナル防止計畫ヲ樹立シ之カ實施ヲ行フハ向後ノ農村振興上最緊急ヲ要スルコトナリトス

四、新農村建設並自作農創設ノタメニ新ニ集團農耕地開發事業ノ豫算ヲ計上シ特ニ素地買收費ニ對シテモ助成ノ道ヲ拓クコト

本縣ニ於ケル實績ニ徴スルニ嘗テ海軍職工ヲ大山原野ニ移住セシメ一戸當開加面積二町歩及山林、原野ヲ配シ專ラ畑經營ノ下ニ多角的農業ヲ行ヒ新農村(神田農場)ノ建設ニ成功ヲ收メツツアル現狀ニ鑑ミテ大山原野八千町歩ノ集團農耕地開發ヲ行ヒ自作農ヲ創設シ堅實ナル新農村ノ建設ニ資セムトスルモノニシテ之カ事業費並素地ノ買入代金ニ付テモ特別助成ノ途ヲ講セムトスルモノナリ之從來開加面積ノミヲ配シテ新農村建設セルニ對シソノ數倍ノ面積ノ山林、原野ヲ配シテ完全ナル有畜農業ヲ可能ナラシメ所謂多角的農業經營ノ下ニ新農村ノ安定ヲ圖ラムトスルモノニシテ從テ廣大ナル面積ノ素地ヲ要スルタメ比較的安價ナ素地買入費ト雖農家ニトツテ莫大ナル費

用ノ負擔トナリ空シク事業ノ中途ニ於テ挫折シテ初志ヲ貫徹シ能ハサルニ至ルヲ防カムトスルモノナリ

### 鳥 根 縣

#### 一、農村振興上耕地事業ノ實績

本縣ニ於ケル耕地整理ニ關スル指導獎勵ノ施設ハ常ニ政府ノ方針ニ順應シテ明治四十二年以來耕地整理職員ヲ設置シテ之カ調査、設計、工事監督及事務指導ヲ爲シ或ハ講習、講話會ヲ開催シテ斯業ニ對スル智識ノ啓發ニ努メ或ハ事業施行者ニ對シテ補助金ヲ交付スル等之カ指導獎勵ニ努メタリ爾來經濟界ノ變動ニ伴ヒ時ニ耕地事業ノ消長ハ免レサル處ナルモ大體順調ナル徑路ヲ辿リテ普及發達シ昭和十年末現在ニ於テハ耕地整理施行ノ認可ヲ受ケタル地區一千二百十八、其ノ地積一萬三千四百四十四町歩ニ達セリ然シテ之カ整理施行後ニ於ケル效果ノ農家經濟並思想上ニ及ホセルモノ大ニシテ或ハ農閑期ニ於ケル餘剩勞力ヲ資本化シテ農家ノ收入ヲ増シ或ハ從來ノ農業經營ヲ合理化シテ農家ノ支出ヲ輕減シ或ハ交通運輸ノ利便ヲ増シ用排水施設ヲ完備スル等土地ノ農業上ノ利用ヲ増進シ以テ農村生活ノ基礎ヲ確立シ小作爭議並農村ニ於ケル諸種ノ社會問題ヲ善導解消シタルコト洵ニ大ナリ

#### 農業水利改良事業

農業水利改良事業ニ付テハ大正十五年神戶川沿岸七百三十四町歩ヲ區域トスル改良事業ニ着工シ昭和三年三月竣功シタリシカ其ノ施行後ニ於ケル成績ハ如何ナル旱天時ニ際會スルモ用水施設ノ完備ニ依リ旱害ヲ蒙ルコトナク管ニ用水不足ニ因ル旱魃ノ被害ヲ一掃シタルノミナラス從前ニ於ケル水利費並農業勞力ヲ節約スルコト大ナルニ加ヘ交通運輸上ニ於テ將又災害防止上ニ於テ得タル處亦大ニシテ疲弊困憊ノ極ニ在ル農家經濟ヲ緩和シタルコト大ナルモノアリ依テ昭和七年度ニ於テハ飯梨川筋用水改良事業ニ着手シ目下工事施工中ナルモ其ノ大部分ヲ終了シ本年十二月ヲ以テ全



ク工ヲ終ル豫定ニシテ其ノ施行後ニ於ケル成績期シテ待ツヘキモノアリ

又昭和九年度ヨリ施行セル斐伊川沿岸農業水利改良事業ハ關係地域簸川郡今市町外二十二箇町村ニ跨リ其ノ總地積ハ六千四百町步ナリ本事業ハ目下施行中ニ屬スル内務省直轄事業タル斐伊川改修工事ト併行シテ工事ヲ施行スルノ要アルヲ以テ昭和十六年度ニ完成スル見込ナリ

尙昭和十二年度ヨリ簸川郡平田町外六箇村農業水利改良事業ニ着手シ引續キ同郡出東村外六箇村農業水利改良事業ヲ施行スル豫定ナリ

今神戸川農業水利改良事業ノ概要ヲ舉クレハ次ノ如シ

一、工事施行前ノ地區ノ狀況

本地域ハ簸川郡西部即チ鐵路山陰線出雲今市驛ノ西方約一里ノ地點ヲ流ルル神戸川沿岸中、古志、布智、知井宮、神西、高松、園、荒茅ノ七箇村ニ亘ル水田七百三十四町步ヲ占ム土質ハ第四紀新層ニ屬スル砂壤土ニシテ地味肥沃ナレトモ其ノ水源タル神戸川ハ上流部ニ於ケル砂鐵採取事業ノ衰頽ト共ニ逐年河床低下シ引水意ノ如クナラス粗朶堰ノ設置等ニ依リテ僅カニ引水ヲナスノ現況ニアリ然ルニ該堰ハ出水毎ニ破損セラレ年々多額ノ修繕費ヲ要シ且一度破損セラルルヤ之カ修繕期間中斷水シ稻作ノ減收ハ勿論流域一帯ノ住民ハ日常使用水涸渴等ノ危ニ會ヒ年々ノ被害額ニ萬四千圓ノ多キニ達スル狀況ニシテ各關係村ハ收支ノ均衡ヲ失シ此ノ儘放任セハ遂ニ經濟上破滅ニ陥ラムトスル現狀ニ達シタルヲ以テ關係村長ハ一致協力シテ同用水改良計畫ニ付窮狀ヲ屢々陳情セン結果農林省及縣ヨリ調査ヲ行ヒ大正十四年計畫ヲ樹立シ用排水改良事業補助要項ニ依リ大正十五年八月起工センモノナリ

二、工事施行ノ目的

神戸川ニ堅固ナル堰堤ヲ築造シ從來數箇所ニ散在セン粗朶堰及用水取入口ヲ一箇所ニ統一シ且神戸川左右兩岸ニ用水路ヲ新設シテ潤澤ニ用水ノ供給ヲ爲シ併セテ水利費ノ輕減ヲ期セムトセンモノナリ

三、計畫ノ大要

神戸川ノ水量極メテ豊富ニシテ餘水多キヲ以テ鐵路山陰線神戸川鐵橋ノ下流約百二十間ノ地點ニ於テ流心ニ對シ略直角ニ鐵筋混凝土拱形堰堤ヲ新設シ右岸耕地即チ高松、園、荒茅ノ三箇村五百六十八町步ニ對シ每秒四十二立方尺ノ用水ヲ取入レ鐵筋混凝土挿管ニ依リテ右岸堤塘ヲ横斷セシメ高松線(新設)及園線(擴張改繕)ノ幹線水路ニ依リテ耕地内ニ導水セシム又左岸地域知井宮、布智、神西三箇村百六十六町步ニ對シテハ每秒二十四立方尺ヲ取入レ鐵筋混凝土挿管ニ依リテ左岸ノ内堤及外堤ヲ横斷シ以下外堤ニ沿ヒテ流下スル開渠ヲ新設シテ耕地内ニ導水セシム今堰堤構造ノ概要ヲ示セハ次ノ如シ

種目	形狀及材料	形狀
堤	連續拱形鐵筋混凝土	三百十六尺
堰	高	六尺
水叩工	長	三十八尺
堤頂	高	最狹一尺五寸、最廣二尺
拱脚	長	二尺
堰根入	深	鐵筋混凝土壁七尺 矢板九尺 計十六尺
堰袖	長	左右兩岸三十六尺宛
堰袖厚	厚	一尺
堰袖根入	深	堤根入深ニ同シ
舟道及魚道	幅	舟道十二尺 漁道四尺



舟道及魚道勾配 十六分ノ一  
 舟道及魚道延長 九十尺  
 土砂吐 幅員三尺 深サ二尺  
 拱曲率中心角度 百二十度  
 事業費 八萬七千四百四十八圓三錢

内訳

種目	金額	種目	金額
工事費	六三、〇八四・二三	買收雜費	八七・五〇
堰堤費	四四、三三九・〇二	補償費	一三八・五七
水路費	一七、八七一・八八	事務費	六、九五三・八五
工事雜費	八七三・三三	俸給	三、一四四・五三
用地費	一六、九七一・三八	雜給	二、九七三・五四
買收費	一六、九七一・三八	雜費	八三五・七八

以上ノ如キ計畫ニ基キ二箇年繼續事業トシテ大正十五年八月堰堤工事ヨリ着手シ昭和三年三月三十一日ヲ以テ全部ノ工事ヲ完了セリ

四、實績

- (一) 事業施行地積 七百三十四町步
- (二) 工事施行ニ依リテ得タル利益

イ、直接ノ利益

- (イ) 一時的利益 一六八、五八〇・〇〇 一戸當平均 一二二九・六七
- (ロ) 永久的利益 二四、〇〇七・一九 一戸當平均 三二・八四
- (ハ) 事業費ニ對スル利益歩合

事業費	永久的利益	事業費ニ對スル利益歩合
八七、一四八・〇三	二四、一〇七・一九	〇・二八弱

ロ、間接ノ利益

- (イ) 新設並改修セシ水路及橋梁ハ殆ト鐵筋混凝土構法トナセシ結果維持管理費ヲ極度ニ輕減セシメタリ
- (ロ) 稻作病虫害發生ニ際シ驅除用水使用ニ便ナリ
- (ハ) 本地域内ニ居住スル民家ハ日常使用水ハ勿論非常時ノ消火用水等總テ本用水路ノ水ヲ使用シツツアルヲ以テ之カ水量多寡及引水施設ノ良否ハ地區内日常生活ニ重大ナル影響ヲ及ホストコロシテ之カ改善ニ依リ受クヘキ利益甚大ナリ

前述ノ如ク本事業ハ水量豊富ナル神戸川ヨリノ完全ナル引水設備ニ依リ如何ナル旱天時ニ際會スルモ關係地域内ハ何等旱害ヲ蒙ルコトナク之カ爲ニ稻作ノ狀況ハ極メテ良好ニシテ用水不足ニ依ル收穫量ノ減少ヲ來スコトナク又年々ノ修繕費ハ極メテ少額ナリシヲ以テ負擔ハ一般ニ輕減シ更ニ努力ヲ節減シ得ルヲ以テ農家ニ於ケル經濟狀態モ極メテ良好トナレリ又用水路ニ架設セル橋梁等ハ前述ノ如ク殆ト鐵筋混凝土トナリシヲ以テ修繕費殆ト不要トナリ且附近一般ニ於ケル農業上ニ於ケル交通運搬ノ便ヲ増ス等地域内ノ受クル利益ハ甚大ナリ從テ地主小作人間ノ關係モ



至極圓滿ニシテ小作争議其ノ他ノ紛争ヲ惹起スルカ如キ事絶無ニシテ他地區ノ美望スル處ナリ

開墾助成事業

開墾助成法及時局匡救事業二年量開墾補助要項ニ基キ開墾事業ヲ施行シタルモノハ昭和十年末ニ於テ地區數五十五、開田地積四百七十六町歩、開畑地積二百二十一町歩ニ及ヘリ  
右事業地區中ニハ經濟界ノ變動及不測ノ障害ヲ蒙リ經營困難ニ陥リタルモノ無キニシモ非ラサレトモ工事施行後ニ於ケル成績ハ概シテ良好ニシテ食糧ノ自給自足ヲ爲シ併セテ農閑期ニ於ケル餘剩勞力ヲ資本化シ農家收入ヲ増加スル等農村經濟ノ更生上裨益シタル處甚ク大ナリ  
斯ノ如ク開墾事業ハ本縣農村經濟更生上ニ與ヘシ利益甚大ニシテ而モ最近多角形農業經營叫ハレ耕地ノ擴張ヲ要望セラレツアル折柄本縣ニ於テハ之カ擴張見込地積一萬三千二百餘町歩ヲ存スルヲ以テ斯種事業ノ施行ニ一段ト獎勵ヲ致シ速ニ農村經濟更生上ノ實ヲ擧ケシメムトス今鹿足郡藏木村大字田野原耕地整理組合ノ狀況ヲ擧クレハ次ノ如シ  
一、工事施行前ノ地區ノ狀況

本地區ハ鹿足郡藏木村ノ東北端ニアリ總地積約四十四町歩ヲ有ス土質ヲ述フルニ底土ハ埴土ニシテ表土ハ多量ノ腐植質ヲ含ミ其ノ厚七、八寸ヨリ二尺ニ及フ地區ノ西半部ハ田及畑ヨリ成リ東半部ハ畑、山林及原野ヨリ成ル人家ニ遠キ東半部ノ畑地ハ耕作極メテ粗放ニシテ大部分ハ荒廢セリ  
地區内ニハ約四十年前以前ニ於テハ田地ハ殆ト皆無ノ狀態ナリシカ地區ノ西北方約四十町ヲ距ル地點ニ於テ深谷川ヲ堰止メ用水ヲ引キ山腹ニ用水路ヲ開墾シテ本部落ニ導キ約七町六反ノ舊田ヲ灌漑シ殘餘ノ約三十五町歩ノ地積中畑二十五町歩、山林十餘町歩存セシモ地區内農道不完全ニシテ交通運搬上ノ支障甚大ナル關係上殆ト荒廢狀態ニ瀕セシモノナリ  
二、工事施行ノ目的

本村ニ於ケル總戸數三百九十五戸、總人口一千六百七十九人存セシモ田面積ハ狭小ニシテ僅ニ九十町歩ニ過キサレ狀態ニシテ平均年々四百五十石ノ食糧米ハ他村ヨリ移入セサルヘカラサル狀態タリシモノナリ而シテ山村僻地ノ本村トシテハ特殊ノ副業或ハ産業トシテミルヘキモノ殆ト無ク本村農家ハ耕地飢饉ニ直面シ經濟上ノ危機ニ瀕セシモノナリ

依テ地形上開墾容易ナル本地區ニ於テ開田二十七町歩(内地目變換十七町九反歩)開畑三町歩ヲ施行シテ土地ノ農業上ノ利用増進ヲ圖リ併セテ本村ニ於ケル飯米ノ自給自足ヲ圖ルヲ以テ目的トシタルモノナリ

三、計畫ノ大要

以上ノ如ク畑地、山林、原野共ニ一平原ヲナシ土質比較的良好ニシテ稻作ニ適スルヲ以テ立木地ハ伐木ヲナシ木根ヲ掘取り地盤均ヲナシテ大部分ハ田トナシ東方一部ノ山林三町四反歩ハ漏水比較的多キヲ以テ畑地トナス用水ハ從來ノ井堰水路ヲ改修完備シ排水路ハ用水兼用トシ田區ノ一方ニ沿ハシメタリ  
道路ハ延長五百六十間ノ車道ヲ設ケ更ニ耕作道ハ縱横ニ設ケ交通運搬上ノ萬全ヲ期ス區劃ハ從來ノ境界ヲ利用シ長短廣狹一樣ナラサレ共地均工事費ノ低廉ト肥沃表土ノ活用ニ努メタリ

事業費 八萬二百十九圓六十一錢

内譯

種目	金額	種目	金額
創業費	一九六・二〇〇	工事費	五八、六二〇・四
創業費	一九六・二〇〇	用水本溝擴張工事費	二七、一〇六・七三四



地盤均畦畔築立工事費	二九、七六九・九五〇	事務費	四、七一三・四七七
暗渠新設費	七〇・〇〇〇	借入金利息	四、七一三・四七七
水路新設費	一五七・二〇〇	借入金利息	一六、六八九・三七七
道路新設費	五一六・六八〇	計	一六、六八九・三七七
堰堤費	一、〇〇〇・〇〇〇		八〇、二一九・六一八

四、實績

(一) 耕地擴張地積

開田地 二六・八八<sup>町</sup>  
開畑地 三・四〇

(二) 事業施行ニ依リ得タル利益

- イ、一時的利益 七〇、二九二・七四<sup>町</sup>
- ロ、永久的利益 六、二六五・一一
- ハ、事業費ニ對スル利益歩合

事業費總額	八〇、二一九・六一八	永久的利益	六、二六五・一一	利益歩合	〇・〇七八
-------	------------	-------	----------	------	-------

五、結論

以上ノ如ク耕地稀ナル本部落内ニ於テハ飯米ヲ他ヨリ移入シツツアル現狀ナリシカ耕地整理ノ施行ニ依リ開田二十  
七町歩ヲ行ヒシ結果飯米ハ他ヨリ補給ノ必要ナク灌溉施設ノ完備ニ依リ多量ノ用水ヲ必要トセル開田地ニアリテモ  
旱魃時ニ際シテ何等用水ノ不足ヲ來タスコトナク且稲作ノ狀況極メテ良好ニシテ年々收穫ヲ増加シツツアリ又道路  
ノ完備ニ依リ附近一般ニ於ケル農業交通運搬上ノ利便ヲ増大シ隨テ著シキ農業勞力ノ節減トナリ其ノ受クル利益ハ  
甚大ニシテ村内一般ニ經濟狀態極メテ良好トナレリ

然シテ本村内ニハ開田、開畑ノ豫定地ヲ有シ經濟更生計畫ト相俟テ此ノ事業ヲ施行セムトスル熱望ヲ有ス

暗渠排水事業

由來本縣ハ地勢ノ關係上排水不良ニシテ卑濕ノ土地多ク秋收ニ影響スルトコロ尠カラサルモノアリシニ付遠ク藩政時  
代ヨリ暗渠排水事業ヲ施行スル者多カリシカ耕地整理法施行ト同時ニ當初之カ指導獎勵ノ施設ヲ爲シ或ハ技術上ノ指  
導監督ヲ爲シ或ハ補助金ヲ交付シタル結果縣下耕地整理施行地ニ於テ暗渠排水工事ヲ施行セサルモノナキ狀態ナリシ  
カ大正十三年頃ニ至リ經濟界ノ變動、農産物ノ下落等ニ基因シテ其ノ施行量激減シ一時中止スルノ狀態ト爲レリ然ル  
ニ昭和七年以來國庫ノ助成ヲ受ケテ暗渠排水事業ノ施行ヲ獎勵シタル處農村經濟更生上ニ毛作田トシテ利用スルノ必  
要ト既ニ施行シタル該工事ニシテ改造時期ニ達シ急速ニ再施行ヲ必要トスルモノトニ因リ之カ施行ヲ要望スル者頗ル  
多シ之カ施行ノ結果ハ農産物ノ生産ヲ増シタルハ勿論農業勞力ヲ節減シタル等其ノ成績佳良ニシテ農村振興上ニ寄與  
シタルトコロ甚タ大ナリ今其ノ施行地區ノ狀況ヲ舉クレハ次ノ如シ

那賀郡松川村大字上津井暗渠排水施行地區

一、工事施行前ノ地區ノ狀況

本地區ハ松川村役場ノ東方約五軒ノ地點ニ位スル上津井川ノ上流ニシテ該川ニ沿ヒ細長キ形態ヲ有シ各田區落差  
〇・一五米乃至二米ニ及ヒ比較的勾配急ナリト雖從來暗渠排水事業ヲ施行セサル爲濕潤ニシテ裏作皆無ノ狀態タリ



シモノナリ

二、工事施行ノ目的

暗渠排水工事施行ニヨリ二毛作田トナシ土地利用ノ増進ヲ圖ラムトセシモノナリ

三、計畫ノ大要

本地區ヲ五區ニ分チ夫々幹線及支線ニ依リ排水口ニ惡水ヲ導クコトトセリ幹線ハ三百五十九米ニシテ徑〇・〇九米ノ土管ヲ用ヒ深サハ〇・九米トシ各田區毎ニ詰上井戸ヲ伏設シ其ノ數三十五箇所ニ及フ支線ハ二千三百米深サ平均〇・八米ニ掘下ケ粗朶ヲ敷設セリ

事業費 一千七十圓

内 譯

種 目	金 額	種 目	金 額
創 業 費	一三・〇〇	事 務 費	七・〇〇
工 事 費	一、〇五〇・〇〇	計 費	一、〇七〇・〇〇

四、實 績

(一) 暗渠排水施行地積 二町四反四畝歩

(二) 工事施行ニ依リ得タル利益

イ、一時的利益 二六八・四〇

ロ、永久的利益 一六一・〇四

ハ、事業費ニ對スル利益歩合

事業費總額	補助金	差引事業費	年々ノ利益	利益歩合
一、〇七〇・〇〇 <sup>円</sup>	五二五・〇〇	五四五・〇〇	一六一・〇四	〇・一五強

五、結 論

從來濕潤ナリシ本地區ハ補助金ヲ受ケ暗渠排水工事施行後ハ乾田トナリ麥、綠肥等ノ二毛作田トシテ利用セラルル外農業勞力ヲ節減シ又稻作ノ生育狀態極メテ佳良ニシテ爲ニ收益ノ増加ヲ來シ經濟狀態良好トナレリ然シテ本村ハ田總地積百九十一町八反歩ニシテ比較的耕地少ク加フルニ其ノ過半數ハ濕田ニシテ農業經營上困難ヲ來タシツツアリシカ當地區及縣内各所ノ實施成績ノ顯著ナルニ鑑ミ縣内ニ於ケル暗渠排水事業ノ要望實ニ大ナリ

其ノ他ノ事業

農業水利改良事業其ノ他事業カ刻下急迫セル農家經濟ヲ緩和シ農村振興ニ寄與シタル處大ナルモアリシカ區劃改正事業ヲ初メ時局匡救事業ニ依ル耕地事業等ニ於テモ農村振興ニ及ホシタル影響亦大ナルモアリ即チ早害防止ニ關スル施設、小開墾、小用排水事業等ノ起興ハ窮迫セル農民ニ普ク就勞ノ機會ヲ與ヘ其ノ勤勞ニ依リ得タル利潤ハ困窮セル農民ニ更生ノ資源ヲ得サシメタルハ勿論其ノ施行後ニ於ケル効果ハ小開墾ニ依リテ土地ノ生産力ヲ増進シ或ハ用排水施設ノ完備ニ依リ稻作ノ增收ヲ得タルト共ニ農業生産費ノ輕減シタル等農村經濟更生上齎ラセシ利益甚タ大ナルモノアリ

今各種事業ニ付其ノ狀況ヲ舉クレハ次ノ如シ

一、區劃改正

島根縣



能義郡能義村赤崎區耕地整理組合

(一) 工事施行前ノ地區ノ狀況

本地區ハ能義郡安來驛ヨリ南方ヘ縣道安來、廣瀬線ヲ去ルコト約一里即チ能義村ノ東北部ヲ占ムル一帯ノ平地ニシテ其ノ地積七十四町歩ヲ有ス地區内ニ於ケル田區ハ狹小、不整ヲ極メ耕作上ノ不便捷シク更ニ用水ハ新川ヨリ取水シ地區内ヲ灌溉スレ共總ヘテ田越灌溉ニ依ルヲ以テ不便ヲ感スルコト僅少ナラサルノミナラス利水上不利ナルコト甚シ排水ハ地區ノ中央ヲ貫流スル吉田川ニ依レトモ降雨時ニ際シ同川ノ水位上昇スルトキハ東北部ノ低地ニ滯水シ其ノ被害激甚ナリ

(二) 工事施行ノ目的

區劃整理  
灌溉排水ニ關スル施設ノ完備  
農道ノ改良  
暗渠排水ノ施設

(三) 計畫ノ大要

道路ハ地區内ニ車道ヲ四線設ケ又耕作道ハ地區内縱横ニ適宜設ケタリ區劃ハ農業狀態ニ鑑ミ短邊十二間、長邊三十間ヲ標準トシテ整理セリ水路ハ吉田川以南地區ノ上端ヨリ全用水ヲ取入レ地區内耕地ニ適宜沿ハシメタリ  
事業費 一萬七千九百五十錢  
内 譯

種 目	金 額	種 目	金 額
創 業 費	四九・三一五	土 管 費	四二・〇二〇
工 事 費	四九・三一五	種 管 費	一五・五五六
道 路 費	一三、二五五・七九〇	事 務 費	二、九〇〇・〇〇〇
水 路 費	七八九・四四〇	役 員 報 酬	一、五〇〇・〇〇〇
護 岸 費	二、四七四・四八〇	雜 費	五〇〇・〇〇〇
畦 畔 費	二、三三〇・六七〇	事 務 所 費	九〇〇・〇〇〇
地 均 費	六七四・一〇〇	借 入 金 利 子	一、七〇〇・〇〇〇
排 水 費	三、八五三・〇〇〇	借 入 金 利 子	一、七〇〇・〇〇〇
土 橋 費	二、九七八・六四四	計	一七、九〇五・一〇五
	九七・八八〇		

(四) 實 績

イ、區劃整理施行地積 七十四町歩

ロ、工事施行ニ依リ得タル利益

(イ) 一時的利益 三一、九〇九・三四<sup>円</sup>

(ロ) 永久的利益 一〇、五三二・七二

(ハ) 勞力節減ニ依ル利益 一、〇〇三・一五

(ニ) 事業費ト工事施行ニ依リ得タル利益トノ對照



(1) 事業費ト一時的利益トノ對照

事業費總額	一時的利益	差引利益
一七、九〇五・一〇五	三一、九〇九・三四〇	一四、〇〇四・二三五

(2) 事業費ト永久的利益トノ對照

事業費總額	永久的利益	利益歩合
一七、九〇五・一〇五	一〇、五三二・七二〇	〇・五八八

(五) 結論

以上ノ如ク本地區ハ能義村ノ北部ヲ占ムル耕地ノ大部分ニシテ耕地整理工事施行ノ結果道路ハ地區内縱横ニ適宜配置セルヲ以テ農業交通運搬上ノ便ヲ増スノミナラス南北ニ縱貫スル中央ノ車道ハ本村南部方面ニ通スル主要幹線ニシテ一般交通ノ用ニ供スルコト多大ナリ地區内ニ存スル吉田川ハ降雨時ニ際シテハ常ニ湛水シ稻作上種々ノ支障ヲ來タスコト多カリシカ工事ノ施行ニ依リ出水時ニ際會スルモ何等湛水スルコトナク二毛作田トシテ利用シツツアリ又用水路ハ完全ナルモノナク田越ニ依リ灌溉セシモ區劃ノ改正ト同時ニ之ニ沿ハシメ用水ノ系統ヲ統一セルヲ以テ旱魃時ニ際シテモ何等旱害ヲ蒙ルコト無ク其ノ他耕作上ニ於テモ勞力ヲ節減シ收穫量ノ増加ヲ來タシ成績極メテ良好ナルヲ以テ附近村ニ於テハ小作爭議等ノ紛争ヲ惹起スルコト多キモ本村内ニハ絶無ニシテ土地價格ニ於テモ他村ニ比シ百圓乃至二百圓ノ上騰ヲ示シツツアルヲ以テ農家ノ經濟狀態極メテ良好ナリ

斯ノ如ク施行後ノ成績良好ニシテ縣下耕地整理施行地ノ模範地區ナルヲ以テ昭和十年度ニ於テ島根縣耕地協會ヨ

リ表彰ヲ受ケタルモノナリ

二、小開墾事業

能義郡荒島村大字久白地區

(一) 工事施行前ノ地區ノ狀況

本地區ハ山陰線荒島驛ヲ去ル南方二十町ノ地點ニ位スル能義郡荒島村大字久白部内ニ在リ其ノ關係箇所二十三、總地積十五町歩ヲ有ス地形甚タ複雑ニシテ平坦地ハ小區劃ニ分割サレ地質ハ第三期層ニ屬シ土質ハ壤土ニシテ表土四、五寸ヲ有シ地味可良ナリ

道路ハ大字久白ノ中央部ヲ縱貫スル車道アリテ國道ニ連絡シ交通運搬ノ便良好ナリ

本地域ハ稻作ヲ本業トシ一戸當耕作段別ハ平均一町歩内外ニシテ比較的大ニシテ又副業トシテ養蠶、果樹栽培等ヲナス爲經濟狀態可良ナリ

然シテ最近附近ニ於テハ果樹栽培熱ノ起ルヤ久白部内附近ノ山林ハ總テ土質良好ニシテ畑トシテ利用スルニ最好適ナルヲ以テ傾斜緩ナル部分ハ桑園又ハ竹林トシ傾斜急ナル部分ハ果樹園トシテ利用スヘク計畫ヲ樹立シ各種補助ノ途ヲ得テ事業ニ着手セリ

(二) 工事施行ノ目的

山林ヲ開墾シテ畑トナス

(三) 計畫ノ大要

本地域ノ開墾ヲ爲サムトスル所ハ殆ト傾斜セル山林ニシテ松、雜木等密生スルヲ以テ之ヲ伐採シ畑トシ桑園、竹林、果樹園トシテ利用ス

事業費 一萬九百六十九圓



種 目	金 額	種 目	金 額
工 事 費	一〇、三四八 <sup>円</sup>	計	一〇、九六九 <sup>円</sup>
事 務 費	六二一		

(四) 實 績

耕地擴張地積 畑地 十五町步

工事施行ニ依リテ得タル利益

イ、一時的利益 六〇、〇〇〇<sup>円</sup>

ロ、永久的利益 八、二五〇<sup>円</sup>

ハ、事業費ト工事施行ニ依リテ得タル利益トノ對照

(イ) 事業費ト一時的利益トノ對照

事 業 費	一 時 的 利 益	差 引 利 益
一〇、九六九 <sup>円</sup>	六〇、〇〇〇 <sup>円</sup>	四九、〇三一 <sup>円</sup>

(ロ) 事業費ト永久的利益トノ對照

事 業 費	永 久 的 利 益	事 業 費 ニ 對 ス ル 利 益 歩 合
一〇、九六九 <sup>円</sup>	八、二五〇 <sup>円</sup>	〇・七五

(五) 結 論

本地区ハ前述ノ如ク農業勞力ノ餘力ト附近ニ於ケル果樹栽培熱トニ起因シ部内殆ト全部ハ企業スル状態トナレリ而シテ附近山林ハ小地積ノモノ多キカ故ニ着手以來一年乃至二年ニシテ工事ヲ完了セシモノ多シ完了後ハ直チニ栽植ニ着手シ銳意努力セシ結果昭和十年年度ニ於テハ左ノ如キ成績ヲ擧ケタリ

種 目	箇 所 數	擴 張 地 積	收 量	收 入 額	備 考
小 開 墾	二三	一五 <sup>町</sup>	六五、三四六 <sup>貫</sup> ・〇〇	四、七八一 <sup>円</sup> ・〇〇	果物ハ梨、桃等

右ノ通ニシテ之カ販路ハ京都、大阪、神戸、下關、門司等ニシテ未タ日尙淺ク爲ニ十分ナル聲價ヲ發揮シ得サレトモ品質優良ニシテ美味ナルコトハ郡内隨一ニシテ今尙益擴張改良ニ努力シ販賣統制ノ爲ニハ出荷組合ヲ設ケ又縣ニ於テモ其ノ必要ヲ認メ果樹指導園ノ設置ヲ爲ス等今後ノ事績ハ見ルヘキモノアリト思惟ス故ニ附近ニハ小作爭議等ノ紛争ヲ惹起スルモ本村内ニハ皆無ニシテ經濟状態ハ益良好トナリ本事業ノ農村振興上益スルコト甚大ナリ

三、小設備事業

安濃郡富山村山中耕地整理組合

(一) 工事施行前ノ地區ノ狀況

島 根 縣



本地區ハ山陰線波根東驛ヲ去ル東南八軒ノ地點ニ位スル安濃郡富山村大字山中ニ在リ  
 總地積四十二町歩ヲ有スル極メテ不規則ナル圃地ニシテ土質ハ第三期層ニ屬シ心土ハ粘土層、表土ハ埴土ニシテ  
 保水力強シ本地區用水源ハ地區内ニ點在スル小溜池ニ依ルノ外ハ殆ト各谷間ノ溪流ヲ引水シ又ハ全クノ自然水ヲ  
 利用シツツアルモ旱魃時ニ際シテハ用水ノ不足ヲ來タシ收穫ノ減少ヲ來スコト不尠  
 尙本村ハ一般ニ平坦地少ク起伏凸凹甚ク不規則ナル土地ニシテ區劃又狹小耕作上ニ不便ナルノミナラス完全ナ  
 ル農道少キヲ以テ農業經營上多大ノ勞力ヲ要セシモノナリ  
 斯ノ如キ狀態ニアルヲ以テ一般農家ノ經濟狀態惡シク小作爭議等ノ紛争ヲ惹起シ疲弊ノ一途ヲ辿ラムトスル狀態  
 ニアリタリ

依テ村ニ於テハ經濟更生計畫ノ一部タル旱害施設事業ヲ縣ノ補助ヲ得テ施行スルコトニ決定シ昭和九年度ヨリ工  
 事ニ着手セリ

(二) 工事施行ノ目的

溜池ノ新設ヲナシ用水ノ補給ヲ爲ス  
 前項ニ伴ヒ用水路ノ新設ヲ爲ス  
 以上各項ニ伴フ附帶工事

(三) 計畫ノ大要

本地區ハ各年旱魃ノ被害ヲ蒙ルコト尠カラサル現狀ニアリ依テ地區ヲ二地區ニ分チ地區毎ニ溜池ノ新設ヲナシ之  
 カ不足用水ノ補給ヲ圖リタリ  
 水路ハ新設又ハ溜池ヨリ幹線用水路ヲ以テ地區ニ導水スルモノナリ  
 事業費 二萬六千百圓

内譯

科 目	總 額	内 訳	
		第 一 區	第 二 區
工 事 費	一九、二二〇・〇〇	一一、三二〇・〇〇	七、九〇〇・〇〇
溜 池 費	一七、七一〇・〇〇	一〇、八一〇・〇〇	六、九〇〇・〇〇
水 路 費	一、五一〇・〇〇	五二〇・〇〇	一、〇〇〇・〇〇
事 務 費	二、〇〇〇・〇〇	一、二〇〇・〇〇	八〇〇・〇〇
用 地 費	四、三九〇・〇〇	四、一九〇・〇〇	二〇〇・〇〇
豫 備 費	四九〇・〇〇	二九〇・〇〇	二〇〇・〇〇
計	二六、一〇〇・〇〇	一七、〇〇〇・〇〇	九、一〇〇・〇〇

(四) 實 績

地區ノ總地積 四十二町歩

工事施行ニ依リテ得タル利益

(イ) 一時的利益 二九、四一九・三<sup>円</sup>

(ロ) 永久的利益 四、一九〇・六五

(ハ) 事業費ト工事施行ニ依リテ得タル利益トノ對照



區名	事業費	永久的利益	利益
第一區	一七、〇〇〇・〇〇 <sup>円</sup>	二、八四四・三四 <sup>円</sup>	一割七分弱
第二區	九、一〇〇・〇〇	一、三四六・三一	一割四分強

間接ノ利益

用水トシテ利用スル外非常時ノ消火用水ニ又養魚池トシテ使用ス

(五) 結論

前述ノ如ク本地區ハ旱天時ニ際シテハ用水ノ不足ヲ來タシツツアリシカ溜池ノ新設ニ依リ用水ハ潤澤トナリ夏季ノ旱天時ニ際會スルモ何等不足ヲ訴フルカ如キコトナク隨テ旱魃被害ハ完全ニ除去セラレ物質上並精神上得クル利益ハ實ニ甚大ナルモノナリ

又旱害對策事業トシテ施行セル同村內ニ於ケル他ノ二組合モ共ニ其ノ成績頗ル良好ニシテ從來用水不足ニ起因シ小作爭議其ノ他ノ紛争アリシモ其ノ地域ニ於テハ全ク跡ヲ絶チ加フルニ經濟狀態頗ル好轉シツツアリ

本村ハ經濟更生指定村ニシテ各種更生ノ計畫ヲ樹立シシ之カ實行中ニアルモ就中耕地ノ擴張改良事業ニ付テハ特ニ留意シ經濟更生ノ實ヲ耕地事業ニ期セムトスル實狀ニアリ

殊ニ全村殆ト平坦地少ク凸凹起伏シ水源ハ谷間ノ湧出水及溜池ニヨリテ各關係耕地ヲ灌溉シ居ル狀態ナレハ百尺竿頭更ニ一步ヲ進メ村內耕地ノ水利統制ヲ企畫シ村內全耕地ノ旱害ヲ完全ニ除去シ更ニ餘剰水ヲ以テ開墾ヲ行ヒ更生ノ完ヲ期セムト所謂農村計畫ノ樹立中ニ屬ス

上述ノ如ク經濟更生上ノ成績極メテ優良ナルヲ以テ昭和十年度ニ於テ表彰ヲ受ケ更ニ本年度ニ於テハ全國ニ於ケ

四、小用排水事業

ル經濟更生村中其ノ成績最優秀ナルモノトシテ最高賞ノ表彰ヲ受ケタリ

能義郡安來町今村小用排水施行地區

(一) 工事施行前ノ地區ノ狀況

本地區ハ安來町今村部落附近一帶ニシテ伯太川ト吉田川トノ中間及吉田川ノ左岸ニ在リ

地區內ハ一般ニ平坦ニシテ南方ハ安來町、加茂及赤江村切川ニ接シ、北方ハ國道(第十八號路線)ヲ隔テテ大字飯島ニ界シ東方ハ伯太川堤塘ヲ以テ限ラレ西方ハ赤江村切川ニ連ル略正方形ノ地區ニシテ地積ハ田地約三十五町歩ヨリ成ル

本地區ハ位置、地勢、交通等現下農業經營地トシテ極メテ好條件ニ惠マレタリト雖灌溉施設ノ不備ニ對シテハ連年苦シキ體驗ト努力ノ濫費トノ多大ノ不利ヲ蒙ルル狀態ナリ

(二) 工事施行ノ目的

混凝土井堰ヲ設置シ灌溉施設ノ完備ヲ圖ル

(三) 工事施行計畫ノ大要

本地區ニ於ケル用水源ハ地區ノ中央ヲ流下スル吉田川ナリ本川ハ飯梨、伯太、兩川ノ灌溉區域ノ排水路ニシテ其ノ流出水極メテ豊富ナリ

舊來ノ木造樋門ハ構造粗雜ナルニ加ヘ架設後數十年ヲ經過シ漏水甚シク灌溉ノ目的ヲ十分達セサル爲之ヲ混凝土井堰ニ改築シタリ次ニ井堰各部ノ形狀、大サヲ示セハ次ノ如シ

井堰ノ形式 角落シ可動堰

井堰ノ大キサ 幅一・九一米、堰上高二・〇五米ノモノ十連



上流護床 長一・五米ヲ厚三十五種ニ混凝土張トス  
 下流護床 長十米ヲ厚三十五種ニ混凝土張トス  
 止水施設 上下流ニ深一米ノ混凝土阻水壁ヲ設クル外角落堰直下ニ長三米ノ木矢板ヲ打込ミタリ  
 護岸 混凝土壁ヲ護床部分ノ兩側ニ設ケタリ  
 基礎 方一米毎ニ長四米末口十二種ノ地杭ヲ打込ミ敷砂利ヲ厚三十五種ニ搗込ミタリ  
 堰板閉閉ニ對スル施設 角落支柱ヲ一本毎ニ太ク作り橋脚化シ上部ニ幅一米ノ混凝土橋ヲ架セリ  
 事業費 七千二百十圓五錢

種目	金額	種目	金額
創設費	一七三・六四 <sup>円</sup>	事業費	一、七三六・四一 <sup>円</sup>
工事費	五、三〇〇・〇〇	計	七、二一〇・〇五

(四) 實績

- 一、事業施行地積 三十五町步
- 二、工事施行ニ依リテ得タル利益
  - (イ) 永久的利益 八九〇圓
  - (ロ) 事業ト工事施行ニ依リテ得タル永久的利益トノ對照

事業費	永久的利益	事業費ニ對スル利益歩合
七、二一〇・〇五 <sup>円</sup>	八九〇・〇〇 <sup>円</sup>	〇・一二三

(五) 結論

本地區ハ從來灌溉期ニ至リテハ用水設備ノ維持管理ニ年々多額ノ費用ト勞力ヲ費セシモ時局匡救耕地擴張改良事業助成金ノ交付ヲ受ケテ事業ヲ施行シ工事完了後ハ本井堰ニ依リ取入レタル用水ハ兩岸ニ埋設セル暗渠ニ依リ各用水路ニ導水セラレ右岸ハ伯太川堤ニ沿ヒテ流下シ左岸亦頭無川及各用水井手ニ依リ導水セラレ滯リナク各田區ニ配給セラル

以上ノ如ク本事業施行後八年々ノ修繕費ハ著シク僅少トナリ又灌溉ノ爲ニ要スル勞費ノ節減精神上ノ苦痛ヲ一掃シ随ツテ水争等ヲ惹起スルコトナク又用水不足ニ依ル收穫ノ減少ヲ來スコトナキヲ以テ經濟狀態著シク良好トナレリ尙本町耕地ノ大部分ハ河川ヨリ引水シ井堰等ノ不完全ナルモノ多キヲ以テ斯種ノ事業ヲ國及縣ノ補助ヲ得テ施行シ用水施設ノ完備ヲ圖リ水争ヲ防止セムトスルハ一般町民ノ深ク要望スル處ナリ

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

近時各種社會問題頻發シ益擴大ノ狀態ニ在ルモ社會生活上ノ不安殊ニ農村社會ニ於ケル生活不安ニ基因スル事件ノ頗ル多キハ良ク統計ノ明ニスル處ニシテ各種耕地事業カ小作階級ノ農民ヲ潤ホシ是等事件ノ解決又ハ未然防止ニ關シ重要ナル要素クリシモ亦過去ノ實績ニ徴シテ瞭ナリ耕地事業ハ各般ノ意味ニ於テ國民生活ノ安定向上ノ爲施設セラル可キ一ノ社會政策ニシテ當然積極的ニ實施セラル可キモノト信ス尙耕地ハ必須ノ食糧生産ノ根源タルノミナラス國家財源ノ中重要部門ノ基幹タルヲ以テ各個人ノ私有タリト雖大局ヨリ論スレハ國家ノ重要ナル財産ト解ス可キヲ以テ是カ維持管理乃至増殖ニ關スル事業ハ國家自ラ之ヲ爲シ或ハ直接所有者ニ命シテ之ヲ爲サシムル等ノ積極的方策ニ出ス可キモノト信ス依テ各種耕地事業ハ國是トシテ全額國費ヲ以テ先ツ根本的ニ綿密ナル調査ヲ確立シ同時ニ強力ナル農業水利法ヲ制定シ然後積極的ニ實施ス可キヲ前提根幹トシ將來ノ指導方針ヲ研究セムトス

基本調査ハ即チ所謂現行ノ農村計畫ニシテ要スレハコレニ關スル法令ヲ制定シ從テ耕地整理法及開墾助成法等ハ之ヲ



改正シテ強力化シ計畫實施ニ際シテハ收支計算等ノ經濟的觀念ヲ緩和シ眞ニ必要不可缺ノ事業タルコトヲ諸般ノ分野ニ立脚シテ認識シ然ル後過去ニ於ケル獎勵の方針ヲ放レテ半強制的ナル指導の方針ヲ以テ事業實施ニ當ルヲ妥當ナリト信ス

### 岡山縣

#### 一、農村振興上耕地事業ノ實績

本縣ニ於テハ明治三十六年以來實施中ノ耕地整理事業ヲ始トシ用排水幹線改良、開墾、暗渠排水事業及昭和七年度ヨリ昭和九年度迄ニ施行シタル時局匡救農業土木事業昭和九年、同十年ノ水害復舊事業ヲ施行シ農事改良ノ根本タル耕地ノ改良擴張ヲ計リ農村振興上多大ノ實績ヲ擧ケツツアリ

#### 一、用排水幹線改良事業

本事業ハ耕地改良ノ根本ヲナスモノニシテ農村振興上最重要ナル事業ナリ本縣ニ於ケル用排水幹線改良事業ハ大正十三年以來實施中ニシテ何レモ顯著ナル成績ヲ擧ケツツアリ之レカ施行箇所數、關係地積及事業費並實例ヲ示セハ次ノ如シ

種別	箇所數	關係地積	事業費
工事済ノ事業	五	三、〇六〇・六八〇〇	一、一〇六、九五三・〇一
工事中ノ事業	四	四、八二九・〇四二四	一、一八三、六〇〇・〇八
計	九	七、八八九・七二二四	二、二九〇、五五三・〇九

#### 農村振興上効果アリタル用排水改良事業ノ實例

- 一、事業名 勝田郡鹽手池支配地域用水改良事業
- 二、受益地積 五百六十二町歩
- 三、事業費 總額三十九萬圓

費目	豫算額	費目	豫算額
溜池工事費	二九七、〇〇二・〇〇	事務費	三〇、九〇八・〇〇
溜池敷地買收費	四七、三四六・〇〇	計	三九〇、〇〇〇・〇〇
同補償費	一四、七四四・〇〇		

#### 四、事業着手及終了ノ時期

自大正十三年度 五箇年間  
至昭和三年度

#### 五、事業施行前ノ狀況

本地域ノ耕地ハ事業施行前ニハ廣戸川ノ流域一千六百九十町歩ノ流去水ヲ主トシテ利用シタルモ集水地域ノ勾配急峻ナルト山相ノ大部分草生地ナルタメ流去量長期間永續セス又地區内耕地滲透性ニ富メルタメ用水ノ不足ヲ免レサリシ所ニシテ平均反當ノ減收量三斗ニ及ヘリ

#### 六、計畫ノ大要

廣戸川ノ河水ヲ貯溜スルタメ鹽手池ヲ増築シ之ニ依リテ十四萬立坪ノ貯水増加ヲ計リ地區内ノ不足用水ヲ補給ス



ルト共ニ地方團體ノ事業トシテ要所ニ水路ヲ配置シ全地區ニ亙リ用水充實ヲ計ルコトトセリ  
七、事業施行ノ結果農村振興上ニ及ホシタル効果

(一) 土地價格ノ増進ニ依ル利益ヲ得タリ

本地區内ニ於ケル田ノ價格施行前ニ於テハ反當五百圓ナリシカ工事後ニ於テハ六百圓トナリ平均反當百圓ヲ増加セリ之ヲ全地區ノ田五百六十二町歩ニツキ算出スル時ハ五十六萬二千圓ノ土地價格ノ増進ヲ來セリ

(二) 維持管理費ヲ節減セリ

工事施行前後ノ反當水利費ヲ比較スルニ施行前ノ一圓二十錢ニ對シ施行後六十錢トナリ費用半減セリ

(三) 農作物ノ增收ヲ來シ同時ニ米質向上セリ

田一反歩ノ工事前收量二石二斗、工事後收量二石四斗ニシテ反當二斗ノ增收ヲ來セリ之カ全地區ノ田五百六十二町歩ニツキ見ルトキ一千二百二十四石ノ增收トナリ又用水潤澤トナリタルタメ米質向上シ検査等級平均一等級ニ昇リ地區外米ト比較シ石當五十錢ノ開キアリ

(四) 水利統制ノ結果溜池ノ廢止ヲナシ利用土地ヲ増加セリ

今廢止ヲシテ之ヲ田トシタル溜池及其ノ地積ヲ示セハ左ノ如シ

溜池名	地積
二 松 池	三・一町
天福寺池	二・八町
辨才池	二・四町
計	八・三町

(五) 勞力ノ節約ニ依リ之ヲ他ノ副業ニ利用シ得ルニ至レリ

今事業後ノ各種副業ニ依ル利益ヲ示セハ左ノ如シ

種 別	一 戸 當 利 益	農 家 戶 數	總 收 益	摘 要
養 鯉	一三・五〇	三八〇戶	五、一三〇	一戸當田三反歩ニ實施セリ
養 畜	五〇・〇〇	三五〇	一七、五〇〇	
自給肥料及採草	二〇・〇〇	一、〇〇〇	二〇、〇〇〇	
計			四二、六三〇	

(六) 水利ノ紛争ヲ一掃シ安シテ耕作ニ從事スルニ至レリ

事業施行前ニハ灌溉ニ際シ水利ノ紛争常ニ絶ヘス或ハ暴力ヲ用ヒ或ハ法廷ニ立ツカ如キ不祥事件多カリシモ事業終了後ニ於テハ水争議ノ跡全ク根絶シ安シテ従業スルニ至レリ

二、開墾事業

大正八年開墾助成法發布以來之ニ依リ指令ヲ受ケタルモノ百五十五地區、地積二千八百二十五町歩、内工事済ノ地積一千八百五十九町歩、昭和七年時局匡救事業トシテ施行シタルモノ一千九百三十一箇所、地積三百三十三町歩ニシテ大ニ農村振興ノ實ヲ擧ケツツアリ之カ實例次ノ如シ

三、耕地整理事業

本縣ニ於テ明治三十六年一箇所耕地整理施行ノ認可ヲ得同年度ニ工事ニ着手シタルヲ初メトシ明治三十九年度ヨリ勸業課ニ耕地整理係ヲ置キ爾來一層指導獎勵ノ結果現在迄ニ組合設立及施行ノ認可ヲ得タル地區數八百五十五、其ノ地積二萬二千二百四十一町歩ニ達シ農村振興上大ニ實績ヲ擧ケツツアリ



農業振興上効果アリタル開墾及耕地整理事業ノ實例

一、事業名 久米郡稻岡南村誕生寺耕地整理組合

二、關係地積 五百四町三反歩

内 開墾又ハ變換ニ依ル開田 一、一七、七、五町  
開墾又ハ變換ニ依ル開田 一、二七、二、二町  
用水補給ヲ得タル舊田 一、五七、七、八町  
國有地其ノ他 二、〇六、六、八町

三、事業費 總額百萬一千九十九圓

費目	豫算額	費目	豫算額
工事費	八六一、九七四・〇〇	豫備費	八、三九〇・〇〇
買収費	六一、九七九・〇〇	事務費	六七、二四二・〇〇
補償費	一、五〇五・〇〇	計	一、〇〇一、〇九〇・〇〇

四、事業期間

自大正十三年度 十二箇年

至昭和十一年度

五、事業施行前ノ狀況

本地區ハ水源ヲ大部分溜池ニ求メ其ノ他ハ溪流水、湧水、天水等ニ依リ灌溉サレツツアリシモ其ノ地積ハ極メテ僅少ニシテ溜池貯水ノ増加ヲ切望シツツアリキカカル状態ナリシヲ以テ毎年舊田ノ旱害ヲ受クルモノ多ク平均減収反當四斗ニ及ヘリ

又一方本地方ニ於テハ農家一戸當ノ耕作反別ハ平均田八反歩、畑二反歩ナリト雖土地山間地ナル爲他ニ適當ナル副業ナク一般ニ勞力ニ餘剰ヲ生シツツアリタリ

六、計畫ノ大要

本地區ノ事業ヲ大別スレハ左ノ如シ

- (一) 開墾及地目變換ヲナシ開田百十七町歩五反、開畑二十二町二反歩ヲ擴張スルト共ニ舊田ニ用水ヲ補給ス
- (二) 舊田ノ補水及開田給水ノタメ關係溜池大小二十個ノ新築及増築ヲ行フ
- (三) 前記溜池ヲ充實セシムル爲承水溝十七線ヲ設置ス
- (四) 耕作ノ利便ヲ計ル爲主要幹線農道四線ヲ新設シ之ヨリ分岐シテ小農道ヲ設置ス
- (五) 配水ノ迅速及漏水ヲ少ナカラシムルタメニ數十線ノ水路ヲ新設又ハ改修ス

七、事業施行ノ結果農村振興上ニ及ホシタル効果

(一) 土地價格ノ増進ニヨル利益ヲ來セリ之ヲ表示スルコト次ノ如シ

地目	整理前			整理後			差引増額	附記
	面積	單價	金額	面積	單價	金額		
舊田	一、三九九・〇六反	四〇・〇〇	五五、一、七五・〇〇	一、三九九・〇六反	七〇・〇〇	九六、〇、〇九・〇〇	四〇、八二〇・〇〇	舊田價格増進ニ依ル利益
畑	五、四八二	一〇〇・〇〇	五四、八二〇・〇〇	五、四八二	七〇・〇〇	三八、一、三三・〇〇	一六、七〇七・〇〇	
開原	五、九九八	六〇・〇〇	三、三、八八・〇〇	三、三、九九	七〇・〇〇	二、三、一八・〇〇	九、七〇〇・〇〇	
山	九、八八四	六〇・〇〇	五、九三〇・四〇	九、八八四	七〇・〇〇	六、九一八・八〇	一、〇八八・四〇	
野								
林								
計								



(一) 農作物増收ノ利益ヲ來セリ之ヲ表示セハ次ノ如シ

整	理	前		後		差引利益	附記
		積	反當利益金	積	反當利益金		
宅地	六・九二反	五〇〇・〇〇	三、四三三・〇〇	六・〇〇反	二〇〇・〇〇	一、七六六・〇〇	開墾ニ依ル 價額増進ニ 依ル利益
道路	〇・三〇	—	—	〇・三〇	—	—	
荒地	五〇・二六	一〇〇・〇〇	三、九六〇・〇〇	五〇・二六	七六〇・〇〇	二五、九二・〇〇	開墾ニ依ル 價額増進ニ 依ル利益
小計	—	—	—	—	—	—	
計	二、九二・一六	—	七、四〇三・〇〇	二、四九・二四	—	一、七三三、〇八・〇〇	

整	理	前		後		差引利益	附記
		積	反當利益金	積	反當利益金		
舊田	一、三六六・〇〇	—	四〇、七九七・〇〇	一、二九七・〇〇反	五〇・〇六	六四、〇五〇・〇〇	舊田増收利 益
小計	—	—	—	—	—	—	
開墾	五五五・〇二	三・八〇	二、〇四二・〇〇	五五五・〇二	五〇・〇六	二七、三三三・七四	開墾ニ依ル 價額増進ニ 依ル利益
宅地	六・九二反	三・八〇	—	六・〇〇反	五〇・〇六	三四〇・〇〇	
山林	五九・〇六	一・五〇	—	五九・〇六	五〇・〇六	一六、三三九・〇四	開墾ニ依ル 價額増進ニ 依ル利益
原野	九・八四	—	—	九・八四	五〇・〇六	三四〇・〇〇	
道路	〇・七〇	—	—	〇・七〇	五〇・〇六	四四・五九	開墾ニ依ル 價額増進ニ 依ル利益
荒地	三九・二六	—	—	三九・二六	五〇・〇六	一八・五三	
計	二、九二・一六	—	四四、七七一・〇〇	二、四九・二四	—	一、九六五・〇五	

小計	計	開墾ニ依ル 増收利益
一、三三・六	二、九二・一六	四四、三三三・〇〇
二、四九・二四	二、四九・二四	四、三三三・〇〇
—	—	六、〇四七・七

(三) 農業經營ノ多角合理化ヲナシ努力ヲ最良好ニ利用シ得ルニ至レリ

即チ從來ノ耕作ハ主トシテ米及麥作ニシテ其ノ間適當ナル副業ナカリシ爲勞力ヲ徒消シツツアリシカ今日ニ於テハ各種ノ作物ヲ栽培シ農業經營ノ様式最合理的トナリツツアリ

(四) 開墾移住ノ爲農家戸數ヲ増加シ農村ノ繁榮ヲ來セリ

本事業施行ノ結果一般農家ノ耕作反別ノ不足ヲ補ヒ收益ヲ増シ民心ノ安定ヲ來セル外昭和四年度以來同七年度迄ニ新ニ開墾移住ヲナシタルモノ三十一戸ニ及ビ何レモ結果良好ニシテ農村ノ繁榮ヲ來セリ

四、暗渠排水事業

本事業ハ大正十年ヨリ補助豫算ヲ置キ獎勵ノ結果現在迄ニ施行シタル箇所數八千二十六、地積三千二百八十七町步事業費七十四萬五千四十四圓ニ達セリ本事業ハ比較的工費低廉ニシテ効果顯著ナル爲從來縣下各地ノ施行實績良好ナルニ鑑ミ施行希望者續出ノ現状ナリ今其ノ實例ヲ示セハ次ノ如シ

農村振興上効果アリタル暗渠排水事業ノ實例

- 一、事業名 赤磐郡吉岡村宗堂耕地整理組合
- 二、施行地積 十七町九反六步
- 三、事業費 五千八百圓 費用豫算總額

内 譯



費目	豫算額	費目	豫算額
創業費	五〇・〇〇	排水明渠費	五六六・〇〇
事務所費	二〇〇・〇〇	豫備費	五〇〇・〇〇
排水幹渠費	一、一七〇・〇〇	計	五、八〇〇・〇〇
排水暗渠費	三、三一四・〇〇		

四、事業着手及完了ノ時期

工事着手 大正六年七月五日  
工事完了 大正七年五月二十日

五、事業施行前ノ狀況

本地区ハ赤磐郡(備前國)ノ南端ニ位シ山陽線萬富驛ヲ距ル西方約十五町ノ位置ニアリ  
地區ハ鐵道線路ヲ中央ニ挟ミ稍々方形ヲナシ南北西ノ三方ハ高臺地ニシテ東方ニ向テ低下セリ  
關係地域ハ大字宗堂地内宇新田ノ低地ニシテ地勢ノ關係上地區全般ニ亘リ低濕ニシテ表作トシテ水稻ヲ栽培スル  
ノミニシテ全然裏作不能ノ狀況ニアリタリ

六、計畫ノ大要

完全排水ヲ行ヒ以テ濕田ヲ二毛作地ニ改良セシムルモノトス即チ鐵道線路ト交叉シテ地區ノ略中央ヲ貫流セル新  
田溝(地方ニ於ケル呼稱)ヲ以テ地下水並地上水ヲ排除スル排水幹渠トナス  
排水組織ハ單區排水法又ハ連區排水法ニヨリ各田區ニ一線或ハ二線ノ暗渠ヲ伏設シ單區排水ニヨルモノハ其ノ末

端ヲ直接明渠(新田溝)ニ開口シ連區排水法ニ依ルモノハ之ト直角ニ設クル集水渠ニ連絡シ其ノ末端ヲ明渠ニ開口  
ス尙別途ニ地區ノ周圍ニ承水暗渠ヲ伏設シテ排水ノ効果ヲシテ一層適確ナラシムルコトトス  
七、事業施行ノ結果之カ農村振興上ニ及ホシタル効果

(一) 生産上ノ効果

(イ) 二毛作ニ依ル利益

整理前ニ於テハ裏作不能ニシテ紫雲英ノ如キ綠肥栽培ヲ行フモノサヘ皆無ノ狀況ナリシモ整理ノ結果乾田ニ  
改良セラレ全地域ニ對シ小麥ノ作付可能トナリナイニ農家ノ經濟ヲ緩和セリ收支ノ概要左ノ如シ

地目	整理前			整理後			差引利益	附記
	積	反當利益計	金	積	反當利益計	金		
田	一七九、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一七九、〇〇〇	一五、一〇〇	二、七〇一、六〇〇	二、七〇一、六〇〇	整理前ハ一毛作ニテ裏作ナシ

(ロ) 米質ノ向上並增收ニヨル利益

土地改良ノ結果米質可良トナリ生産等級平均一上位トナリ米價向上セリ尙整理前ノ反當收量ニ比シ大體二  
割程度ノ增收ヲ來シ兩々相俟テ收入ノ増加ヲ來セリ

地目	整理前			整理後			差引利益
	積	反當利益計	金	積	反當利益計	金	
田	一七九、〇〇〇	一一、〇〇〇	一、七三三、〇〇〇	一七九、〇〇〇	三三、五〇〇	五、一〇〇、〇〇〇	二、三三三、〇〇〇

(二) 土地價格増進ニヨル利益



整理前ニ在リテハ隣接地區外田地ノ賣買價格ニ比シ遙ニ下位ニアリシモ現在ハ地位轉倒シ最近ニ於ケル賣買價格ハ地區外田反當八百圓ニ對シ地區内田地ハ九百圓ニテ取引セラレ土地價格著シク騰貴セリ即チ左表ニ示ス如シ

地目	整理前		整理後		差引増進價格
	積	平均價格計	積	平均價格計	
田	1,900,000	500.00	1,900,000	200.00	21,000.00
		500.00	1,900,000	200.00	21,000.00
		500.00	1,900,000	200.00	21,000.00

(三) 其ノ他ノ利益

(イ) 部落ノ融和ヲ計リ共同精神ヲ涵養セリ

(ロ) 勤勞ノ美風ヲ養成セラレ近時一般農家經濟狀態向上シ納稅成績可良トナレリ

(ハ) 稻藁、麥稈ノ生産増加ニヨリ自給肥料ノ増加ヲ來シ購入肥料ヲ減スルヲ得タリ

五、災害耕地復舊事業

(一) 昭和九年災害耕地復舊事業

昭和九年災害ニ依ル耕地復舊豫定地積二千三百九十一町歩、事業費二百八十七萬六千八百八十七圓、公共施設復舊ヲ要スルモノハ井堰、溜池、掛樋、暗渠、橋渠、樋門、伏越、揚水機ノ箇所數合計四千三百六十四箇所、道路、水路、護岸、堤塘ノ總延長二十萬三千二百七十二間、事業費五百七十五萬六千四百四十二圓ニシテ昭和九年ヨリ昭和十四年迄ノ繼續ヲ以テ施行中ナリ

(二) 昭和十年水害耕地復舊地積九十六町歩、公共施設復舊ヲ要スルモノ井堰、溜池、掛樋、橋渠、暗渠、樋門、樋管、伏越ノ箇所數合計三百八十七箇所、道路、水路、隧道ノ總延長二萬八千八百八十三間、事業費六十四萬

二百圓ニシテ昭和十年、同十一年ノ二箇年繼續ヲ以テ施行中ナリ

以上ノ如ク昭和九、十兩年ニ互リ災害ヲ受ケ被害激甚ヲ極メタルモ極力指導獎勵ノ結果豫期以上ノ進捗ヲ來セリ今災害復舊ニ際シ農村振興更生ヲ計リツツアル實例ヲ示セハ次ノ如シ

農村振興更生ヲ期シツツアル災害復舊事業ノ實例

一、事業名 赤磐郡石生村災害復舊事業

二、受益地積

昭和九年災害	耕地 六・一・二
	耕地 四一七・〇〇
昭和十年水害	耕地 三一六・八〇
	耕地 三九六・八〇

三、事業費

昭和九年災害	耕地 六・一・二	事業費 二、八七三圓
	耕地 四、〇六三間(一箇所)	事業費 六、三八二圓
昭和十年水害	耕地 五、一六・〇八	事業費 二二、六四四圓
	耕地 五、四五五間(八箇所)	事業費 三九、〇九七圓

四、事業期間

昭和九年災害	耕地 昭和十四年度完了豫定
	耕地 昭和十一年度同
昭和十年水害	耕地 昭和十一年度同
	耕地 昭和十一年度同

五、事業施行前ノ狀況

(一) 昭和九年災害ハ同年九月二十一日ノ大豪雨ノ爲岡山縣三大川ノ一タル吉井川及同村内溪流水氾濫シ耕地ノ一部ヲ流失或ハ土砂礫埋堆シ耕作不能トナリ尙道路、水路、井堰等ノ公共施設モ亦缺潰流失シ灌漑、排水、交通運搬上ニ多大ノ支障ヲ來セリ

(二) 昭和十年水害ハ同年七月五日ニ襲來シタル大雷雨ニ依ルモノニシテ同地方數十年來嘗テ見サル大雨ノ爲各



溪谷及河川ハ一時ニ大洪水トナリ耕地ノ一部ハ流失シ或ハ土砂礫ヲ埋堆シ其ノ深サ三尺餘ニ及ヒタリ又井堰、農道、水路、橋梁等ノ工作物ヲ缺潰若クハ流失シ交通、運搬、灌溉、排水上幾多ノ支障ヲ來シ其ノ慘狀實ニ名狀スヘカラサル狀況ナリキ

六、計畫ノ大要

耕地復舊ニ對シテハ流失セル部分ハ畦畔、心土、表土ノ盛上及土砂礫ノ取除キヲ行ヒ井堰、橋梁、水路、護岸等ノ工作物ハ再度災害ヲ被ルコトナキ堅固ナル復舊工事ヲ施行シ以テ事業ノ完璧ヲ期スルコトトセリ

七、事業施行ノ結果農村振興上ニ及ホセル効果

- (一) 災害復舊事業ニ依リテ得タル利益
- (イ) 土地價格増進ニ依ル利益

種別	復舊前		復舊後		差引利益金
	面積	金額	面積	金額	
耕地復舊ニ依ルモノ	1,600反	1,140,000	1,600反	7,130,000	5,990,000
用水施設復舊ニ依ルモノ	850	4,500,000	850	4,000,000	500,000
排水施設復舊ニ依ルモノ	11,000.0	1,000,000	11,000.0	1,000,000	0
計	22,450反	6,640,000	22,450反	12,130,000	5,490,000

即チ土地價格増進ニ依ル利益十三萬一千八百七圓ナリ

(ロ) 生産上ノ利益

種別	復舊前		復舊後		差引利益金
	面積	金額	面積	金額	
耕地復舊ニ依ルモノ	1,600反	1,480,000	1,600反	5,130,000	3,650,000
用水施設復舊ニ依ルモノ	850	3,000,000	850	3,000,000	0
排水施設復舊ニ依ルモノ	11,000.0	7,100,000	11,000.0	8,000,000	800,000
計	22,450反	11,580,000	22,450反	16,130,000	4,550,000

即チ生産上ノ利益一萬二千三百三十一圓ナリ

(二) 農業經營ノ合理化ヲ促進スルニ至レリ

- イ、耕地復舊ニ伴ヒ區劃整理ヲ施シ耕作勞力ノ節減ヲ得タリ
- ロ、農道復舊ニ依リ農用車ノ利用ヲ増シ物資ノ運搬ニ便ヲ得タリ
- ハ、用水路、井堰等ノ復舊ニ依リ灌溉上ノ利便ヲ得タリ
- ニ、排水路復舊ニ依リ裏作ノ收穫ヲ確實ナラシムルヲ得タリ
- ホ、護岸、井堰其ノ他ノ強固ナル復舊ニ依リ再度ノ災害ヲ被ルコトナク且維持管理ノ費用ヲ節約スルヲ得タリ

(三) 舉村一致精神ノ革正ニ主力ヲ傾注シ復舊工事ノ進捗ニ努力セリ

本村ハ縣下ニ於ケル小作爭議ノ發祥地トシテ屈指ノ難村ナリシモ昭和九年ノ災害ニ次テ同年更ニ大災害ヲ蒙リタリ然ルニ之カ復舊ニ對シ高率ナル補助ノ恩典ニ浴シタルヲ契機トシ更生五箇條ヲ定メ村當局及小學校長ノ献身の指導下ニ全村民之カ嚴守精神ノ革正ニ主力ヲ注キ男女青年團及消防組ハ災害道水路ノ復舊ニ奉仕シ小學



校生徒ハ教員ト共ニ通學道路ノ復舊ニ働キ以テ和衷協力、専心災害耕地及公共施設工事ノ復舊ニ奮闘ノ結果當初憂慮セラレタル災害激甚地モ今ヤ全事業ニ對シハ割ノ進捗ヲ來シ近ク其ノ完成ヲ告クルニ至レリ現下農村更生ノ喧シキ時ニ當リ災害復舊事業ヲ通シテ思想的ニモ健全ナル農村ノ再興ニ邁進シツツアルハ誠ニ喜フヘキ現象ナリトス

石生村更生五箇條

- 一、天に誓ひ神に祈りて心身を清めませう
- 二、依頼心を排め自力更生の意氣で勵みませう
- 三、二度と無い一生を感謝てみたしいつも愉快に働きませう
- 四、不撓不屈奉仕的精神で協力復興を期しませう
- 五、指導者は躬を以て範を垂れ一般は其の指揮を尊重しませう

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

本縣耕地事業將來ニ對スル指導方針ハ目下施行中ノ災害耕地復舊事業ノ急速施行ヲ計ルト共ニ特ニ左記事項ニ留意事業ノ堅實ナル發展ヲ期セムトス

- 一、用排水改良事業ノ促進ヲ期スルコト  
本縣ニ於ケル水利改良ヲ要スル五百町歩以上ノ集團地ニシテ事業施行ヲ要スルモノ十四箇所、地積一萬九千三百五十八町歩ニ達ス而シテ右ハ主トシテ用水ノ改良事業ニシテ旱害ノ防止上急施ヲ要スルヲ以テ縣財政ノ許ス限り實施シ之カ改良ヲ計ラムトス
- 二、旱害對策殘事業ノ實施ヲ期スルコト  
昭和八、九兩年度ノ旱害ニ鑑ミ昭和九年度ニ百五十萬圓ノ事業施行ノ計畫ヲ樹立シ實施中ニ屬スルモノ右ハ本年度ニ

終了ノ豫定ニシテ尙殘事業多キヲ以テ更ニ計畫ヲ樹立シ實施ヲ期セムトス

三、暗渠排水事業ノ促進ヲ期スルコト

本縣ニ於テハ大正十年以來施行中ニ屬スルモ尙施行ノ餘地極メテ多キヲ以テ其ノ促進ヲ期シ過濕耕地ノ改良ヲ計ラムトス

四、耕地擴張事業ノ實施ヲ期スルコト

食糧ヲ自給シ得サル山間地方及災害又ハ河川ノ改修ニ依リ耕地ヲ失ヒタル地方ニ對シテハ開墾事業ノ實施促進ヲ計リ其ノ他ノ地方ニ對シテモ政府ノ施設ト相俟テ實施セシメムトス

- 開墾移住ハ從來ノ助成事業地ニ對スル移住未済ノモノニ對シテハ政府ノ助成ヲ得テ速ニ移住セシメ目下工事施行中ノ兒島灣干拓地ニ對シ將來移住者ヲ多數招致スルノ要アルヲ以テ諸般ノ施設ニ付指導シ完全ヲ期セムトス
- 五、工事完了後ノ事務ノ促進ヲ計ルコト  
工事完了後ノ事務ニ對シテハ關係書類作製上ノ指導ヲナスノ程度ニアリテハ其ノ進捗ヲ期シ難キヲ以テ關係書類一切ヲ縣ニ於テ作製交付シ事務ノ促進ヲ計ラムトス

六、經營困難地區ニ對スル指導ノ徹底ヲ期セムトス

各種事情ニ依リ經營困難ニ陥リタル地區ニ對シテハ財政計畫ノ樹直、土地利用ノ改善ニ關シ特ニ指導ヲナシ更生ヲ期セムトス

七、左記調査ノ徹底ヲ計リ適確ナル資料ヲ得事業ノ促進及指導ノ完全ヲ期セムトス

(一) 農業水利調査

本年度ヨリ特ニ設備ヲ置キ水利ノ統制及改良ニ關スル調査ヲ實施中ナルモ水利紛争ノ解決用排水事業ノ促進上急ヲ要スルモノ多キヲ以テ將來更ニ設備ヲ擴充調査ノ完了ヲ期セムトス



(一) 開墾豫定地調査

開墾適地ニ對シ調査設計ヲナシ實施ノ資料ニ供セムトス

(二) 溜池集水地域ノ流量調査ノ實施

本縣耕地ノ灌溉用溜池ハ其ノ數一萬ヲ算シ其ノ支配地域ハ全耕地ノ三割強ニシテ之カ貯水ノ良否ハ本縣米作上重大ナル關係ヲ有ス而シテ溜池ノ集水區域ノ廣狹、地質、地層、氣象等ノ關係ニ付テハ從來調査セラレタルモノアリト雖集水區域ノ林層ノ如何ニ依ル溜池ノ貯水量ニ付テハ完全ナル調査ヲナシタルモノナキヲ以テ國庫補助ヲ受ケ昭和十年度ヨリ右調査ニ要スル設備ノ工事中ニシテ速ニ之カ完成ヲナシ相當年限ニ亙リ調査ヲ施行適確ナル成績ヲ得ムトス

(四) 溜池調査

溜池ニ付性能及管理ニ關スル調査ヲナシ溜池臺帳ヲ作製シ災害防止ノ資料ニ供セムトス

(五) 農村計畫調査

數村ヲ撰ヒ計畫ニ關シ調査ヲ行ヒ施行ノ資料ニ供セムトス

廣島縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

耕地事業ハ農村振興ノ根本方策ニシテ之カ施設經營ハ一日モ忽諸ニ附スヘカラサル處ナルヲ以テ本縣ニ於テハ夙ニ各般ノ施設ヲ行ヒ之カ獎勵助長ニ努メツツアリ即チ本縣ノ耕地事業ハ耕地整理法並開墾助成法ノ發布セラレテ以來逐年顯著ナル進歩發展ヲ見殊ニ時局匡救事業ノ施行ニ依リ企業急激ニ促進セラレ今ヤ三十有餘年ノ長年月ヲ閱シテ農村振興、農業發達ノ上ニ貢獻スルトコロ極メテ多大ナルモノアリ今主要ナル耕地事業ノ實績ニ付其ノ概況ヲ述フレハ左ノ如シ

一、開墾助成事業

大正八年六月開墾助成法施行セラレテ以來年ヲ追フテ進展シ耕地ノ擴張ヲ促シツツアリ大正八年以降ニ擴張セル耕地反別ハ一千五百五町歩、内開田一千二百六町歩、開畑四百七十九町歩ニシテ是等耕地ノ擴張ニ依リ本縣農家ノ受ケシ利益ハ極メテ莫大ニシテ年々ノ純益五十萬圓ヲ下ラサルモノト稱セラレ農家經濟ノ更生、農家經營ノ改善ニ資スルト共ニ一面柑橘、除蟲菊、煙草、蒟蒻等ノ本縣特殊農產業ノ助長發達ニ貢獻セルトコロ頗ル甚大ナリ其ノ實績左ノ如シ

區分	指		令		成		功	
	地區數	面積	積	事業費	面積	積	開田	開畑
自大正八年 至昭和十年度	一〇	一、六九町	五、三六八、二八	一、〇五	一、〇五	一、〇五	一、〇五	四、五

二、耕地整理事業

本縣ニ於ケル耕地整理事業ハ明治三十六年ニ其ノ端ヲ發シ爾來銳意ニ努メタル結果逐年其ノ發展ヲ見ルニ至リ今ヤ耕地整理施行認可地區數一千八百七十四、面積三萬六千四百四十三町歩ニシテ既ニ工事完了シタルモノ一千三百三十六、面積一萬三千四百四十七町歩ノ多キニ達シ農家更生對策トシテ著シキ効果ヲ擧ケ年々ノ事業總利益ハ約百十萬圓以上ヲ推算シ農家經濟上ノ功績洵ニ顯著ナルモノアリ事業ノ實績左ノ如シ

區分	施行認可		工事完了		換地處分認可		事業終了	
	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積	地區數	面積
自明治三十六年 至昭和十一年	一、八四	三、六三	一、三三	二、三二	八四九	一〇、〇三	六四八	六、五八







本縣ニ於ケル時局匡救耕地關係農業土木事業ハ事業費又ハ工事費總額二百九十二萬七千八百九十八圓ニシテ昭和七年度ヨリ三箇年繼續事業トシテ施行セシカ本事業ハ大部分勞力費ナル關係上農家ノ更生對策トシテ極メテ有効適切ニシテ積極的ニ農村經濟ノ逼迫ヲ緩和スルト共ニ一面農業經營ノ合理化ヲ圖リ農村振興上多大ノ効果ヲ收メタリ實績ヲ示セハ左ノ如シ

事業種目	地積又ハ箇所數	事業費又ハ工事費	使用延人員
開墾助成	畑田 六九町 畑田 一二五	五二一、七二六・五〇	五〇〇、八一
小開墾	五三四	四九八、二九四・〇四	四九四、九八三
用排水幹線改良	九二 三箇所	三三二、二九六・〇〇	九七、四五五
小用排水	一二、一四三町	八一六、三七八・七四	七八〇、八〇五
暗渠排水	四七四	一五〇、四一二・六六	八五、九一二
小計	二、一四六箇所	六〇八、七九〇・五六	五三九、九七五
計	一三、四三七町 二、一四九箇所	二、九二七、八九八・五〇	二、四九九、九四一

六、其ノ他ノ主要事業

(一) 暗渠排水事業

本縣ハ排水不良ノ耕地甚ク多ク之カ獎勵ハ農村ノ振興上最急務トスルヲ以テ政府ノ施設ニ策應シテ昭和七年度ヨリ極力之カ獎勵ニ努メシ結果僅ニ三箇年間ニ施行面積百七十二町七反歩ノ多キニ達シ之カ爲耕地ノ利用ヲ増進シ農産ノ増殖ヲ招來セル効果ハ極メテ顯著ニシテ年々ノ總收益ハ約二萬五千圓以上ノ増加ト推算セラル之カ實績左ノ如シ

區分	箇所數	施行地積	總工事費
自昭和十七年度	七二	一七二・七町	三七、一五

(二) 開墾地移住獎勵

開墾事業遂行上極メテ緊要ノ施設事業ナルヲ以テ大正九年度ヨリ政府ノ施設ニ應シテ其ノ普及獎勵ニ努メ移住家屋一戸當四百圓ノ獎勵金ヲ交付セルカ現在ノ移住家屋百四十八戸、現住人口四百五人ニシテ之カ爲開墾事業ノ經營ヲ容易ナラシメタル効果ハ極メテ大ニシテ事業ノ目的ヲ貫徹シ得タリ實績左ノ如シ

區分	戶數	獎勵金	一戸當建築費	一戸當獎勵金
自大正九年度	一四八	三六、一二〇	一、三八四	二四四

(三) 事業資金

資金ノ供給ハ耕地事業獎勵上極メテ緊急ナルヲ以テ大藏省預金部ノ運用資金中ヨリ低利資金ヲ融通シテ起業ヲ助成セリ其ノ實績左ノ如シ

種別	期別	利率	貸付額	償還額	現在額	歩合(貸付額)
普通事業資金	自明治四十四年 至昭和十三年	三分三六	二、九二四、四〇〇	一、一〇九、八〇九	七三、五九四	二、四四
早害救済資金	自大正十三年 至昭和五年	三分三六	三、〇〇〇	一、七五〇	一、五〇九	四、六



農村並中小商工業關係 元利支拂資金	自昭和七年	三、六	七、六〇〇	一、三、三七	五、七、三三	八、三三
農山漁村臨時對策 失業救済資金	昭和六年	三、六	四、〇〇〇	一、六、五九	三、一、五二	七、六
高利債借替資金	自昭和六年	三、八	七、三〇〇	一、七、八三	五、九、七	七、六
農業土木事業資金	自昭和七年	三、九	三、七、六〇	一、七、五三	三、〇、〇四	六、七〇
年賦元金償還資金	自昭和六年	三、六	三、一〇〇	三、二、四二	八、八五九	七、三
長期借替資金	昭和九年及 昭和十年	三、六	三、五、六〇	一、一、五〇	三、四、一五〇	九、六七
昭和九年度災害關係資金	昭和十年	三、六	一、九、八〇〇	一、九、八〇〇	一、九、八〇〇	一〇、〇〇
昭和十年度災害關係資金	昭和十年	三、六	五、三〇〇	五、三〇〇	五、三〇〇	一〇、〇〇
計			四、六、七、四〇	二、六、四、二〇	一、〇、一、五、七	四、三、〇

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

本縣ノ地貌ハ山峰起伏重疊シ平坦地極メテ稀ナリ偶々臺地、盆地等其ノ間ニ介在スレトモ其ノ境域頗ル狭小ニシテ耕地ハ此間ニ拓カレ其ノ總地積ハ十一萬二百九十四町歩、縣總地積ノ一割三分ニ當リ之ヲ農家戸數トノ關係ヨリ見ルトキハ一戸當耕作面積ハ僅ニ五反七畝歩ナルニ過キスシテ全國ノ平均反別ニ比シ轉ク狭小ナルヲ思ハシム然ノミナラス一面文化ノ進展ニ伴ヒテ耕地ノ潰廢スルモノ尠カラズ耕地ハ逐年減少ノ趨勢ニアルノ狀況ナリ又一面既耕地ノ狀態ハ概シテ灌溉排水ノ不便ノモノ極メテ多ク爲ニ年々旱害又ハ水害等ノ障害絶ヘス農業經營上至大ノ不利ト脅威ヲ受ケツツアリテ農村經濟上ニ及ホス影響ハ極メテ甚大ナルモノアリ斯クノ如ク本縣耕地ノ現況ハ農業經營ノ基本的設備トシテ極メテ乏シク且備ナルカ爲其ノ生産ハ消費ヲ充スニ足ラス農家經濟ハ愈々窮乏スルコト年既ニ久シク農民ノ意氣ヲ阻喪セシムルコト特ニ甚大ナルニ鑑ミ之カ對策トシテ耕地事業ヲ大ニ獎勵シ其ノ發展ヲ圖リ以テ農村經濟ノ振興ニ

資スルハ刻下ノ急務トスル處ナリ即チ將來ノ耕地事業ノ根本的指導方針ハ農村經濟ノ更生ヲ基調トシテ普遍的ニ施設施行シ以テ農業經營ノ合理化ヲ計ラムトスルニアリ而シテ叙上ノ現況ニ照シテ本縣ノ耕地事業ハ之ヲ耕地ノ擴張、改良、用排水改良及災害防止ノ四綱目ニ分チ是等ノ事業ニ對シテハ政府ノ指導、獎勵ト相俟テ適當ノ方策ヲ講シ以テ夫々堅實ナル事業ノ發展ヲ期セムトス今之ヲ細別スレハ左ノ如シ

一、耕地擴張事業

本縣農家ハ農耕地積過少ナル爲農業經營極メテ困難ナル實情ニアルヲ以テ其ノ存立上必然的ニ耕地擴張ノ熱望熾烈ナルモノアリ且農村經濟更生上重要ナル關係ヲ有スルニ徴シ一層適切ナル指導獎勵ニ努メムトス而シテ本縣ノ開墾見込地ハ大中小各種ノ規模ノモノアリ其ノ中小規模ノモノハ農村ニ於ケル農業經營ノ合理化上其ノ急務ヲ緊要トシ又農村ノ經濟更生上ニ於テハ農村生活ノ安定ニ資スル事業トシテ企圖セラレ國縣ノ助成ヲ望ムコト頗ル切ナルモノアルヲ以テ縣ハ此點ニ付國ノ畫策ヲ要望シテ已マサル處ナリ

二、耕地改良事業

本縣耕地ノ狀態ハ概シテ耕作上不良ノモノ多ク耕地整理及土地改良ニ依リ耕地ヲ改良シ其ノ利用ヲ増進スルハ農業經營ノ合理化ヲ計ルニ最緊要且適切ナルヲ以テ縣ハ更ニ力ヲ注キ之カ獎勵ニ努メムトス殊ニ山間部地方ノ耕地ニハ濕潤地極メテ多ク其ノ地積一萬六千町歩ヲ算スルノ狀況ナリ此ノ濕潤耕地ニ對シテハ暗渠排水工事ヲ施シテ以テ其ノ利用ノ増進ヲ計ルハ農村振興上最緊要トスルコトコトナラヲ以テ縣ハ本省ノ獎勵ニ策應シ今後一層其ノ普及ニ努メムトス

三、用排水改良事業

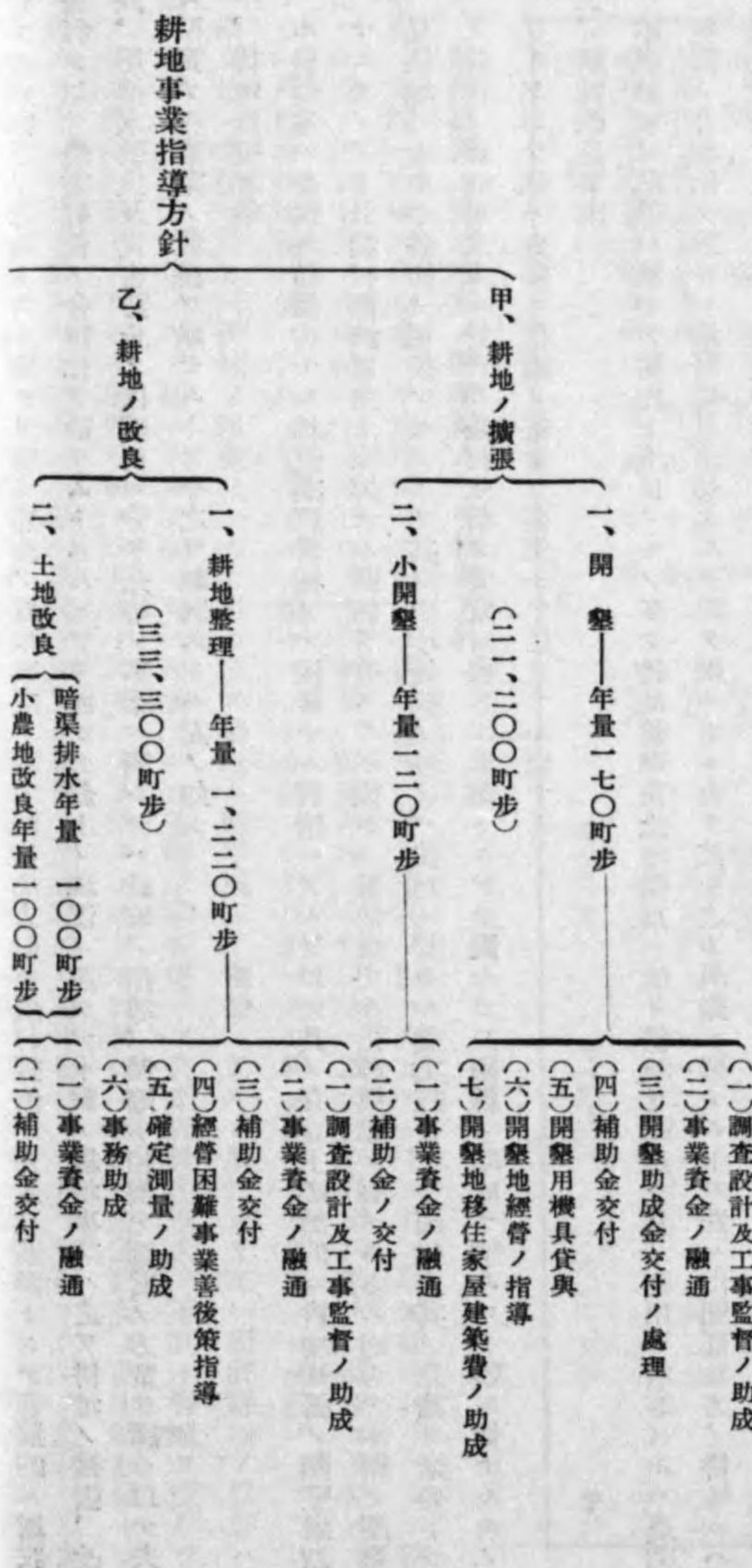
本縣耕地ハ水利關係極メテ不良ニシテ農村窮乏ノ一主因ヲ爲スニ鑑ミ用排水改良事業ノ實施ヲ促シ耕地ノ利用増進ヲ計ラムトス而シテ最近農村ノ經濟更生計畫中ニハ耕地ノ擴張改良事業ト共ニ此ノ事業ノ企圖セララルモノ頗ル多



ク而シテ其ノ企圖ニ對シ國縣ノ助成ヲ俟ツコト頗ル切ナルモノアリ  
四、災害防止施設事業

近年頻發セル災害ノ實情ニ鑑ミ耕地ニ關スル設備ニシテ其ノ構造ニ缺陷ヲ生シ頗ル危險性ヲ有スルモノニ對シ是カ  
對策ヲ講シ以テ災害ヲ未然ニ防止スルハ極メテ肝要ナルヲ認メ之カ恒久對策トシテ農用公共設備ノ完全ヲ期スヘク  
一層指導獎勵ニ努ムトス

以下前述ノ項目ニ依リ其ノ目標及施設ヲ總攬シ且其ノ指導方針ヲ表示スレハ左ノ如シ



山口縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

本縣ノ耕地事業ハ明治三十四年ヲ起原トシ最初ハ主トシテ暗渠排水、區劃整理ノ事業行ハレ大正八年ニハ開墾助成法  
ノ施行ト米價ノ暴騰トニ依リ溜池ヲ築造シテ開田並用水補給ヲ爲スモノ或ハ道水路ノ改修ヲ行ヒ水利交通ノ便ヲ計ル  
モノ等事業ハ愈々隆盛ヲ極メタリ就中開墾助成法ニ依ル開墾、干拓事業ハ主トシテ此ノ期ニ於テ發起セラレ農村ハ好  
況ノ絶頂ニ達シタレトモ其ノ後米價ノ低下ニ伴ヒ農村ハ好況期ノ反映ヲ受ケテ非常ナル經濟的困難ヲ招來スルニ至レ  
ルモ一方相踵ク各種災害ハ農民ノ反撥心ヲ増シ經濟更生ノ計畫等ト相俟テ經濟打解ノ念ヲ惹起セシムルニ至リ之カ應  
急、復舊ノ事業ト共ニ果樹栽培ヲ目的トスル開墾事業等盛ニ行ハルルニ至レリ昭和十一年七月現在ニ於ケル事業ノ實  
績ヲ見ルニ組合設立地區數一千二十一、其ノ面積三萬七百八十五町步、工事費總額一千二百九十一萬三千七百餘圓ニ  
シテ其ノ内事業完了セルモノ地區數ニ於テ七百四十八、面積一萬九千六百六十三町步ナリ尙現在工事中ノモノハ地區數  
百七十三、面積九千四百四十四町步ニシテ明治三十二年耕地整理法發布以來現今ニ至ル三十有七年間ニ於ケル耕地事業





ノ農村振興上ニ及ホシタル実績概ネ左ノ如シ

一、暗渠排水事業

事業終了地積三千八百町歩ニシテ其ノ年々ノ利益ヲ擧ケルハ事業施行前後ニ於ケル收益ノ差額ハ平均反當十圓並裏作可能ニ伴フ反當收益平均二十四圓ヲ得縣下ニ於ケル毎年ノ利益額ハ實ニ百二十九萬二千圓ニ達セリ

二、區劃整理事業

本事業ノ終了地積ハ二千五百町歩ニシテ之ニ對スル年々ノ利益ハ具體的ニ其ノ數ヲ示スニ困難ナルモ勞費ノ節約及收益増加ニ依ル利益ハ毎年相當ノ額ニシテ尙餘剩勞力ノ利用ニ依ル利益等ヲ加フルトキハ其ノ效果實ニ多大ナリ

三、開墾、地目變換事業

開墾ニ依ル耕地ノ擴張終了地積ハ一千五百四十町歩ニシテ其ノ内開田地全部ハ二毛作田トシテ利用セラレ畑地トナリタル土地ハ柑橘及特種作物等ヲ栽培シ何レモ其ノ成績良好ニシテ之カ事業前ニ於ケル原地ノ收益ニ比スルトキハ其ノ利益額實ニ著シキモノアリ尙地目變換事業ハ主トシテ畑地ヲ變シテ田地ト爲シタルモノニシテ其ノ地積二千六百町歩ニ及ヒ之亦毎年ノ利益多大ナリ

四、干拓事業

主トシテ海面ヲ干拓セルモノニシテ其ノ完成地積三百七十町歩ハ全部二毛作田トシテ利用セラレ年間反當收益平均八十圓、縣下ニ於ケル年間約三十萬圓ノ利益ヲ得ツツアリ

五、用水補給事業

年々旱害ヲ蒙リ收穫ノ著シク減少シツツアリシ田地五千四百町歩ニ對シテハ溜池ノ築造、用水路ノ改良、揚水機ノ設置等ニ依リテ用水補給ノ途ヲ講シ事業施行ノ結果ハ施肥ノ安全ト收穫ノ確實トニ依リ年間四萬三千石ノ增收ヲ得其ノ利益甚大ナリ

六、道水路改良事業

道水路ノ新設並改良ニ依ル縣下既整理地區ノ地積七千町歩ニシテ此ノ結果農産物及肥料ノ運搬ノ便ハ勿論灌溉排水ノ管理上受クル勞費節約及收益ノ増進等多大ナル成果ヲ擧ケツツアリ

以上述フルカ如ク本縣耕地事業ハ暗渠排水事業ニ伴フ二毛作ノ利益、開墾、地目變換、干拓事業ニ伴フ收穫ノ増加、區劃整理、用水補給、道水路改良ノ各種事業ニ伴フ勞費ノ節約並收益ノ増加等農村振興上多大ノ実績ヲ擧ケ毎年ノ人口増加一萬一千人、耕地ノ減少年間平均三百九町歩ヲ示ス現狀ヨリシテ若シ此ノ間耕地事業ノ施行ナカリセハ今日ノ農村ハ洵ニ寒心ニ堪ヘサルモノアルヘキヲ想フトキ既往三十有七年間ニ於ケル耕地事業カ精神的、物質的ニ農村ノ振興上齎ラシタル効果實ニ顯著ナルモノアルヲ信ス

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

本縣昭和十年度統計ノ示ス處ニ依レハ農耕地積十萬六千六百三十二町歩ニシテ全縣地積ノ一割八分ニ當ル而シテ最近十箇年ニ於テハ平均二百五十八町歩ノ耕地減少ヲ來シ且人口ニ於テハ年間一萬一千人ヲ増加スルノ狀態ニシテ農家ノ耕作反別漸減シ所謂耕地饑饉ノ現象ヲ生シ一面現在耕地ノ内ニハ濕田ニシテ裏作ニ適セサルモノ、灌溉水ニ不足ヲ告グルモノ、水害ヲ被ルモノ、道路ノ配置不完全ナルモノ其ノ他各種ノ缺陷ヲ有シ營ニ生産、利益ヲ阻害スルノミナラス之カタメ地方ノ融和ヲ妨ケ、青年ノ土着心ヲ傷ケ、勤勞ノ美風ヲ沒却スル等農業經營上ノ不安ト脅威多大ナルノ狀態ニ鑑ミ之等ノ缺陷ヲ除去スルノ目的ヲ以テ指導目標ヲ左ノ五點ニ置キ各種事業ノ遂行ニ努ムトス

一、耕地漸減ノ對應策トシテノ耕地擴張改良事業ノ獎勵

(一) 自作農創設ノタメ未開墾地ノ開墾事業ノ獎勵

(二) 柑橘其ノ他特種作物栽培ノ目的ヲ以テ小開墾事業ノ促進ニ努ムルコト

(三) 農村經濟更生計畫ニ基キ農村ノ餘剩勞力ヲ活用シ耕地擴張ニ努ムルコト



- 二、耕地並農作物ノ災害防除施設ノ確立  
耕地施設ノ不完全ニ起因スル各種災害防除ノタメ恒久的施設ノ獎勵促進
- 三、暗渠排水、床締並客土事業ヲ普及徹底セシメ農業經營ノ合理化ヲ計ル
- 四、水利ノ統制ト水源ノ確立ノタメ用排水幹線改良事業ノ促進ニ努メ産業ノ發達農村ノ興隆ニ資スルコト
- 五、事業ノ財政計畫ニ注意シ指導監督ヲ嚴ニシ其ノ經營ヲ改善シ經營困難組合ノ救済更生ニ努ムルコト

德島縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

耕地事業カ現下ノ農村振興上最適切重要ナル事項ニシテ農村ノ實情ニ沿ヒ救済ノ效果顯著ナルコトハ既往ノ實績ニ徴スルモ亦農民一般ノ渴望スル處ニ見ルモ明カナル事象ナリ

本縣ノ耕地事業ハ從來其ノ施行カ一地方ニ偏在シ爲ニ斯業ニ對スル縣民ノ理解普カラス事業ノ獎勵上遺憾多カリシカ偶々昭和七年度ヨリ時局匡救施設ノ實施セラレテ以來當業者ハ耕地事業ノ經驗ニ依リ其ノ必要ナルコトヲ實感シ一般ニ耕地事業ノ觀念ヲ普及スルニ至レリ爾來當業者ノ自覺頓ニ進ミテ耕地事業ハ逐年隆盛ニ向ヒ就中開墾事業（主トシテ傾斜地ノ開墾及海岸方面ノ埋立、干拓）地目變換事業（主トシテ桑園ノ開田）水利改善事業（溜池、揚水機、頭首工、樋門、樋管、水路等ノ改良、新設）暗渠排水及床締事業及各種災害復舊並應急施設耕地事業等ハ其ノ主ナルモノナルカ更ニ最近ニ於テハ廣範圍ニ亘ル用排水幹線改良事業ノ企畫著シク擡頭スルニ至レリ

而シテ之等事業ハ食糧ノ自給、生産、收益ノ増加特殊農産物ノ増産、耕地並農作物ノ災害防除、或ハ農業勞力ノ調節等ヲ目的トシ何レモ農業經濟更生ノ基礎的事業ニシテ現下農村非常ノ時局ニ際シ最緊切ナル事項タルハ縣民ノ均シク之ヲ認ムル處ニシテ現ニ昭和七年度ヨリ實施セラレタル農山、漁村、經濟更生計畫指定町村ノ計畫中耕地ノ擴張改良事業ヲ最重要施設トシテ計畫セルヲ見ルモ其ノ一般ヲ窺フニ足ルヘシ

一、開墾事業

本縣ハ耕作面積極メテ寡少ニシテ農家一戸當僅ニ六反五畝歩ニ過キス而モ其ノ經營面積五反歩未滿ノ小農實ニ四割三分四厘ヲ占ムルノ狀況ニシテ農業經濟ハ極度ニ疲弊セルカ幸ヒ本縣ハ氣候風土ニ恵マレ山間傾斜地ト雖地味肥沃ニシテ作物ノ栽培ニ適シテニ海岸ニ近接セル地方ハ柑橘、筍、其ノ他果樹及高等蔬菜類ノ如キ特殊農作物ノ栽培ニ恰適シ加フルニ阪神市場ニ對シ水運至便ノ間ニアルヲ以テ近時縣下那賀、勝浦、名東、板野各郡ニ於テハ盛ニ傾斜地ノ開墾或ハ海岸方面ノ埋立ヲ行ヒ之等特殊農産物ノ増産ニ努メテ優秀ナル成績ヲ擧ケ今後更ニ躍進セムトスル狀況ニアリ又山間地方ニ於テハ食糧ノ自給ヲ目的トシテ盛ニ小開墾ヲ行ヒツツアルカ本事業ノ如キハ農家經營面積ノ擴充ヲ圖リ自作農ヲ扶植スルノミナラス從來米、蠶本位ノ農業ヲ所謂多角經營ニ導キ生産收益ヲ増加シ農村餘剩勞力ヲ生産化スル等農家經濟ノ上ニ多大ノ効果ヲ齎シ農村更生上ニ裨益スル處蓋シ甚大ナリ宜ナル哉縣ハ茲ニ鑑ミ從來ノ森林開墾制限地ヲ或程度解放シ或ハ公有水面埋立ノ許可範圍ヲ擴大シテ開墾ノ助長ヲ圖リツツアリ

二、地目變換事業

本縣ハ古來藍作ニ次ク畑作物ノ栽培盛ナリシ爲米産額頗ル僅少ニシテ農村食糧ノ自給自足ヲ爲シ得サルモノ縣下百三十七町村中七十五町村ノ多キニ達シ殊ニ本縣桑園面積ハ約九千七百町歩ニ及ヒ其ノ主ナルモノハ吉野川沖積地帯ニ屬シ所謂養蠶地方ヲ形成セルカ此地方ノ農村ハ著シク桑園ニ偏重シ町村中一粒ノ米ヲモ生産シ得サルモノアルノ狀況ナリ近來養蠶業ノ經營不振ナルニ至リ豫而米穀ヲ縣外ノ移入ニ俟ツ本縣トシテハ先ツ以テ桑園ノ一部ヲ變換シ米作ヲ行ヒテ食糧ノ自給ヲ圖ルノ必要ニ迫ラレシヲ以テ吉野川沿岸地帯ニ於テハ各地ニ組織的桑園ノ開田事業ヲ實施スルモノ續出セリ之等ハ食糧ノ自給ヲ圖リテ農家ノ經濟的抵抗力ヲ強固ナラシメ農村ノ堅實性ヲ高ムルモノニシテ養蠶地方救済上其ノ効果最顯著ナリ



三、農業水利改良事業

本縣ハ古來藍作盛ナリシ傳統ニ因リ農業水利ノ發達著シク遅レ其ノ施設頗ル原始的ニシテ不備不統一ヲ極メ爲ニ用水ノ不足、排水ノ不良ニ起因シ耕地ノ旱、鹽害若クハ水害ヲ被ルモノ甚大ナルノミナラス又水利上ノ紛争頻發シテ地方自治ノ融和ヲ阻害スルコト尠カラズ從來之カ改善ハ時局匡救事業以來小用排水改良及小設備事業ノ施行ニ依テ其ノ一部ヲ達成シタリト雖依然トシテ窮狀ヲ脱スルコト能ハサルヲ以テ最近ニ於テハ集團農耕地ノ恒久的改良計畫ヲ樹テ先ツ其ノ第一歩トシテ今切川沿岸農業水利改良事業ヲ縣營施行シタルカ本事業ハ獨リ沿岸耕地七百七十町歩ノ積年ノ憂苦ヲ芟除シ農産上多大ノ收益ヲ齎シテ地方農村ノ更生ニ資シタルノミナラス又本縣水利上ニ一大規範ヲ垂レテ將來ニ向テ斯種事業ノ發達ヲ促シタル處尠カラズ

四、暗渠排水又床締事業

吉野川及那賀川ノ下流地帯ハ縣下ノ米産中心地方ナルニ一般ニ低地部多ク常ニ排水不良ニシテ其ノ生産能力ヲ減殺セラルコト尠カラサリシカ近時暗渠排水工事ノ施行ニ依リ從來ノ一毛作田ヲ二毛作田ニ利用スルヲ得生産收益ノ増大ニ依リ農家經濟ハ著シク更生スルニ至リ又之ニ反シ阿讃山麓地帯ノ耕地ハ土質比較的粗鬆ニシテ保水力乏シク年々旱害ニ苦ミツツアリシカ昭和十一年ニ於テ本省ヨリ農用牽曳機ノ貸與ヲ受ケ試驗的ニ床締工ヲ施行セシニ其ノ効果豫想以上ニ顯著ナリシ爲該地方ニ於テハ競ツテ床締ノ急施ヲ要望シツツアルノ實情ニシテ暗渠排水及床締事業ノ農村更生ニ齎ス効果ハ實ニ多大ナルモノアリ

五、災害復舊並應急施設耕地事業

本縣ハ昭和九年九月並同十年八、九月ニ於テ稀有ノ風水害ニ襲ハレ各方面ニ被害甚大ナリシカ特ニ耕地ニ關スル被害並農作物ノ損害ハ縣下全般ニ亘リテ激甚ヲ極メ農村ハ積年ノ疲弊未タ脱セサルニ重ネテ屢次ノ災禍ニ因リ農村ノ經濟的及精神的ニ蒙リタル打擊ハ實ニ想像ニ餘リアルモノナリシカ幸ヒ政府助成ノ下ニ之カ復舊並應急救濟ニ努メタル結果不安焦慮ノ念ニカラレタル農民モ漸ク安堵シ事業ハ慮外ニ進捗シ復舊ニ依リテ生産力ヲ回復シ耕作上ノ安定ヲ期シタルノミナラス農民ハ事業ノ實施ニ依リテ勞銀ヲ收得シ差當リ經濟力ノ挽回ヲ爲シタルト共ニ將來ニ向テ耕地ノ災害ヲ防除シ維持管理費ノ節減ヲ圖リシ等農家經濟ハ著シク緩和セラレ疲弊困憊ニ彷徨セル農村ヲ更生ニ導ケリ

叙上ノ如ク耕地事業カ農村ノ窮狀ヲ打開シ之カ振興ニ寄與シタル實績ハ實ニ枚擧ニ遑ナク殆ト全事業カ然リト謂フモ敢テ過言ニアラス茲ニ其ノ效果ノ特ニ顯著ナルモノノ實例ヲ概述セハ左ノ如シ

(一) 勝浦郡生比奈村

本村ハ勝浦郡ノ中央部ニ位スル農山村ニシテ山岳ヲ以テ圍繞セラレ村ノ中央ヲ勝浦川貫流シ是カ沿岸ニ僅ニ田二百八十二町歩、畑百七十町歩ノ耕地ヲ存ス本村ハ從來柑橘ノ産地ニシテ昭和八年度經濟更生計畫町村ニ指定セラシルヤ農地ノ擴充ヲ最重要施設トシテ計畫シ五箇年間ニ百五十町歩ノ開墾並關係面積五十町歩ニ亘ル用排水設備ヲ爲スノ計畫ヲ樹立シ現在既ニ百十五町歩ノ開墾ヲ完成シテ柑橘ノ栽培ニ努メツツアリ今後十箇年ニ於テハ其ノ生産額驚異的躍進ヲ見ルモノトセラリ即チ本計畫實施前ニ於テハ産額米ハ六千四百四十五石、麥ハ二千六百六十四石、柑橘其ノ他ノ果樹ヨリノ産額三十五萬七千二百七十八貫ナリシモ計畫完了後ニハ米六千八百八十三石、麥三千八百二十六石、柑橘其ノ他果樹ヨリノ産額四十八萬貫、生産物増加ニヨル收益増加ハ一箇年實ニ八萬三千三百三十二圓ニ及ヒ經濟更生ノ方向ヲ主トシテ果樹栽培ニヨル増産計畫ニ採リ着々其ノ効果ヲ得ルニ至レリ

(二) 那賀郡平島村

本村ハ那賀郡東端ニ位シ那賀川ノ河口ニ接スル平坦ナル農村ニシテ田五百四十五町歩、畑二十町歩ノ耕地ヲ有ス昭和八年度經濟更生計畫町村ニ指定セラシルヤ米麥ノ增收ヲ計畫ノ主眼トシ之ニ灌漑、排水ノ諸設備ヲ伴ハシムノカタメ五箇年間ニ原野四十五町歩ヲ開墾シ又田地ノ暗渠排水四十町歩及小用排水改良其ノ他ヲ百十五箇所施行シ



農作物ノ增收ヲ得ムトスルモノニシテ現在迄ニ開墾十町歩、暗渠排水十五町歩ヲ行ヒ本村經濟ヲ潤シ來リタルモ尙本計畫實施後生産物ノ増加ハ米二千九百二十三石、麥一千五百八十石、價格八萬百四十六圓ニ及ヒ生産物米麥ノ增收ニヨリ本村ノ經濟ハ更生サルルモノトス

(三) 那賀郡福井村

本村ハ那賀郡ノ東南隅ニ存シ東部ハ紀伊水道ニ面シ他ハ山岳ヲ以テ繞ラレ田三百三十町歩、畑二百十四町歩ヲ有スル農山村ニシテ由來筍ノ生産地トシテ名アリ昭和七年度經濟更生計畫町村ニ指定セララルヤ山林ノ開墾ニヨル筍、果實ニヨル生産増加ヲ計畫シ開墾可能總面積四百九十五町歩中一箇年二十五町歩、十箇年計畫ニテ二百五十町歩ノ開墾ヲ行ハムトシ耕地整理組合ヲ各地ニ設立シ之ニヨリ實行シ筍、果實ノ栽培ヲ爲サムトス本年度迄ノ實績ハ年度割開墾豫定面積ヲ遙ニ凌駕シ百町歩ニ及ヒ筍及果樹ヲ栽培シツツアルカ未タ其ノ收穫ヲ擧ケ得ルニ至ラサルモ昭和十二年度ニ於テハ五千圓ノ增收、昭和十三年度ニ於テハ一萬一千二百五十圓ノ增收、昭和二十一年ニ至ルヤ六萬八千七百五十圓ノ增收ヲ得ルニ至ルヘク將來本村經濟ヲ豊富ナラシムルコト確實ナリ

(四) 今切川沿岸農業水利改良事業

板野郡川内村外六箇町村ニ亘ル耕地二千四百町歩ハ縣下屈指ノ沃野ニ屬スト雖一般ニ標高低ク其ノ用水源ナル舊吉野川及今切川ハ所謂感潮河川ニシテ常ニ潮汐現象ヲ呈シ用水ハ遡潮ニ阻止セラレテ取入困難ニ陥リ年々旱魃ニ次クニ鹽害ヲ蒙リテ其ノ生産能力ヲ減殺セラルルコト著シク就中海岸地帯ニ於テハ用水涸渴ト共ニ地下鹽分ノ浸出ニ因リ收穫皆無ノ慘狀ヲ呈スルコト稀ナラス加之一朝湯水ニ際會スルトキハ分水上ノ爭議ヲ惹起スルヲ常トシ地方自治ノ融和ヲ阻害スルコト亦勦カラサルニ鑑ミ之カ改良計畫ヲ樹テ先ツ其ノ第一期事業トシテ今切川ニ湖止堰堤ヲ設ケ用水幹線ヲ開墾シテ沿岸耕地ノ灌溉ヲ安全ナラシメ潮害ノ苦惱ヲ一掃セムコトヲ企畫シ事業費三十一萬圓ヲ以テ昭和十年三月工事ニ着手シ既ニ所定工事ノ完成ヲ告ケタルカ事業實施ノ効果ハ關係地方積年ノ憂苦ヲ

芟除シ農産上多大ノ收益ヲ齎シタルノミナラス一面本縣水利事業ノ上ニ一大規範ヲ垂レ斯種事業ノ發展ヲ促シ本縣産業ノ伸展ニ裨益セル處勦カラサルモノアリ

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

本縣農村ノ現状ハ第一食糧ノ自給困難ナルコト、第二農家ノ耕作面積寡少ニシテ農村勞力過剩ナルコト、第三耕地面積寡少ナルタメ地價高ク自作農ノ安定ヲ得サルコト、第四米作若クハ蠶桑業ニ偏シ農家ノ收入單一ニシテ經營困難ナルコト、第五農業水利ノ施設其ノ他耕地ノ公共施設著シク不備ニシテ耕地並農作物ノ災害特ニ多ク且耕地ノ維持管理ニ多額ノ經費ヲ要スルコト等ノ特種事情アルヲ以テ農村更生ノ實ヲ擧クルタメニハ先ツ之ニ適應スル耕地事業ノ遂行ヲ期セサルヘカラス而シテ之カ指導獎勵ノ方針ハ左ノ如シ

一、町村内食糧ノ自給、農家耕作面積ノ増加、特殊農産物ノ生産ニ依ル副收入ノ獲得並自作農創設等ノ目的ヲ以テ左ノ事項ヲ行フコト

- (一) 傾斜地ノ開墾並海岸方面ノ干拓埋立事業
- (二) 桑園地帯ノ地目變換
- (三) 耕地並農作物ノ災害ヲ防止シ且將來ノ維持管理ヲ容易ナラシムルタメ左ノ事項ヲ行フコト
  - (一) 農業水利調査ヲ行ヒ用水幹線ノ改良ヲ計ルコト
  - (二) 一般用排水設備其ノ他耕地ノ公共施設ノ改善ヲ計ルコト
  - (三) 暗渠排水及床締、客土ヲ一層獎勵スルコト
- (四) 耕地整理組合指導監督ノ徹底ヲ期シ一層事業經營ノ實績ヲ擧クルコト

香川縣



一、農村振興上耕地事業ノ實績

本縣耕地事業ハ耕地整理法發布以來施行認可地區數五百九地區、地積一萬五百四十一町步、此内開墾助成法ニ依リ擴張セシメシ地積一千五百九十三町步ニ及ヒ耕地ノ擴張改良ハ年ト共ニ益増加ヲ來シタリ

特ニ本縣ハ地勢、氣候ノ關係上開墾事業ノ如キハ其ノ成績極メテ良好ニシテ開墾地ニハ柑橘、除虫菊、富有柿等栽培シ殊ニ除虫菊ノ如キハ反當百圓内外ノ收入アリ爲ニ農村不況時ニ際シテモ之カ農家ノ經濟ハ救済サレツツアルノ現況ニシテ特ニ之等開墾地方ニ於テハ水田ノ價格ヲ遙ニ凌駕スルノ狀況ナリ又改良事業ニ於テモ去ル大正十三年ノ旱魃以來之カ救済ノ目的タル貯水池ノ新設改築ヲナシ來リ昭和五年三月豐稔池、昭和七年二月滿濃池、同年三月三郎池、昭和十年三月四ヶ池等漸次用排水改良事業ヲ完成シ之カ竣功後ニ於ケル地區内旱魃被害ハ完全ニ救済サレタルノ現況ニシテ其ノ成績亦極メテ良好ナリ

一面去ル昭和七年度ヨリ實施ノ時局匡救及昭和九年度ヨリ實施ノ災害應急並復舊事業等之亦縣下一圓ニ亙リ事業ヲ實施ノ爲大ナル好成績ヲ收メ之等農家ノ救済ハ實ニ見ルヘキモノ頗ル多シ今最近實施ノ旱害應急並復舊事業ノ成績概況ヲ示セハ左記ノ如シ

旱害應急、風水害應急、昭和九年度起工災害復舊及第二豫備金並緊急處分、公共施設、關係面積二萬七千町步、本省割當事業費五十七萬七千四百六十八圓ヲ以テ左記工事ヲ實施シ昭和九年度十三萬五千七百七十四圓、同十年度三十五萬九千八百九十圓ヲ施行シ殘工事八萬一千八百四圓ヲ同十一年度ニ完了セシムヘク目下着々進捗中トス

- 溜地 五百六十九箇所
- 水路 四萬八千二百八十二箇所
- 農道 七千七百七十五間
- 其ノ他小設備 百二十一箇所

昭和九年度起工災害及第二豫備金、緊急處分、耕地復舊關係面積五町一反六歩ハ本省割當事業費六千二百七十七圓ヲ以テ昭和九年度一千二百五十圓、同十年度四千七百三十七圓、同十一年度二千三百三十圓ヲ以テ全部完了何レモ耕作ヲ休止スル事ナク平年作程度ノ收量ヲ得テ被害農家ノ不安ヲ一掃シタリ

旱害應急事業關係面積中用水補給ニ關スル面積縣下ヲ通シ約五千六百八十町步工事施行ノ結果確實ニ增收豫想一萬一千五百餘石、風水害應急事業關係面積中用水補給ニ關係ヲ有スル面積合計一千九百町步之カ增收豫定三千九百五十石、計一萬五千四百餘石(石三十圓トシ)之ノ金額四十六萬二千圓、以上增收ニ依ル利益ノ外旱風水害ニヨル被害者ニ就勞ノ機會ヲ得セシメ以テ農家經濟ノ緩和ヲ計リ得テ思想、納稅等ノ惡化ヲ防止シタル等本事業ノ間接的利益亦尠カラス其ノ他災害復舊事業ニ付テハ本縣未曾有ノ旱害ニヨル創痍未タ癒サルニ續ク災害ニテ溜池ノ缺潰、道水路、井堰等ノ破壊、堤防缺潰ニヨル耕地ノ埋沒、流失等之カ復舊ハ國庫ノ助成ヲ受クルニアラサレハ到底自力復舊ノ方途ナク三十二萬五千三百餘圓ヲ以テ昭和十年度ニ大半工事ヲ了シ昭和十一年度ヲ以テ完成關係農家ハ一意其ノ天業ニ邁進スルヲ得ルニ至レリ

旱害應急  
風水害應急  
九年起工災害復舊  
第二豫備金  
緊急處分

各事業一覽表

(昭和十一年十一月二日調)

總括表(公共施設)

種目	地區數	關係面積	事業費	年 度 割			備 考
				昭和九年	昭和十年	昭和十一年	
旱 應	三九	五八五.九	二七.四〇	五.三	三〇.五	三.七	溜池三箇所、水路五、三箇、空間農道二、六間、其ノ他四箇所



風 九 年 起 工 災 害 第 二 豫 備 金 緊 急 處 分 計	昭 九 年 起 工 災 害 第 二 豫 備 金 緊 急 處 分 計	地 區 數	關 係 面 積	事 業 費	年 度			備 考
					昭 和 九 年	昭 和 十 年	昭 和 十 一 年	
一五	一五	一	九、九五	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
二五	二五	二	一八、一七〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
三六	三六	三	二六、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
四六	四六	四	三三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
五五	五五	五	四〇、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
六五	六五	六	四七、〇〇〇	四、七〇〇	四、七〇〇	四、七〇〇	四、七〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
七五	七五	七	五四、〇〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	五、四〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
八五	八五	八	六一、〇〇〇	六、一〇〇	六、一〇〇	六、一〇〇	六、一〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
九五	九五	九	六八、〇〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇	六、八〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
計	計	計	計	計	計	計	計	計

一、旱害應急事業

郡 市 名	地 區 數	關 係 面 積	事 業 費	年 度			備 考
				昭 和 九 年	昭 和 十 年	昭 和 十 一 年	
大川郡	三	五、五〇六	三、七〇〇	三、七〇〇	八、四〇〇	七〇〇	溜池二箇所、水路三五〇間
木田郡	一〇	五、七〇八	七、八〇〇	一、六〇〇	四、八〇〇	一、三〇〇	溜池四箇所、水路一〇三間、井堰一箇所
小豆郡	三	七、八〇〇	一、四、七〇〇	五、九〇〇	六、八〇〇	一、九〇〇	溜池一箇所、水路一〇三間、井堰一箇所
香川郡	三	七、八〇〇	一、四、七〇〇	五、九〇〇	六、八〇〇	一、九〇〇	溜池一箇所、水路一〇三間、井堰一箇所
計	計	計	計	計	計	計	計

二、風水害應急事業

郡 市 名	地 區 數	關 係 面 積	事 業 費	年 度			備 考
				昭 和 九 年	昭 和 十 年	昭 和 十 一 年	
高松市	二	八、五〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	道路一〇〇間、水路三〇、八間
丸龜市	一	一〇、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	水路三五〇間
大川郡	二	一八、一七〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	溜池五箇所、水路四〇、八間、道路四一〇間
木田郡	三	二六、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	三、〇〇〇	溜池三箇所、水路四〇、八間、道路三〇〇間
小豆郡	四	三三、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	四、〇〇〇	溜池二箇所、水路四〇、八間、道路二〇〇間
香川郡	九	四〇、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	五、〇〇〇	溜池一箇所、水路四〇、八間、道路一〇〇間
綾歌郡	一八	四七、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	溜池三箇所、水路三〇、八間、道路一五〇間
仲多度郡	一七	四七、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	溜池四箇所、水路三〇、八間、道路一〇〇間
三豐郡	二五	五四、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	七、〇〇〇	溜池二箇所、水路三〇、八間、道路一〇〇間
計	計	計	計	計	計	計	計

三、昭和九年起工災害復舊事業（公共施設）



郡名	地區數	關係面積	事業費	年度割			備考
				昭和九年	昭和十年	昭和十一年	
大川郡	三	一、六四九・〇	五、〇三三	三、八六四	四、九四四	四、七二一	溜池七箇所、水路四、六三〇間、其、他八箇所
木田郡	九	二、三五五・九	二、九六五	七、五〇〇	三、五五五	五、〇〇〇	溜池六箇所、水路三、六三〇間、其、他九箇所
小豆郡	八	一、六六七・七	一、六四〇	二、七三三	二、二九五	二、四四五	溜池三箇所、水路六、四三三間、其、他六箇所
香川郡	七	五、七二二・七	四、〇〇〇	一、四、六五五	二、六九五	一、九〇〇	溜池〇箇所、水路四、四三三間、其、他八箇所
綾歌郡	元	一、〇六三・三	一、六、五〇〇	四、五〇〇	八、五〇〇	三、六七〇	溜池三箇所、水路三、三三〇間、其、他二箇所
仲多度郡	三	一、四二〇・〇	二、四、四四〇	七、〇〇〇	一、六、四四四	一、〇四四	溜池七箇所、水路一、三三六間、其、他五箇所
三豐郡	七	三、〇八八・五	四、三、四〇〇	三、〇三三	二、七、五一一	二、七、五一一	溜池三箇所、水路一、三三六間、其、他七箇所
計	三六	一五、〇六〇・一	三三、三三三	五、九、九〇〇	一、六、三、五三三	一、七、〇、八〇八	溜池二四箇所、水路三、三三三間、其、他八五箇所

四、第二豫備金支出災害復舊事業（公共施設）

郡名	地區數	關係面積	事業費	年度割			備考
				昭和九年	昭和十年	昭和十一年	
大川郡	四	一、〇〇〇	四、七三四	四、七三四	四、七三四	四、七三四	溜池四箇所
木田郡	一	五・一	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	二、〇〇〇	溜池一箇所
小豆郡	一	一・三	一、三〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	三、五〇〇	溜池一箇所
香川郡	二	四・四	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	一、九〇〇	溜池二箇所
綾歌郡	二	七一・〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	六、〇〇〇	溜池二箇所
計	一一	一〇〇・〇	一八、三八四	一八、三八四	一八、三八四	一八、三八四	溜池一一箇所

五、緊急處分災害復舊事業（公共施設）

郡名	地區數	關係面積	事業費	年度割			備考
				昭和九年	昭和十年	昭和十一年	
大川郡	三	三、九、四	二、三、八六四	四、七、五五五	九、二、二二二	溜池一五箇所、水路一、〇三三間、井堰一箇所	
木田郡	三	三、二、一	九、一、九〇〇	五、八、八四四	三、三、〇六六	溜池一六箇所、水路八、〇五五間、道路六、九、五五間	
小豆郡	六	三、九、一	四、五、〇〇〇	一、六、五五五	二、八、八五五	溜池三箇所、水路四、九、〇〇〇間、道路三、〇、〇〇〇間	
香川郡	六	八、五、一	一、〇、〇〇〇	四、四、九〇〇	五、五、五〇〇	井堰一箇所	
綾歌郡	四	六、五、五	二、一、六八〇	五、三、三〇〇	六、三、〇〇〇	溜池八箇所、水路一、二、〇〇〇間、井堰三箇所	
仲多度郡	三	六、三、六	二、三、九〇〇	四、五、〇〇〇	八、三、九〇〇	砂留一箇所	
三豐郡	一四	一、三、四、五、六	二、一、三〇〇	五、四、〇〇〇	五、八、〇〇〇	溜池二箇所、水路一、六、三、七〇〇間、道路二、四、五、〇〇〇間	
計	一〇一	三、三、五、六、四	三、三、五、〇〇	三、一、四、四四	四、一、三、五、六六	溜池一八箇所、水路四、三、〇〇〇間、道路三、〇、〇〇〇間、道路六、八、〇〇〇間、其、他八箇所	

六、災害復舊事業（耕地）

昭和九年起工災害復舊

郡名	地區數	關係面積	事業費	年度割			備考
				昭和九年	昭和十年	昭和十一年	
大川郡	三	三、九、四	二、三、八六四	四、七、五五五	九、二、二二二	溜池一五箇所、水路一、〇三三間、井堰一箇所	
木田郡	三	三、二、一	九、一、九〇〇	五、八、八四四	三、三、〇六六	溜池一六箇所、水路八、〇五五間、道路六、九、五五間	
小豆郡	六	三、九、一	四、五、〇〇〇	一、六、五五五	二、八、八五五	溜池三箇所、水路四、九、〇〇〇間、道路三、〇、〇〇〇間	
香川郡	六	八、五、一	一、〇、〇〇〇	四、四、九〇〇	五、五、五〇〇	井堰一箇所	
綾歌郡	四	六、五、五	二、一、六八〇	五、三、三〇〇	六、三、〇〇〇	溜池八箇所、水路一、二、〇〇〇間、井堰三箇所	
仲多度郡	三	六、三、六	二、三、九〇〇	四、五、〇〇〇	八、三、九〇〇	砂留一箇所	
三豐郡	一四	一、三、四、五、六	二、一、三〇〇	五、四、〇〇〇	五、八、〇〇〇	溜池二箇所、水路一、六、三、七〇〇間、道路二、四、五、〇〇〇間	
計	一〇一	三、三、五、六、四	三、三、五、〇〇	三、一、四、四四	四、一、三、五、六六	溜池一八箇所、水路四、三、〇〇〇間、道路三、〇、〇〇〇間、道路六、八、〇〇〇間、其、他八箇所	



郡名	地區數	面積	積	事業費	年度	
					昭和九年	昭和十年
大川郡	二	二,六三〇.二		三,〇四五.四	二,八一五.四	二,三〇.四
木田郡	一	〇,一四〇.六		三〇五		
小豆郡	二	〇,四三二.七		一,七七〇	五五八	一,二二二
三豐郡	二	一,〇一二.七		三九七	三八七	一〇
計	七	四,二三〇.二		五,五一七	一,二五〇	四,〇三七
大川郡	一	〇,二四二.九		一四二		一四二
計	一	〇,二四二.九		一四二		一四二
大川郡	一	〇,六二〇.五		五五八		五五八
計	一	〇,六二〇.五		五五八		五五八
合計	九	五,一〇〇.六		六,二一七	一,二五〇	四,七三七
合計	九	五,一〇〇.六		六,二一七	一,二五〇	四,七三七

第二豫備金災害復舊

緊急處分災害復舊

增收ニヨル利益

一、旱害應急事業

郡市名	地區數	關係面積	用水補給關係面積	工事實施前		工事實施後		增收量
				反當收量	總收量	反當收量	總收量	
大川郡	一	五,三三六	五,三三六	二,二九	三,三三七	二,三四	三,三二	八.四
木田郡	一	五,七八	五,七八	一,八四	一,〇三	一,九四七	二,二四	五
小豆郡	三	七,八三	五,五七	二,三三	三,五五	二,六〇九	一,五〇〇	一,〇四
香川郡	三	九,九五	九,九五	二,八〇	三,八七	二,五三	二,四八五	二,四八
綾歌郡	四	五,九五	五,九五	二,五七	三,一六	二,七七	一,四三三	一,八四
仲多度郡	三	三,〇一七	三,〇一七	二,三九	三,〇四〇	二,五三	七,九三	五,七三
三豐郡	三	五,八五九	五,八五九	二,四九	二,四九	二,五三	一,四六六	一,一五五
計	二九	三〇,〇一七	三〇,〇一七	一,二四九	一,二四九	一,二四九	一,二四九	一,二四九

備考 工事施行前反當收量ハ昭和六年ヨリ昭和十年ニ至ル五箇年平均總收量石以下四捨五入  
 二、風水害應急事業

郡市名	地區數	關係面積	用水補給關係面積	工事施行前		工事施行後		增收量
				反當收量	總收量	反當收量	總收量	
高松市	二	八,五〇〇	四,〇〇〇	二,五二六	一,八三三	二,六四三	一,八九五	五.五
丸龜市	一	二,四〇〇	二,四〇〇	二,五〇二	六〇〇	二,六六	六〇〇	三
大川郡	二	一,八三三	一,八三三	二,二二	三,四四五	二,二六	三,七七八	二四
木田郡	三	二,八三三	二,八三三	二,二九	五,一七	二,三四	五,五九	三
計	三	一,八三三	一,八三三	二,二九	五,一七	二,三四	五,五九	三















町村名	地區名	種別	工事業	數量	關係面積	事業費	年度	
							昭和十年	昭和十一年
大川郡水郡	本宮池	溜池		一	二〇反	一、一〇〇圓	一、一〇〇圓	
富田村	廣谷池	溜池		一	五〇	二、二三四	二、二三四	
東植田村	大谷池	溜池		一	五一	二、〇〇〇	二、〇〇〇	
栗熊村	西ノ池	溜池		一	三〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	
十郷村	蕨池	溜池		一	二六〇	四、八〇〇	四、八〇〇	
白方村	下池	溜池		一	四五〇	一、二〇〇	一、二〇〇	
比地方大村	宮池	溜池		一	一、〇〇〇	三、四〇〇	三、四〇〇	
計						一五、七三四	一五、七三四	

第二豫備金支出災害復舊事業（公共施設）

神田村	神田	荒井	水	路	六、七三	一、五〇〇	一、四八八	七六	七六
財田村	高室	鹿隈	同	同	一、五〇〇	一、二二八	一、二二八	五〇	七八
河内村	紀井	亂橋	同	同	七、五〇	一、〇八一	一、〇八一	四九	五九
紀井村	大瀨	唐井	溜池	路	一、七〇	一、三三三	一、三三三	三〇	九三
大野村	唐井	唐井	溜池	路	六、九〇	一、六八〇	一、六八〇	一、六八〇	一、〇〇〇
計						八〇、八八八	一八、四三三	五二、四四	一〇、九一

香川郡	由佐	夫婦	水	井	路	二、四〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
同	同	小田	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
上笠居	上笠居	神高	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
下笠居	下笠居	龜割	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
昭歌郡	昭歌郡	三ヶ所	溜池	路	一、七〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇	一、八〇〇
山田村	山田村	池ヶ所	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
粉所村	粉所村	永富	溜池	路	三、五〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇	三、六〇〇
岡田村	岡田村	小津	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
仲多度郡	仲多度郡	三附	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
白方村	白方村	水附	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
佐柳島村	佐柳島村	本浦	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
本島村	本島村	星浦	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三島村	三島村	城下	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
大見村	大見村	丸山	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
下瀨村	下瀨村	新田	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
比地二村	比地二村	滿水	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
同	同	五丁	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
同	同	麻池	溜池	路	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇
計						一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇	一、〇〇〇



緊急處分災害復舊事業（公共施設）

町村名	地區名	種別	數量	關係面積	事業費	年度	
						昭和十年	昭和十一年
大川郡 相生村	第一池	水路	五〇〇	〇・五	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
福生郡 榮村	清房池	溜池	一	〇	一、四〇〇	〇	一、四〇〇
譽水郡 水村	明神池	同	一	〇	四、〇〇〇	〇	一、六〇〇
香川郡 原村	釜床池	同	一	〇	二、〇〇〇	〇	一、六〇〇
安原郡 笠居村	衣掛池	同	一	〇	二、〇〇〇	〇	一、六〇〇
上笠郡 居村	松山池	溜池	一	〇	五、八〇〇	〇	五、八〇〇
綾歌郡 山村	荳原池	溜池	一	〇	二、五〇〇	〇	二、五〇〇
陶熊村	阿彌陀池	溜池	一	〇	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
栗熊村	内田横井池	溜池	一	〇	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
造田村	大田麻路池	溜池	一	〇	一、一〇〇	〇	一、一〇〇
仲多度郡 寺町	余倉川	井堰	二	〇	一、五〇〇	〇	一、五〇〇
善通寺町	七箇村	溜池	一	〇	一、三〇〇	〇	一、三〇〇
高見島村	高池	溜池	一	〇	一、五〇〇	〇	一、五〇〇
三豐郡 尾村	松ヶ根池	溜池	一	〇	一、〇〇〇	〇	一、〇〇〇
和田村	和田池	溜池	一	〇	二、〇〇〇	〇	二、〇〇〇
計					三、四八五	六、九二〇	二四、五六五

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

一、耕地擴張ニ關スル件

耕地擴張事業ニ付テハ開墾事業ノ如キハ最適應セル事業ナリト認ム而シテ之カ指導方針ニ於テハ事業施行者ノ負擔軽減ヲ目的トシテ成ル可ク夫役ニ求メ資金借入ヲ減少セシムルト共ニ事業進捗ニ伴ヒ間作利用並開墾地ニ適應セル栽植作物ノ選擇等周到ナル注意ヲ用ヒ以テ堅實ナル事業ノ發達ヲナサシムル等最必要ナリ然ルニ之ニ反シ政府ニ於テハ之等開墾助成ノ豫算ハ計上少キヤニ聞キ及フハ誠ニ寒心ニタヘサル處ナリ故ニ速ニ豫算復活計上ノ上未指令地區ニ對シテハ速ニ助成承認ト共ニ中央地方相共力耕地ノ擴張利用ヲ指導スルヲ必要ナリト認ム

二、耕地改良ニ關スル件

本縣ハ雨量極メテ少ク河川ハ常ニ涸渴シ灌溉水ノ如キハ殆ト溜池ニ依リ灌溉サレツツアルノ現況ナリ而シテ之等溜池ハ其ノ築造何レモ古ク堤防ノ洩水、樋管ノ腐朽或ハ水路ノ不完全ナルモノ極メテ多ク曩ニ實施ノ時局匡救或ハ災害復舊並應急事業ニ依リ一部ノ改修ヲ見タルモ縣下溜池一萬七千餘個（灌溉地積三十町歩ヲ有スルモノ）ノ内七割ニ達スルノ状態ニシテ今後約四百萬圓ヲ改修ニ必要トスルモノアリ

故ニ此ノ内本縣ニ於テモ昭和十二年度ヨリ十箇年繼續新規事業トシテ百萬圓ヲ計上シ相當助成ヲ講スヘク豫算編成ヲナシ之カ實現ニ努力中ナレハ政府ニ於テモ此種事業ノ企畫、實施ニ當リテハ相當助成ノ途ヲ講スルト共ニ國、縣、相呼應シ以テ耕地ノ改良ヲ指導スルヲ必要ナリト認ム

三、災害地助成ニ關スル件

本縣ハ耕地面積狭小加フルニ人口稠密ニシテ年ト共ニ小農亂立ノ状態ナルニ去ル昭和九年本縣未曾有ノ旱害引續キ風水害ヲ蒙リ農家經濟ハ極度ニ疲弊困憊セリ而シテ政府ニ於テモ之カ復舊ニ應急ニ引續キ救濟事業ヲ實施サレタルモ之等ノ事業ハ被害地ノ一部ニ達セサルノ状態ナリ然レハ將來斯ク如キ耕地ノ災害ニ對シテハ政府ハ災害耕



地復舊並應急ノ補助規程ヲ制定シ毎年度經常的豫算ヲ計上シ災害突發セムカ速ニ之カ復舊ヲナサシムルト共ニ府縣ニ於テモ之ト相呼應シ農村ノ生産増加ト安定ヲ期シ以テ將來災害地ノ助成ヲスルヲ必要ナリト認ム

四、耕地保險制度制定ニ關スル件

天災地變等ノ爲耕地ノ災害ヲ蒙リタル場合其ノ復舊ハ農家自力ニテハ到底容易ナラサルモノアリ故ニ耕地ノ保險制度ヲ制定ノ上一朝被害發生ノ折ハ速ニ復舊セシムルノ必要アリト認ム

五、農村經濟更生特別助成ニ關スル件

目下朝野ヲ舉ゲ農村不況對策トシテ農家ノ經濟更生ヲ叫ハレツツアルモ農村經濟ノ根源ハ耕地ニアリ故ニ耕地ノ擴張改良ハ農業土木改善施設ニ俟ツモノ頗ル多シ故ニ今後經濟更生指定町村ノ如キモノハ特別助成トシテ農業土木ヲ主體トシ之カ事業ノ普及徹底ヲ計リ以テ經濟更生ヲ計ルコト必要ナリト認ム

六、災害防止ニ關スル件

近時全國的ニ頻發スル耕地關係災害ハ農村ヲ困憊セシムルコト甚大ナルモノアリ其ノ原因種々アリト雖之カ防止ニ對シテハ溜池、水路、井堰等ノ性狀ヲ精査シ適宜防護工事ヲ施シ分水施設等意ヲ用ヒ一面溜池新設等ノ場合ハ一定ノ法令ニ基キ許可ノ上事業ニ着手セシメ將來ノ危險ヲ未然ニ防止スル等ハ最必要ナリト認ム

七、大規模用排水改良事業國營ニ關スル件

受益地積ノ廣汎並他府縣ニ亙ル事業實施ニ付テハ從來水利關係並特殊事情ノ爲該事業企畫乃至實施ニ當リ之カ統制ヲ缺キ或ハ事業阻止セラルルコト少シトセス斯ル大規模ノ事業ニ對シテハ國營ヲ以テ實施スルニ於テハ事業遂行上圓滑、適正ヲ期セラルルモノト思料ス因テ政府ニ於テモ之カ實現ヲ最必要ナリト認ム

愛媛縣

一、農村振興上耕地事業ノ實績

一、時局匡救事業

農山漁村不況對策トシテ政府ハ昭和七年度ヨリ昭和九年度迄計畫セラレタル時局匡救耕地事業實行ニ對スル本縣ノ狀況ヲ述フレハ蠶絲業ノ不振、農產物價ノ暴落等ニヨリ現金收入ノ途杜絶シ加フルニ本縣ノ耕地ハ其ノ一戸當約七反餘ニシテ全國平均以下ニアリ尙田地ノ水源設備ハ多ク溜池及地下水ニ依ルモノ多ク反當ノ經費ハ多額ニ昇リ耕地ノ過少ト併セテ農家經濟ニ壓迫ヲ加フルコト甚シキ狀況ニアリ  
依リテ本縣ハ政府ノ方針ニ則リ極力農家經濟ヲ緩和スル目的ヲ以テ各町村ノ希望ヲ求メテ急施ヲ要スルモノヨリ順次之ヲ採用實施シ耕地ノ擴張改良ニ依リテ生産力ヲ昂揚シ一面勞銀ノ所得ニ依リテ現金收入ノ途ヲ講シ其ノ成績ノ大イニ見ルヘキモノアリト雖町村ノ希望ヲ全的ニ充スノ餘裕ナカリシハ勿論又一工事ニシテ其ノ一部實施セルニ過キスシテ今後更ニ尙之等ヲ補足シ事業ノ効果ヲ全ウシ併セテ町村ノ要望ヲ全的ニ充スノ必要ナルコトハ現下農村ノ熱意ヨリ考フル時ハ洵ニ緊要ナリ

時局匡救事業

事業種目	工事	事業費	助成金
小開墾		二一三、三二二・〇〇	一〇六、六六一・〇〇
小用水、改良		三七八、七〇七・〇〇	一八九、三五三・五〇
暗渠排水		一四、三八四・〇〇	七、一九二・〇〇
小設備		三四七、五三五・〇〇	一七三、七六七・五〇
用排水幹線改良		三三一、二〇〇・〇〇	一六五、六〇〇・〇〇



合 計	一、二八五、一四八・〇〇 <sup>円</sup>	六四二、五七四・〇〇 <sup>円</sup>
-----	---------------------------	-------------------------

二、旱風水害應急施設

昭和九年ノ旱害ハ稀有ニシテ未タ其ノ前例ヲ見ス從テ其ノ被害甚大ニシテ本縣ニ於テハ約二千萬圓ノ多額ニ達セリ農村ハ此ノ慘禍ニ遭遇シテ全力ヲ擧ケテ之カ應急對策ニ努力シ百方手段ヲ講シテ被害ヲ最少限度ニ止メムト焦心、焦慮セリ縣ハ應急對策トシテ各作物ノ耕種上ノ指導ヲナスト同時ニ取敢ヘス揚水機、原動機購入ニ對シ二割以內ノ補助ノ途ヲ拓キ又慘狀ヲ具申シ政府ニ救濟ヲ求メタリ同年九月ニハ關西以西ヲ襲ヘル颱風ニヨリ又未曾有ノ風水害ヲ被リ其ノ被害額二百萬圓餘ヲ數ヘタリ

是等ノ災害ニ對シ政府ハ應急對策トシテ左ノ如キ助成金ヲ配當セリ

旱害應急施設

六九七、三九四圓

風水害應急施設

二七、二〇七圓

斯クシテ貯水池新設、改良等ヲ施セルモノ三百餘箇所ヲ數ヘ湧水池ノ揚水機其ノ他有ル灌漑施設整備シ土地利  
用増進ニ著シキ効果ヲ擧ケ地方農民ノ渴ヲ癒シタルコト切ナルモノアリキ

然レトモ多年疲弊困憊セル農村ハ自力ノミニヨリテハ此ノ天災ニ打テ勝テ得ス被害額ニ比シテ助成額ノ少額ナル  
タメ其ノ効果モ單ニ應急的對策ニ止リ且分散的ニシテ農村全般ニ十分ニ普及セザリシ憾アリ(別表參照)

(一) 旱害應急事業調

作物別	被害反別	被害金額	助成金	割當工事費
水 稻	四五、二六九・一 <sup>町</sup>	一一、三六八、五七四 <sup>円</sup>	六九七、三九四 <sup>円</sup>	一、三九四、七八八 <sup>円</sup>

桑	一一、一二六・一	八九四、四八三		
其ノ他	二八、四四六・二	五、八一、八七七		
合 計	八五、八四一・四	一九、〇七五、九三四	六九七、三九四	一、三九四、七八八

實 績

種 目	箇所數又ハ延長	關係地積	工 事 費
溜 池	三二七箇所	五、一四八・六九 <sup>町</sup>	六二七、〇五一・〇〇 <sup>円</sup>
湧 池	一四六	二、五八四・三〇	一三三、三〇〇・〇〇 <sup>円</sup>
堰 堤	三二	二八一・七九	二〇、〇〇〇・〇〇 <sup>円</sup>
導 水 路	八四、六八一・九 <sup>町</sup>	四、二七六・二六	一八、一七三・〇〇 <sup>円</sup>
貯 水 タ ン ク	二二三箇所	八一・七〇	二二三、八九一・〇〇 <sup>円</sup>
其ノ他	七、六二四・五 <sup>町</sup>	一、四三九・三四	三三、三〇四・〇〇 <sup>円</sup>
計	九九、三〇六・四 <sup>町</sup>	一三、八一、二〇八	一一一、四七二・〇〇 <sup>円</sup>
用水幹線改良事業(池)	九九、三〇六・四 <sup>町</sup>	一、〇四〇・七〇	一、一七八、九一四・〇〇 <sup>円</sup>
合 計	九九、三〇六・四 <sup>町</sup>	一四、八五二・七八	一一二、六五二・〇〇 <sup>円</sup>

備考 括弧内ハ昭和十一年度分

(一) 風水害應急事業調



作物別	被害反別	被害金額	助成金額	同上工事費
水	一六、八〇七・二	一、三五六、一七七 <sup>四</sup>		
密	一、一二三・五	一四一、〇九一		
桑	五、〇八三・四	二四四、七四〇	二七、二〇七	五四、四一四
其	八、二七五・五	四九一、九二二		
計	三一、二八九・六	二、二三三、九三〇		

風水害應急

種目	箇所	數	關係地積	工事費
小開鑿		二	〇・一四二〇 <sup>町</sup>	一、五二二 <sup>町</sup>
小用排水		六四	四八・四五〇〇	二七、四三四 <sup>町</sup>
暗渠排水				(二八四)
小設備		八〇	七五・八五〇〇	二五、一七四
計		一四六	一二四・四四二〇	五四、一三〇 <sup>町</sup>

備考 狐括内ハ昭和十一年度分

三、風水害復舊事業

昭和九年九月ノ風水害續テ翌十年六、七、八、九月ニ於ケル水害ノ被害又甚大ニシテ政府ヨリ左ノ如キ助成金ヲ得テ着々復舊工事ニ努力シ十年度末ニハ一面ノ荒地ト化サレシ耕地ノ良好ナル田畑ニ復セシモノ其ノ他各種ノ公

共施設ノ復舊セシモノ大略五割ニ及ヒ其ノ成績ニ見ル可キモノ多シ本年灌溉期間前ニハソノ大半ヲ完備シ灌溉狀況順調良好ナリ

然ルニ政府ヨリノ助成金被害ニ比シテ少ニシテソノ割合左ノ如シ  
耕地ニアリテハ著シク被害ノ大ナル箇所、又ハ集中セル箇所公施設ニアリテハ一箇所ノ事業費甚大ナルモノノミ助成事業ト認メラレ比較的小規模ノ設備ハ認メラレサル結果トナリ之等ハ疲弊セル農家ノ負擔ノミニテハ到底回復不可能ニシテ姑息ナル工事又ハ徒ニ破損セラレタル儘ニ放任サルモノ枚擧ニ遑アラズ將來災害ヲ再ヒ蒙ルノミナラス却テソノ災害ヲ擴大スル懼アリト信ス

災害別	助成申請額	認定サレシ事業費	助成金額	申請額ニ對スル認定割合
昭和九年災害	一、一九、二五 <sup>四</sup>	一、〇三、六七 <sup>四</sup>	二四、七九 <sup>四</sup>	〇・五弱
同十年六、七月水害	一、四八、七二	空〇、天七	三、四八 <sup>五</sup>	〇・四弱
同八年、九月水害	六五、〇六	三〇、六三	一、八九 <sup>三</sup>	〇・四弱
		公共施設 耕地復舊 公共施設 耕地復舊 公共施設 耕地復舊	二四、六九 <sup>三</sup>	〇・四強

(イ) 昭和九年風水害復舊

農作物被害狀況

作物別	被害反別	被害金額
水	一六、八〇七・二 <sup>町</sup>	一、三五六、一七七 <sup>四</sup>
密	一、一二三・五	一四一、〇九一







(ハ) 昭和十年八、九月水害復舊事業  
農作物被害状況

作物別	金額	作物別	金額
米	二、三五五、九一七 <small>円</small>	果	七四一、三〇一 <small>円</small>
雜穀	二二五、八一三	其ノ他	一七八、九三六
蔬菜	一四六、五五九	計	三、八九三、七五二
柑	二五五、二二六		

種目	當初助成申請シタル事業		認定サレタル事業		昭和十年度ニテ完成セル事業	
	事業費	数量	事業費	数量	事業費	数量
耕地復舊	100,110 <small>円</small>	六町	三三,五七 <small>円</small>	二町	14,111 <small>円</small>	110,110 <small>町</small>
田	三,三九〇	三町	三三,一五	八町	四,七三三	三三,100
畑	六四,四八一	四町	三三,四〇一	17,1000	九,四九	17,0000
公共施設	五九,八八八	四町	二五,三六	11,911	101,111	六,九四四
農道	九七,七七一	一六町	三〇,〇〇	二,四八	13,644	1,150
水路	三三,六八九	二五町	四七,四三	六,七九	二六,九〇	四,六四一
其他	三〇,〇〇	四町	107,八〇	二,六六	六,五五六	一,一八九
計	六五〇,〇九八	七六町	三〇,〇三	二六,〇〇〇	116,354	110,1100

一、農村振興上耕地事業ノ將來採ルヘキ指導方針

1、普通耕地整理事業

床締、盤練ハ單位要水量ヲ節約シ冷害ヲ防止スルニ有効ナリ又コンクリートノ畦畔或ハ溝畔ハ地積ノ利用ニ資スルノミナラス農作物ノ生育ニ對シテモ好影響ヲ與フルモノノ如シ故ニ將來普通耕地整理事業ノ獎勵ニ付テハ前記床締或ハコンクリート畦畔ヲ可及的附隨セシメテ施行セシムトス

二、用排水事業

本縣ニ於ケル水田農業ハ古クヨリ集約的ニ經營セラレ從テ此等水田ニ附屬スル溜池、用排水路等ノ附屬設備ハ相當限ナク行互ルト雖何レモ幼稚不完全ナル設備ニシテ一度旱天ニ遭遇セムカ地勢上各河川共受水面積狭小ニシテ用水源涸渴シ忽チ被害ヲ蒙リ且豪雨、出水ノ際ハ堤防ノ決壊或ハ山岳ノ崩壊ニ依リ被害ノ範圍大面積ニ波及スル虞レアルモノ不尠又本縣ノ地勢上五百町歩以上ノ集團的耕地帶數少ク用排水幹線改良事業ニ該當セサル五百町歩未滿ノモノ各地ニ散在スルヲ以テ之等ニ對スル用排水事業ノ施設ヲ適當ナル助成制度ノ許ニ改良ヲ行ハシムルコトハ本縣全體トシテ極メテ緊要ノ事項ト認メラル現在數地區ニ於テ施行シツツアル用排水幹線改良事業及五、六箇所ノ豫定地區ノ事業ヲ促進セシムルト同時ニ小用排水事業ニ對シテモ政府ノ適當ナル助成ヲ得將來ノ災害ヲ未然ニ防止スルコト肝要ト認ム

三、水源調査

農業上ノ水利慣行及用水ノ取水方法ハ極メテ複雑多岐ニシテ水利爭議屢々發生シ之カ調停、解決ニ多大ノ困難ヲ感ス依テ水利法ヲ制定シ水利權ヲ登錄シ權利ノ得喪變更ニ一定ノ準繩ヲ與ヘ紛争ヲ未然ニ防止スルト共ニ水利ノ合理化ヲ圖リ開田其ノ他用水設備ノ改修ヲ容易ナラシムルコト緊要ナリ之カ爲先ツ水利事情ノ全國的調査ヲ施行シ一日モ早ク其ノ準備ヲ整フルコト肝要ナリ







ルヘキモノ多シ

郡市別開墾助成成績表

郡市名	地區數	總地積	開墾地積			事業費
			耕地	擴張地	畑地	
高知市	七	一四、四二八	四、〇〇三	九、七二五	天、九七七	三三、五三四
安藝郡	二	二〇、七八五	五、四二五	二、四〇八	天、〇八三	四九、二六三
香美郡	四	五、七二五	二、五三三	〇、〇八三	天、〇二六	一〇、九三九
長門郡	四	天、八〇八	三、八七三	五、八〇〇	三、九〇〇	六、二八〇、英〇
土佐郡	一	一六、四九六	〇、九二三	八、九二四	九、九二七	一一、六八、英〇
吾川郡	五	三、五九六	一、五〇〇	二、九〇、二三	一、五〇、二三	四、五、英〇
高岡郡	三	一、三〇、六七六	八〇、三二五	六〇、三四五	八〇、六七〇	二、〇九、八七〇
幡豆郡	七	二、〇六、三四九	一一、八〇一	一、一五、八二八	一、三六、五四九	三、〇三、七三〇
計						

尙助成金八百七萬八百八十八圓十九錢ナリ

四、開墾地移住獎勵事業

縣ニ於テハ農林省ヨリ補助金ノ配付ヲ受クルニ至リタルヲ以テ大正十四年度以降前記開墾地ニ對シ適當ニ移住家屋ヲ建築セシメ開墾地ノ利用開發ニ努メタルヲ以テ既ニ移住家屋百四十八戸、獎勵金交付額二萬三千五百圓ノ多額ニ及ヘリ本獎勵事業ノ有効適切ナルハ言ヲ俟タサルトコロニシテ尙之カ要望ヲナスモノ極メテ切實ナルモノアリ

開墾地移住家屋建築獎勵成績表

年度別	建築戸數	獎勵、金交付額	國庫		區分費
			同	上	
大正十四年	一三	一、三〇〇	一、三〇〇	〇	〇
同十五年	一五	一、五〇〇	一、五〇〇	〇	〇
昭和二年	五二	七、二八〇	七、二八〇	〇	〇
同三年	二六	四、四二〇	四、四二〇	〇	〇
同四年	二四	四、八〇〇	四、八〇〇	〇	〇
同五年	一四	二、八〇〇	二、八〇〇	〇	〇
同六年					
同七年					
同八年	一	三〇〇	三〇〇	〇	〇
同九年	一	三〇〇	三〇〇	〇	〇
同十年	二	八〇〇	六〇〇	二〇〇	二〇〇
計	一四八	二三、五〇〇	二三、三〇〇	二〇〇	二〇〇

五、暗渠排水事業

本縣暗渠排水事業ハ普通耕地整理事業ノ興ルト共ニ之カ附帶工事トシテ一割餘ノ縣費補助ヲ以テ施行セラレ濕田ノ改良ニハ無二ノ好成绩ヲ擧ケ濕田ハ良好ノ二毛作田トナリ品質ノ向上裏作栽培等ニヨリ農村振興上裨益セル處極メテ大ナルモノアリ

昭和七年度以降ニ於テハ國庫ノ五割補助ヲ得テ愈々斯業ノ隆盛ヲ來シ希望地續出スルノ狀況ニアリ